Form No. 3412-194 Rev B

GeoLink® スプレーシステム仕上げキット

シリアル番号 315000000 315999999 の Multi Pro® 5800 ターフスプレーヤ用

モデル番号131-7260

取り付け要領

この GeoLink™ スプレーシステムキットは、芝生に液剤を散布する専用装置のための補助装置アタッチメントであり、そのような業務に従事するプロのオペレータが運転操作することを前提として製造されています。この製品は、集約的で高度な管理を受けている公園やゴルフ場、スポーツフィールド、商用目的で使用される芝生に対して液剤を散布することを主たる目的として製造されております。

弊社のウェブサイトwww.Toro.comで、製品の安全な取扱いや運転に関する講習資料、アクセサリ情報の閲覧、代理店についての情報閲覧、お買い上げ製品の登録などを行っていただくことができます。

⚠ 警告

カリフォルニア州
第65号決議による警告
米国カリフォルニア州では、この製品に、ガンや先天性異常などの原因となる化学物質が含まれているとされております。
米国カリフォルニア州では、この製品を使用した場合、ガンや先天性異常などを誘発する物質に触れる可能性があるとされております。

安全について

⚠ 警告

この散布装置で取り扱う農薬は人体や動植物、土壌などに危険を及ぼす可能性があるので取り扱いには十分注意すること。

- **自分自身の安全を守るために、農薬を取り扱う前に、容器に張ってあるラベルや安全データシートMSDSなど取り扱い上の注意をよく読んで理解し、薬剤メーカーの指示を守る。たとえば、保護めがねゴグル、手袋など、薬剤との接触を防止し危険から身を守ることのできる適切な保護対策を講じる。**
- **散布する薬剤は一種類とは限らないので、取り扱っているすべての薬剤に関して注意事項を必ず確認する。**
- **上記安全確保に必要な情報が手に入らない場合には、この装置の運転を拒否してください。**
- **散布装置の整備や修理をする時は、その前に必ず洗浄を行う。その装置が薬剤メーカーの指示通りに3回のすすぎ洗いや必要な中和処理を実行済みであること、さらに、すべてのバルブにそれぞれ 3 回の開閉操作洗浄が実施されていることを確認する。**
- **十分な量の水と石鹸を身近に常備し、薬剤が皮膚に直接触れた場合には、直ちに洗い流すこと。**

© 2017—The Toro® Company
8111 Lyndale Avenue South
Bloomington, MN 55420

製品の登録は www.Toro.com.

CE

この文書は翻訳です。 (JA)
Printed in the USA
禁無断転載

3412-194 B

取り付け

付属部品

すべての部品がそろっているか、下の表で確認してください。

手順	内容	数量	用途
1	必要なパーツはありません。	–	キット取り付けの準備。
2	必要なパーツはありません。	–	オプション機器についている後ワイヤハーネスのコネクタ接続を外します。
3	スイッチのプラグ収納式ホースリールキット—Toro P/N 99-7420	1	ピボット式ホースリールキットオプションの接続を外します。
4	チューブアセンブリToro P/N 114–9553 ケーブルタイ	2 8	フォームマーカーキットオプションの接続を外します。
5	必要なパーツはありません。	–	ウルトラソニックブームキットの接続を外します。
6	必要なパーツはありません。	–	カバー付きブームキットオプションのセンターセクションカバー11ノズルを外します。
7	必要なパーツはありません。	–	キャリッジ下シュラウドを取り外します。
8	必要なパーツはありません。	–	エンジン制御モジュールと取り付けブラケットを外しますガソリンエンジン搭載車両。
9	必要なパーツはありません。	–	ダッシュボード用の水圧検知チューブを外します。
10	後方ワイヤハーネス	1	後ワイヤハーネスを機体から外します。
11	ケーブルタイ スイッチのプラグ	1 1	散布レートスイッチを外す。
12	キャップクイックカップラ リテーナ	3 3	ブームバルブを取り外します。
13	ケーブルタイ	1	ブームを取り外します。
14	フランジヘッドボルト3/8 x 1 インチ フランジロックナット3/8 インチ センターブームエクステンション シリンダマウントワイド タイプレートワイド キャリッジボルト1/2 x 1-1/4 インチ フランジロックナット1/2 インチ	2 2 1 1 1 4 4	センターブームエクステンションを取り付けます。
15	スプレーノズル ホースアセンブリスプレーバルブ5または6 フランジロックナット5/16 インチ	2 2 2	センターブームに取り付けブラケットとスプレーノズルを取り付けます。

手順	内容	数量	用途
16	フローメータ フランジクランプ 76mm3インチ ガスケット外径 2-1/4 インチ 縮径アダプタ フランジクランプ 51mm2インチ ガスケット外径 1-5/16 インチ バーブ付きフランジフィッティング1 インチ ホース1 x 7-1/4 インチ ホースクランプ 水圧トランスデューサとマニホルド ホース1 x 8-1/2 インチ R クランプ フランジヘッドボルト1/4 x 3/4 インチ フランジロックナット1/4 インチ	1 2 2 2 1 1 1 1 3 1 1 1 1 1	フローメータと水圧トランスデューサを取り付けます。
17	必要なパーツはありません。	–	新しいセンターブームを取り付けます。
18	バルブマウントスプレーバルブアセンブリ ボルト 4 x 10mm 散布コントローラ フランジロックナット4mm フランジヘッドボルト5/16 x 3/4 インチ フランジロックナット5/16 インチ ホースクランプ	1 4 1 4 8 8 1	バルブマウントとスプレーバルブを取り付けます。
19	油圧ホース 1/4 x 24-3/4 インチ	4	ブーム昇降シリンダを取り付けます。
20	ナイロン製フランジブッシュ ケーブルタイ 給液ホースアセンブリ188cm 給液ホースアセンブリ234cm 給液ホースアセンブリ279cm	4 1 1 1 1	左右の外側ブームを取り付けます。
21	給液ホースアセンブリ279cm 給液ホースアセンブリ234cm 給液ホースアセンブリ188cm 給液ホースアセンブリ81cm	2 2 4 2	散布ノズル用ホースを取り付けます。
22	後方ワイヤハーネス ケーブルタイ	1 3	後方ワイヤハーネスを車体に取り付けます。
23	必要なパーツはありません。	–	エンジン制御モジュールと取り付けブラケットを取り付けますガソリンエンジン搭載車のみ。
24	必要なパーツはありません。	–	キャリッジ下シュラウドを取り付けます。
25	必要なパーツはありません。	–	後方ワイヤハーネスを接続します。
26	必要なパーツはありません。	–	ダッシュボードの水圧計用の水圧検知チューブを接続します。

手順	内容	数量	用途
27	ナビゲーション受信機ジオリンク高精度散布システムキットモデル 41623	1	ナビゲーション受信機を取り付けます。
	受信機用マウント	1	
	ボルト	2	
	RTK アンテナ用ブラケットIMUオプションの CDMA RTK 修正モデムキットまたは GSM RTK 修正モデムキット	1	
	フランジロックナット3/8 インチ	4	
	六角ヘッドボルト5 x 16mm	3	
	ワッシャ5mm	3	
	携帯電話アンテナオプションの CDMA RTK 修正モデムキットまたは GSM RTK 修正モデムキット	1	
	同軸ケーブルオプションの CDMA RTK 修正モデムキットまたは GSM RTK 修正モデムキット	1	
	シリアル番号ラベルX25 および X30 GeoLink® 高精度散布システム仕上げキット付属品)	1	
28	散布モニタジオリンク高精度散布システムキットモデル 41623	1	スプレーヤのモニタを取り付けます。
	ディスプレイ用フード	1	
	ボールマウントジオリンク高精度散布システムキットモデル 41623	1	
	モニタ用アームジオリンク高精度散布システムキットモデル 41623	1	
	補強プレート	1	
	フランジヘッドボルト (1/4 x 1-1/2 インチ)	4	
	フランジロックナット1/4 インチ	4	
29	データ用ハーネスナビゲーションシステムジオリンク高精度散布システムキットモデル 41623	1	ナビゲーション関係のワイヤハーネスを取り付けます。
	電装用ハーネスナビゲーションシステムジオリンク高精度散布システムキットモデル 41623	1	
	ケーブルタイ	5	
30	必要なパーツはありません。	–	オプションの収納式ホースリールキットのワイヤハーネスを接続します。
31	ケーブルタイ	4	オプションのフォームマーカーキットの接続を行います。
32	必要なパーツはありません。	–	ウルトラソニックブームキットを接続します。

手順	内容	数量	用途
33	カバーエクステンションアセンブリ12ノズル用Toro P/N 120-0621 ポップリベットToro P/N 114439 サポートブラケットセンターブーム用カバーToro P/N 13-3703-03 クリップナットToro P/N 94-2413 フランジヘッドボルト3/8 x 1-1/4 インチToro P/N 110-5050 フランジロックナット3/8 インチToro P/N 104-8301 カバーストラップToro P/N 120-0629 フランジヘッドボルト5/16 x 1-1/4 インチToro P/N 323-36	1 22 4 4 16 16 2 4	オプションのブームカバーキットの取り付けを行います。
34	必要なパーツはありません。	–	オプションのタンクすすぎキットの接続を行います。
35	必要なパーツはありません。	–	ジオリンクスプレーシステム仕上げキットの最終作業を行います。

1

キット取り付けの準備

必要なパーツはありません。

液剤タンクとオプションのすすぎタンクの準備を行う

1. 平らな場所に駐車する。
2. 駐車ブレーキを掛ける。
3. 左右のブームを散布位置に降下させる。
4. スプレーヤを洗浄する*オペレーターズマニュアル*の「スプレーヤの洗浄」を参照。

   重要 **このキットの取り付けを行う前に、タンクを完全に空にする必要があります。**
5. **オプションのタンクすすぎキットを搭載している場合には、以下の作業を行う**
   A. すすぎタンクから液剤タンクへ水を移動させるすすぎキットの*取り付け要領書*の「すすぎキットの使用方法」を参照。
   B. 液剤タンクを空にする散布車の*オペレーターズマニュアル*の「スプレーヤの洗浄」を参照。
   C. エンジンを止め、キーを抜き取る。

バッテリーの接続を外す

⚠ 警告

配線から出た火花で水素ガスが爆発を起こし人身事故に至る恐れがある。

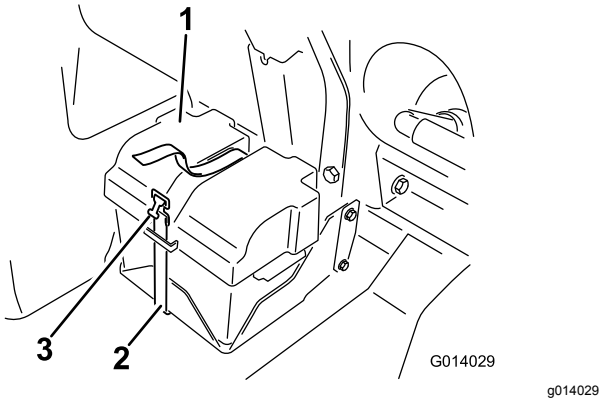
バッテリーケーブルの接続ルートが不適切であるとケーブルがショートを起こして火花が発生する。

- **ケーブルを取り外す時は、必ずマイナス黒ケーブルから取り外し、次にプラス赤ケーブルを外す。**
- **ケーブルを取り付ける時は、必ずプラス赤ケーブルから取り付け、それからマイナス黒ケーブルを取り付ける。**

バッテリーの端子に金属製品や車体の金属部分が触れるとショートを起こして火花が発生する。

- **バッテリーの取り外しや取り付けを行うときには、端子と金属部を接触させないように注意する。**
- **バッテリーの端子と金属を接触させない。**
- **バッテリー押さえは必ず取り付ける。**

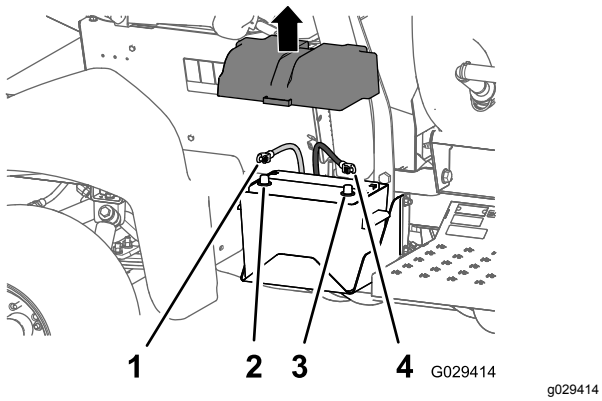
1. バッテリーについているカバーを外し、バッテリーのマイナス黒端子からケーブルを外す 図 1 と 図 2。



g014029

図 1

1. バッテリーカバー
2. ストラップ
3. バックル



g029414

図 2

1. プラス+ケーブル
2. プラス端子
3. マイナス端子
4. マイナス-ケーブル

2. バッテリー端子からプラス赤ケーブルを外す 図 2。
3. 座席をふたつとも前に倒し、中央コンソールのベース部のスロットの端にあるへこみ部分に支え棒を移動させて座席を支える。
4. エンジンが完全に冷えるのを待つ。

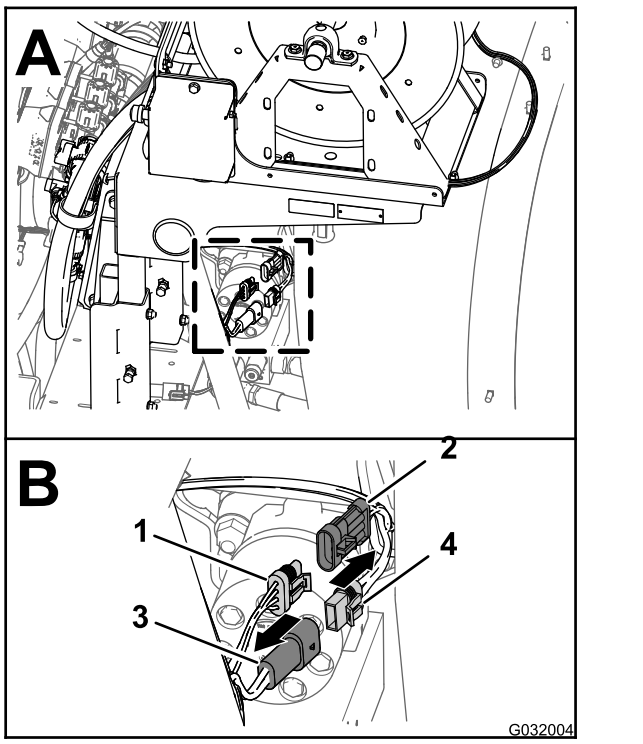
2

オプション機器についている後ワイヤハーネスのコネクタ接続を外す

必要なパーツはありません。

ピボット式ホースリールキットを取り外す

1. 機体後部にで、液剤タンクの後部にある電動ホースリールキットのワイヤハーネスを探し出す図 3。



g032004

図 3

1. 3ソケットコネクタ後メインハーネス
2. 3ピンコネクタ電動ホースリールのハーネス
3. 2ソケットピン後メインハーネス
4. 2ソケットコネクタ電動ホースリールのハーネス

2. 後メインハーネスの2ピンコネクタから、電動ホースリール用ハーネスの2ソケットコネクタを外す 図 3。
3. 後メインハーネスの3ソケットコネクタから、電動ホースリール用ハーネスの3ピンコネクタを外す 図 3。

フォームマーカーキット用のコンプレッサを取り外す

1. フォームマーカーのタンクの後部にあるコンプレッサ用ハーネスを探し出す (図 4)。

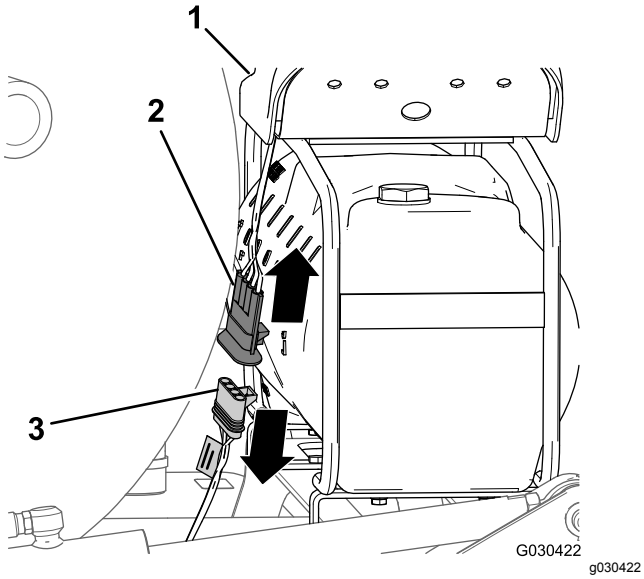


図 4

1. コンプレッサ
2. 4ピンコネクタコンプレッサのワイヤハーネス
3. 4ソケットコネクタ仕上げキットのワイヤハーネス

2. 車両用の後ワイヤハーネスの4ソケットコネクタから、コンプレッサ用の4ピンコネクタを外す図 4。

すすぎキットのポンプを取り外す

1. 機体後部で、すすぎ用ポンプのカバーを両側から押し、カバーについているタブがサドルプレートのスロットをかわすまでカバーを上に持ち上げて、カバーを取り外す図 5。

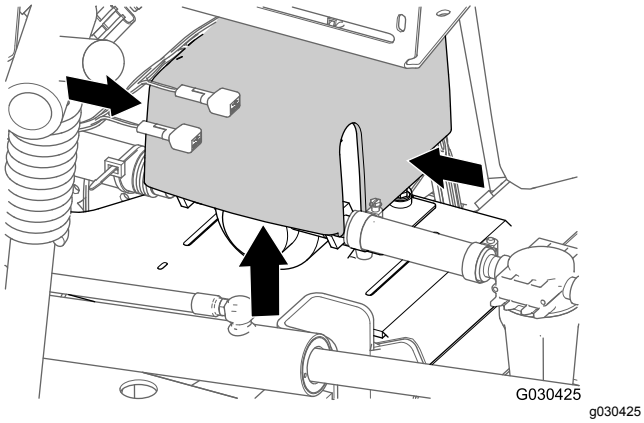


図 5

2. 後メインハーネスの6ソケットコネクタから、すすぎポンプハーネスの6ピンコネクタを外す図 6。

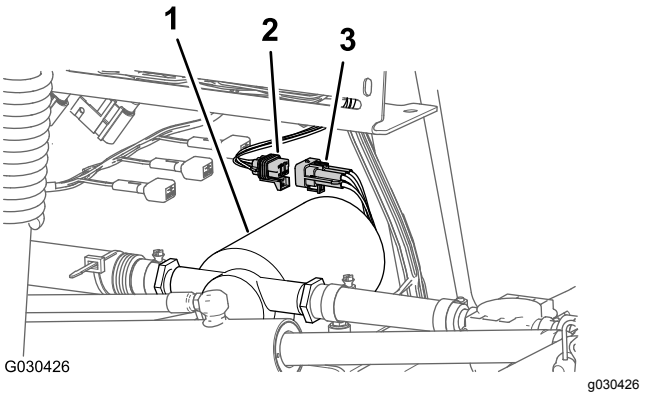


図 6

1. すすぎポンプ
2. 6ソケットコネクタ後メインハーネス
3. 6ピンコネクタすすぎポンプのハーネス

3

水圧制御スイッチオプションのピボット式ホースリールキットを取り外す

この作業に必要なパーツ

1	スイッチのプラグ収納式ホースリールキット—Toro P/N 99-7420

手順

1. コントロールボックスをリール取り付けプレートに固定しているボルト5/16 x 3/4 インチ 2本とロックナット 5/16 インチ2個を取り外す図 7。

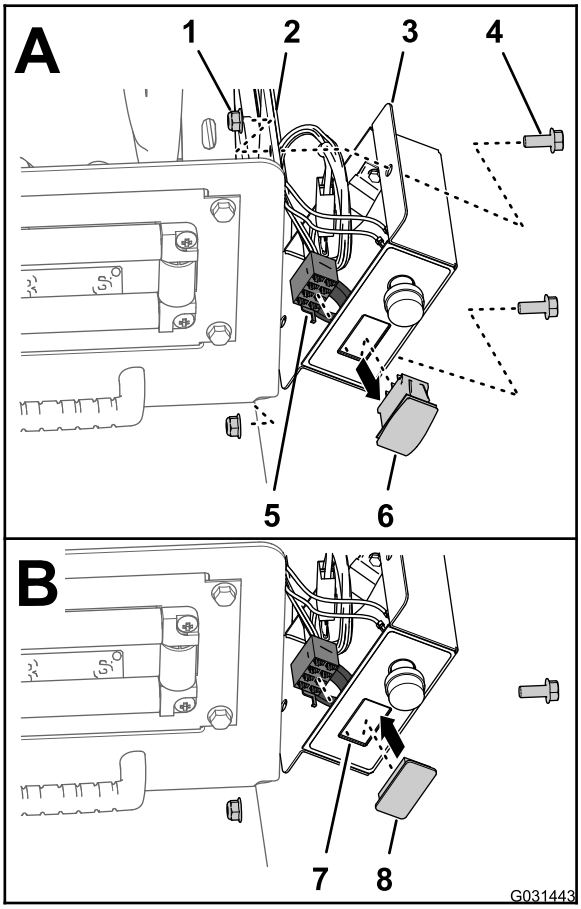


図 7

1. ロックナット5/16 インチ
2. リール取り付けプレート
3. コントロールボックス
4. ボルト5/16 x 3/4 インチ
5. 8ソケットコネクタコントロールボックスのハーネス
6. 水圧制御スイッチ
7. 開口部コントロールボックスのカバー
8. スイッチのプラグ

2. 水圧制御スイッチから、コントロールボックス用の8ソケットコネクタを外す図 7。
3. 8ソケットコネクタをコントロールボックス内部に引き込む図 7。
4. 水圧制御 スイッチのロックタブをつまんで、スイッチをコントロールボックスの外に押し出す図 7。

   注 外したスイッチは廃棄する。
5. スイッチを外したところコントロールボックス開口に、スイッチプラグを合わせる図 7。
6. コントロールボックス内部にスイッチプラグを入れ、プラグがカバーにパチンと音を立ててはまるまで押し込む図 7。
7. コントロールボックスをリール取り付けプレート図 7に固定するボルト5/16 x 3/4 インチ2本と、ロックナット5/16 インチ2個を使用。
8. ボルトとナットを19782542N·cm2.02.6kg.m = 175225in-lbにトルク締めする。

4

フォームマーカーキットオプションの接続を外す

この作業に必要なパーツ

2	チューブアセンブリToro P/N 114–9553
8	ケーブルタイ

機体から液体チューブと空気チューブを取り外す

1. フォームマーカーキット用のコンプレッサの接続パネルで、右側ブーム用の透明チューブと青色チューブをケーブルタイで固定する図 8。

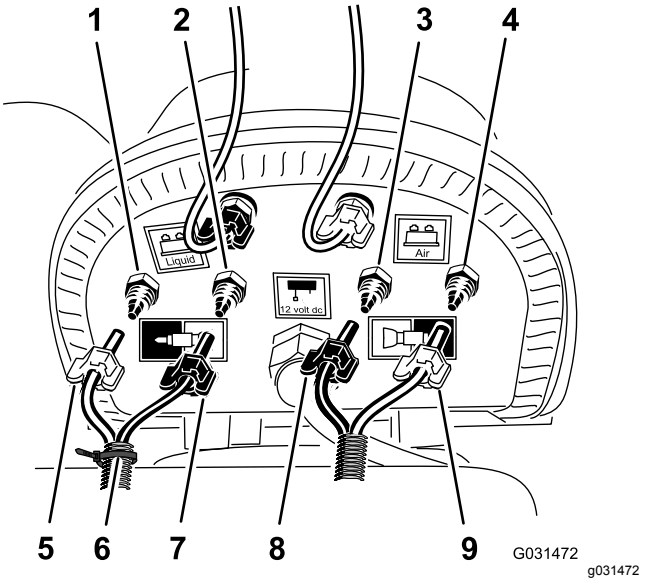
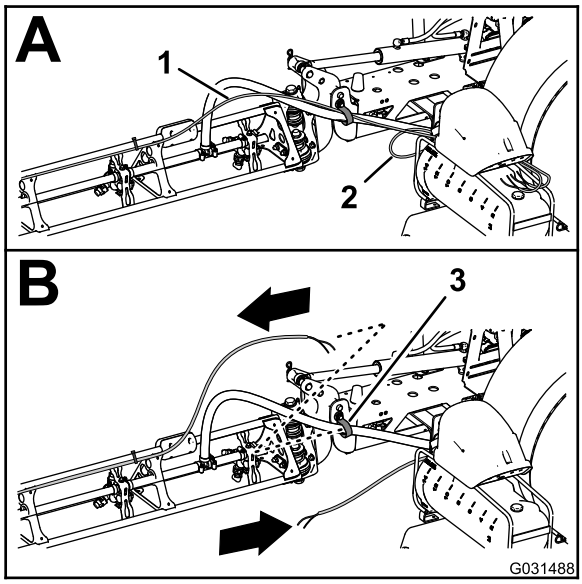


図 8

1. コンプレッションフィッティング—水右ブーム—青チューブ
2. コンプレッションフィッティング—空気右ブーム—透明チューブ
3. コンプレッションフィッティング—水左ブーム—青チューブ
4. コンプレッションフィッティング—空気左ブーム—透明チューブ
5. コンプレッションナット—空気右ブーム—青チューブ
6. ケーブルタイ
7. コンプレッションナット—水右ブーム—透明チューブ
8. コンプレッションナット—左ブーム—青チューブ
9. コンプレッションナット—左ブーム—透明チューブ

2. 左および右ブーム部で、泡ノズル用の透明チューブ2本と青色チューブ2本のコンプレッションナットをゆるめる図 8。

3. 左右のブーム用のコンプレッションフィッティングからチューブ4本を外す図 8。
4. 左ブーム用の泡液剤チューブと空気チューブ、および右ブーム用の液剤チューブと空気チューブを区別できるようにテープなどでマーキングする。
5. 左右のブームで、泡ノズルからチューブを外し、ブームの支点近くにある R クランプから抜き出す図 9。



g031488

図 9

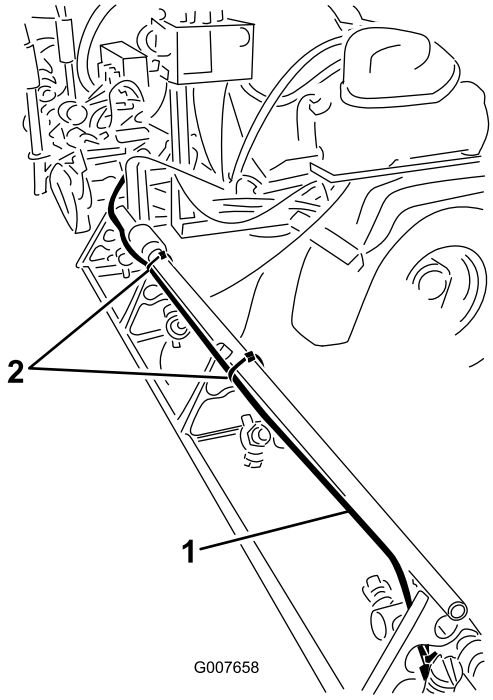
1. チューブフォームマーカーのノズル用右ブーム
2. チューブフォームマーカーのノズル用左ブーム
3. R クランプ

6. **センターブーム延長キット** が装着されているマシンでは、外したチューブの端部をセンターブームに仮止めし、 機体から液体チューブと空気チューブを取り外す (ページ 8)と 新しいチューブアセンブリを取りつける (ページ 10)のための作業は飛ばす。

フォームマーカーのノズル用の新しいチューブアセンブリの準備を行う

センターブーム延長キットを搭載していない車両

1. フォームマーカーの透明チューブと青色チューブをブームに固定しているケーブルタイを外す図 10。



g007658

図 10

1. 泡液チューブと空気チューブ図は右ブーム
2. ケーブルタイ

2. フォームマーカーのノズル部で、ノズルの青色圧縮フィッティングに青色チューブ水を固定している圧縮ナットをゆるめる図 11。

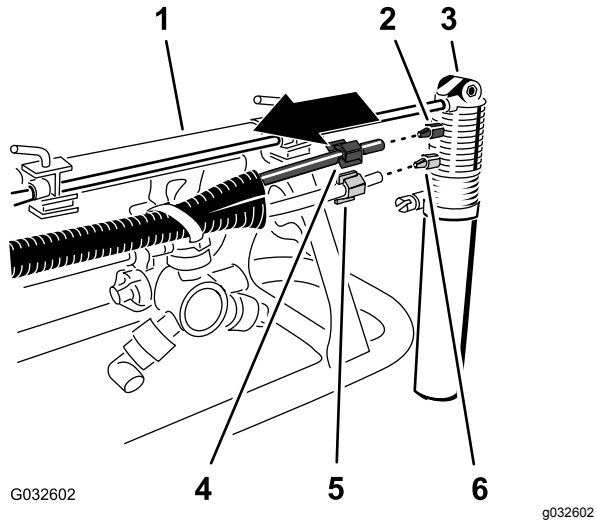


図 11

1. 左右ブーム
2. 圧縮フィッティング青
3. フォームマーカーのノズル
4. 圧縮ナット青水用青色チューブ
5. 圧縮ナット白空気用透明チューブ
6. 圧縮フィッティング白

3. フォームマーカーのノズルの白色圧縮フィッティングに透明チューブ空気を固定している圧縮ナットをゆるめる図 11。
4. 機体から原液チューブと空気チューブを取り外す。
5. チューブの両端にある圧縮ナットを取り外す図 11。

   注 外した圧縮ナットは、ステップ 1 新しいチューブアセンブリを取りつける (ページ 10)で使用します。
6. 古い原液チューブと空気チューブ図 12を新しいチューブアセンブリToro P/N 114–9553に合わせて並べる。

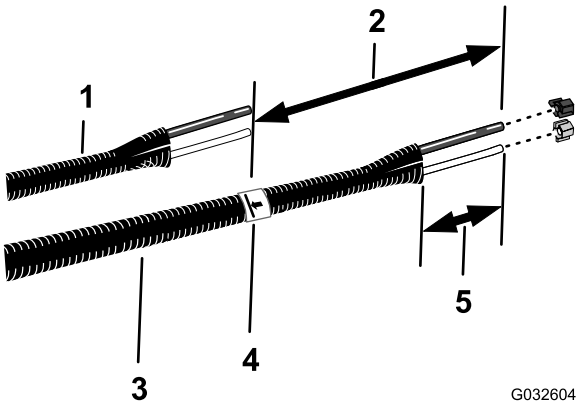


図 12

1. 古い原液チューブと空気チューブ
2. 26cm10 インチ
3. 新しいチューブアセンブリ Toro P/N 114–9553
4. テープとマーク
5. 77102mm

7. 古い原液チューブと空気チューブに合わせて新しいチューブアセンブリにテープで印をつける。
8. ステップ 7で新しいチューブアセンブリに付けたマークから 26cm の所にマーキングを施し、この位置長さを増やした方のマークでチューブアセンブリを切断する図 12。
9. 古い原液チューブと空気チューブにケーブルタイでマーキングが施されている場合には、新しいチューブアセンブリにも同じようにマーキングするが、マーキングされていない場合には、ステップ 10へ進む。

   注 古い原液チューブと空気チューブは、これで不要になりました。
10. チューブアセンブリの各チューブの端部から、外被覆を 77102mm はぎ取る図 12。
11. 機体の反対側のチューブについても 1から10 の作業を行う。

新しいチューブアセンブリを取りつける

センターブーム延長キットを搭載していない車両

1. 青色チューブに青色圧縮ナットを取り付け、透明チューブに白色圧縮ナットを取り付ける (図 13)。

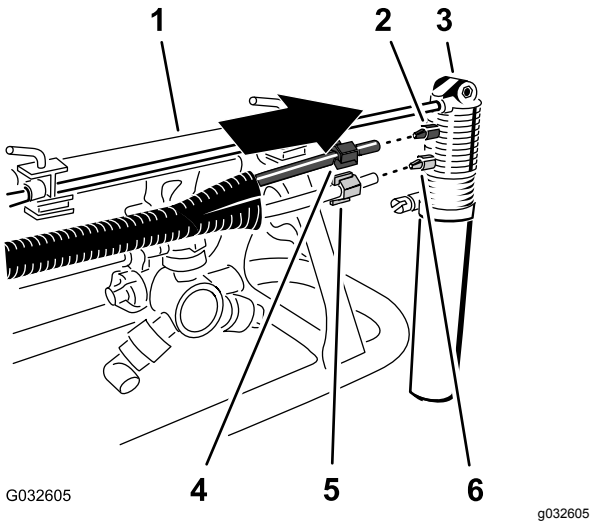
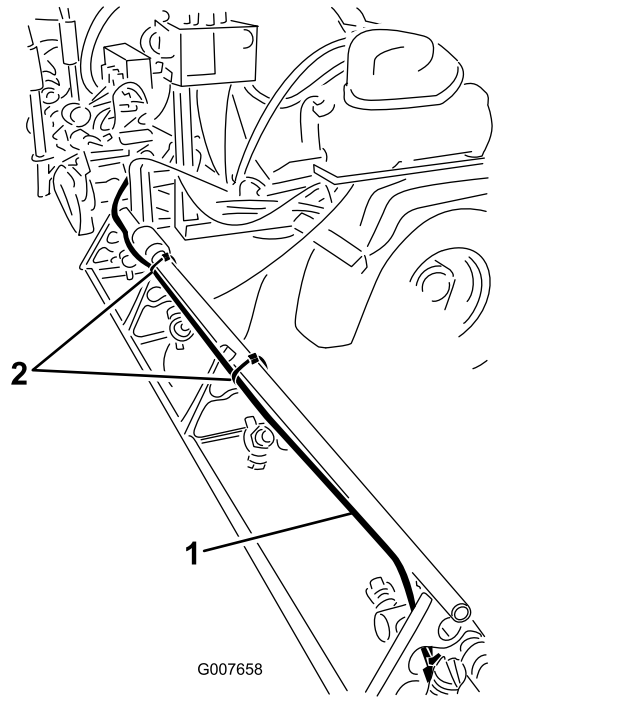


図 13

1. 左右ブーム
2. 圧縮フィッティング青
3. フォームマーカーのノズル
4. 圧縮ナット青水用青色チューブ
5. 圧縮ナット白空気用透明チューブ
6. 圧縮フィッティング白

2. フォームマーカーのノズルの白色圧縮フィッティングに透明チューブの白色圧縮ナットを嵌め、ナットを手締めする図 13。
3. フォームマーカーのノズルの青色圧縮フィッティングに青色チューブの青色圧縮ナットを嵌め、ナットを手締めする図 13。
4. 図 14に示すように、ブームの上側サポートポールの後ろ側に沿ってチューブアセンブリを配設する。

重要 **間違えてブームの上側サポートポールの前側に沿ってチューブアセンブリを配設してしまうと、ブームを折りたたんだ時にブームとクレードルとの間にチューブが挟まれてしまいます。**

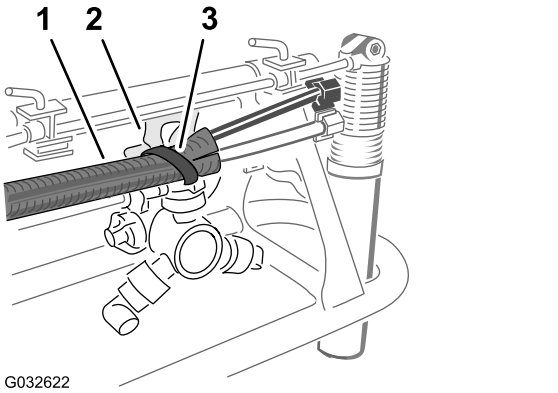


g007658

図 14

1. チューブアセンブリ図は右ブーム
2. ケーブルタイ

5. 図 15に示すように、ケーブルタイを使ってチューブアセンブリをノズルサポートの穴に固定する。



g032622

図 15

1. チューブアセンブリ
2. ノズルサポート
3. ケーブルタイ

6. 図 14に示すように、ケーブルタイを使ってチューブアセンブリをブームに固定する。
7. チューブアセンブリの自由端を、ブームに仮止めする。
8. マシンの反対側でも、ステップ 16 の作業を行う。

5

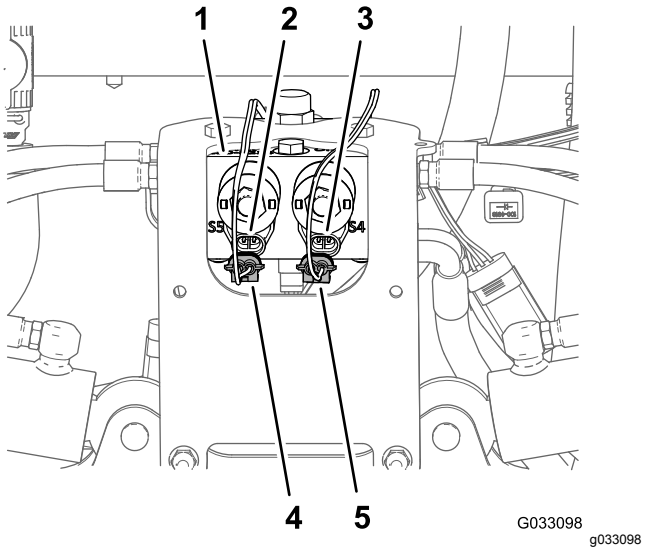
ウルトラソニックブームキットオプションの接続を外す

必要なパーツはありません。

昇降シリンダのマニホルドからワイヤハーネスを外す

オプションのウルトラソニックブームキット

1. 昇降シリンダマニホルドの右側シリンダ動作ソレノイドの2ピンコネクタから、ソニックブームのワイヤハーネスの2ピンコネクタを外す図 16。



g033098

図 16

1. 昇降シリンダのマニホルド
2. 2ピンコネクタ昇降シリンダのマニホルド左シリンダ動作
3. 2ピンコネクタ昇降シリンダのマニホルド右シリンダ動作
4. 2ソケットコネクタソニックブームのワイヤハーネス左シリンダ動作
5. 2ソケットコネクタソニックブームのワイヤハーネス右シリンダ動作

2. 昇降シリンダマニホルドの左側シリンダ動作ソレノイドの2ピンコネクタから、ソニックブームのワイヤハーネスの2ピンコネクタを外す図 16。
3. 昇降シリンダのマニホルドのソレノイドの2ピンコネクタから、ソニックブーム仕上げキットのワイヤハーネスの2ソケットコネクタを外す図 17。

   注 ソニックブームのワイヤハーネスは機体から外さないでください。

- 左ブーム上昇
- 右ブーム上昇
- 左ブーム下降
- 右ブーム下降

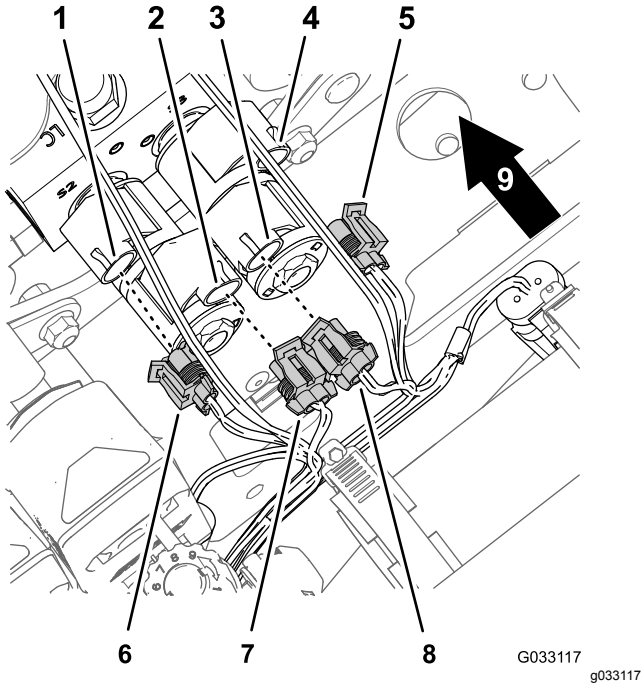


図 17

1. 2ピンコネクタ昇降シリンダのマニホルド左ブーム下降
2. 2ピンコネクタ昇降シリンダのマニホルド左ブーム上昇
3. 2ピンコネクタ昇降シリンダのマニホルド右ブーム上昇
4. 2ピンコネクタ昇降シリンダのマニホルド右ブーム下降
5. 2ソケットコネクタソニックブーム仕上げキットのワイヤハーネス右ブーム下降
6. 2ソケットコネクタソニックブーム仕上げキットのワイヤハーネス左ブーム下降
7. 2ソケットコネクタソニックブーム仕上げキットのワイヤハーネス左ブーム上昇
8. 2ソケットコネクタソニックブーム仕上げキットのワイヤハーネス右ブーム上昇
9. 機体背面

ワイヤハーネスからウルトラソニックセンサーのケーブルを外す。

1. 右側ウルトラソニックセンサー用のケーブルの3ピンコネクタから、ソニックブームのワイヤハーネスの3ソケットコネクタを外す図 18。

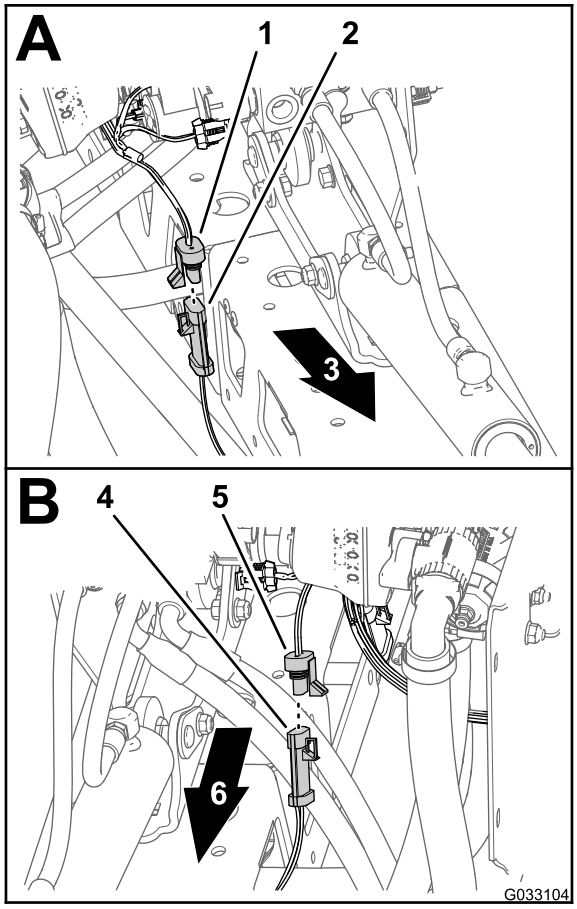


図 18

1. 3ソケットコネクタソニックブームのワイヤハーネス右センサー
2. 3ピンコネクタ右側ウルトラソニックセンサー: ケーブル
3. 車両の右側
4. 3ピンコネクタ左側ウルトラソニックセンサー: ケーブル
5. 3ソケットコネクタソニックブームのワイヤハーネス左センサー
6. 機体の左側

2. 左側ウルトラソニックセンサー用のケーブルの3ピンコネクタから、ソニックブームのワイヤハーネスの3ソケットコネクタを外す図 18。
3. ウルトラソニックセンサー用のケーブルを、左右それぞれのブームに固定する。

   注 ソニックブームのワイヤハーネスは機体から外さないでください。

6

カバー付きブームキットオプションのセンターセクションカバー11ノズルを外す

必要なパーツはありません。

手順

1. センターセクションカバー11ノズルを支えておいて、このカバーをカバーサポートブラケットに固定しているフランジヘッドボルト5/16 x 1-1/4 インチ4本とカバーストラップ2本を外す図 19。

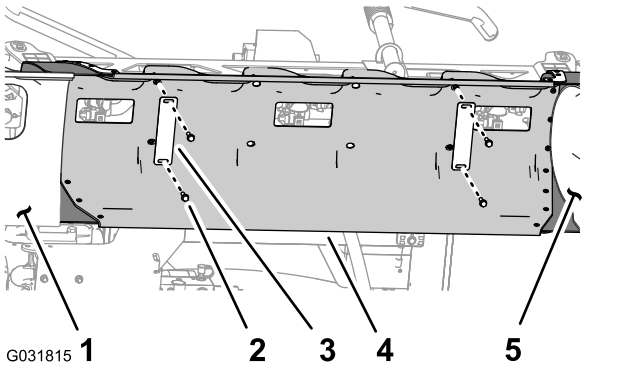


図 19

1. ブームカバー左
2. フランジヘッドボルト 5/16 x 1-1/4 インチ
3. カバーストラップ
4. 中央ブームのカバー
5. ブームカバー右

2. 機体から中央ブームのカバーを外す図 20。

   注 外したカバー、カバーストラップ、フランジヘッドボルトは、ステップ 1と2 センターブーム用カバーを取り付ける (ページ 78)で使用します。

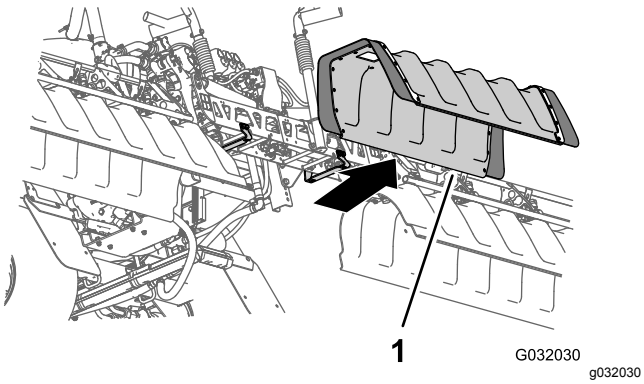


図 20

1. 中央ブームのカバー

7

キャリッジ下シュラウドを取り外す

必要なパーツはありません。

手順

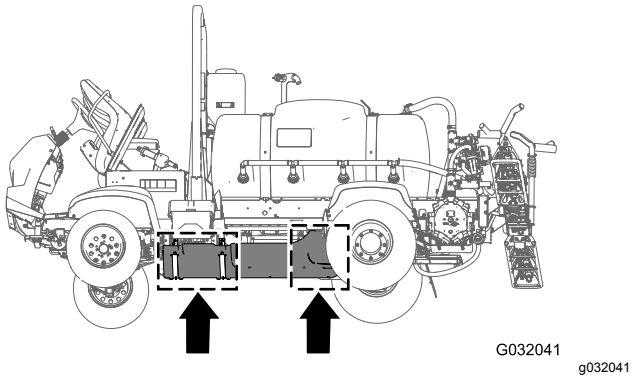


図 21

1. キャリッジ下シュラウドをシャーシに固定しているフランジヘッドボルト5/16 x 7/8 インチ 7本とワッシャ5/16 インチ7枚を取り外す図 22。

   注 外したフランジヘッドボルトとワッシャは、ステップ 524 キャリッジ下シュラウドを取り付ける (ページ 52)で使用します。

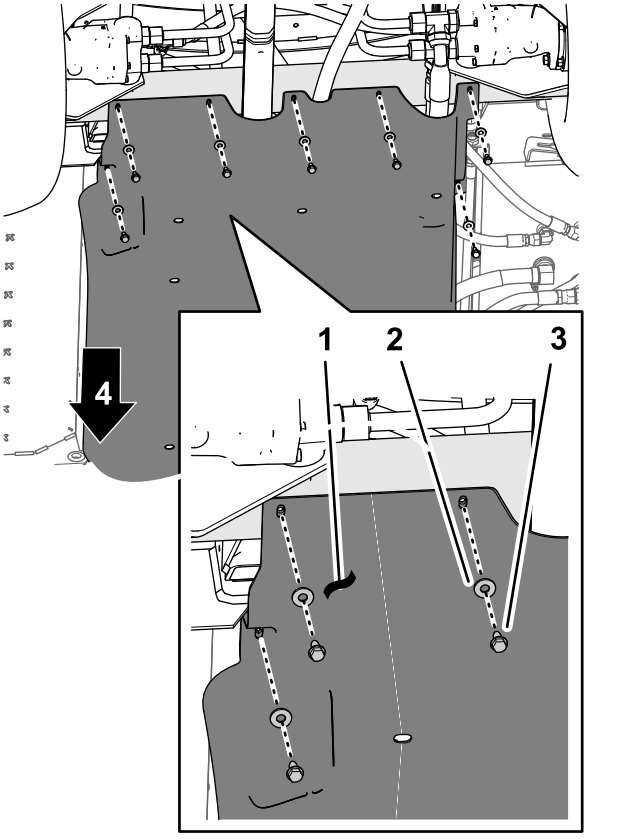


図 22

1. キャリッジ下シュラウド
2. ワッシャ5/16 インチ
3. フランジヘッドボルト5/16 x 7/8 インチ
4. 車体前方

2. キャリッジ下シュラウドのサポートストラップをエンジン搭載ブラケットに固定しているボルトおよびキャリッジボルトのフランジロックナット5/16インチ4個を取り外す図 23。

   注 ボルトは機体から外さないでください。外したフランジロックナットは、ステップ 324 キャリッジ下シュラウドを取り付ける (ページ 52)で使用します。

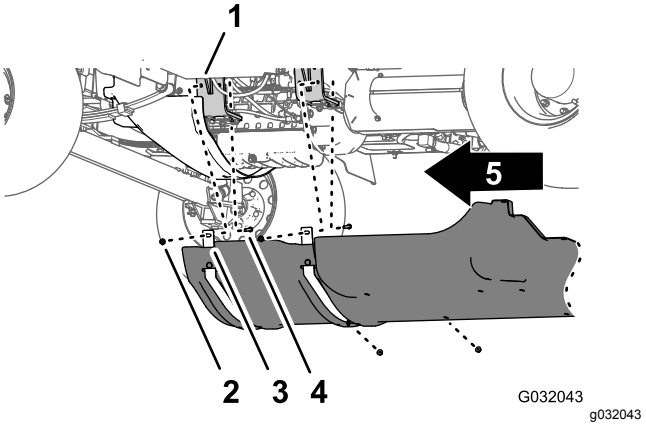


図 23

1. エンジンマウント
2. ボルト外さないこと。
3. サポートストラップキャリッジ下シュラウド
4. フランジロックナット5/16 インチ
5. 機体前方

3. キャリッジ下シュラウドをエンジン搭載ブラケットに固定しているボルトに沿ってサポートストラップを持ち上げる。
4. キャリッジ下シュラウドを機体から取り外す図 22 と 図 23。

8

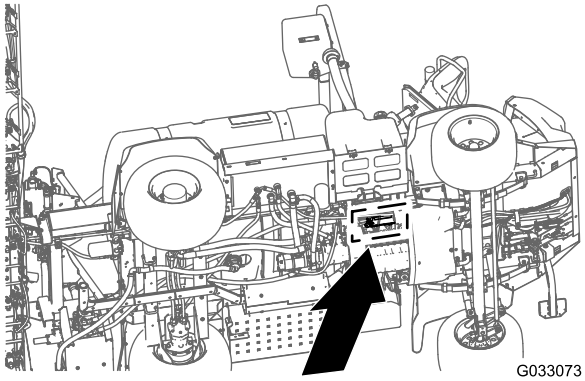
エンジン制御モジュールと取り付けブラケットを外すガソリンエンジン搭載車のみ

必要なパーツはありません。

手順

1. エンジン制御モジュール用のブラケットをエンジンのサポートブラケットとエンジンのアクセサリケースに固定しているフランジヘッドボルト3本とフランジナット個を外す 図 24。

   注 外したフランジヘッドボルトとフランジナットは、ステップ 223 エンジン制御モジュールと取り付けブラケットを取り付けるガソリンエンジン搭載車のみ (ページ 52)で使用します。



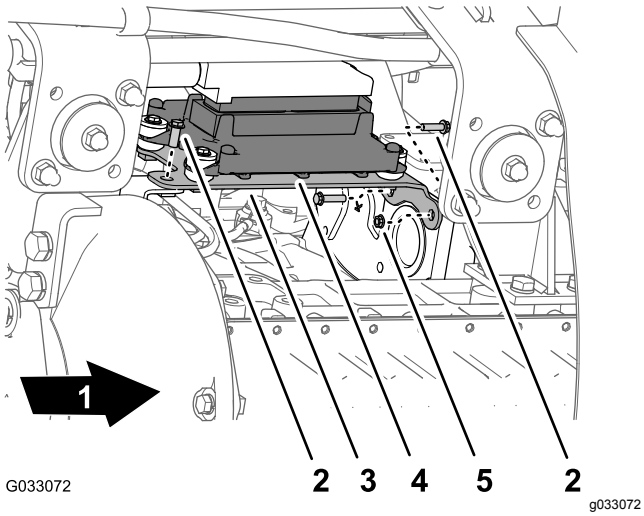


図 24

1. 機体前方
2. フランジヘッドボルト
3. 取り付けブラケット
4. エンジン制御モジュール
5. フランジナット

2. エンジン制御モジュールと取り付けブラケットを下げて後方に移動して車両の前および後のワイヤハーネス用のコネクタにアクセスできるようにする。

   注 エンジン制御モジュールはエンジンから外さないでください。

9

ダッシュボード用の水圧検知チューブを外す

必要なパーツはありません。

ダッシュボード用の水圧検知チューブを外す

オプションのホースリールキットを搭載していない車両

注 スプレーガンキットオプションを搭載している車両では、水圧検知チューブと散布ホースを外す (ページ 16)を参照してください。

1. 右側ブーム用バルブのエンドキャップのカップラにあるカラーを押し込む図 25。

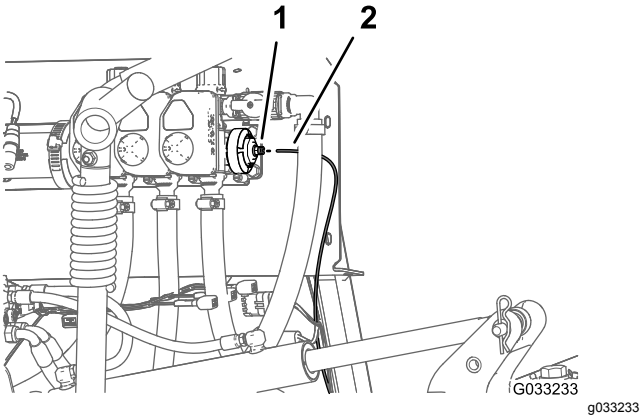


図 25

1. チューブカップラ右ブームバルブのエンドキャップ
2. 水圧検知チューブ

2. ダッシュボード用の水圧検知チューブを抜き出す図 25。

水圧検知チューブと散布ホースを外す

オプションのスプレーガンキットまたはオプションの収納式ホースリールキット

1. 右側ブーム用バルブの90° エルボにあるチューブカップラ用のカラーを押し込む図 26または図 27。

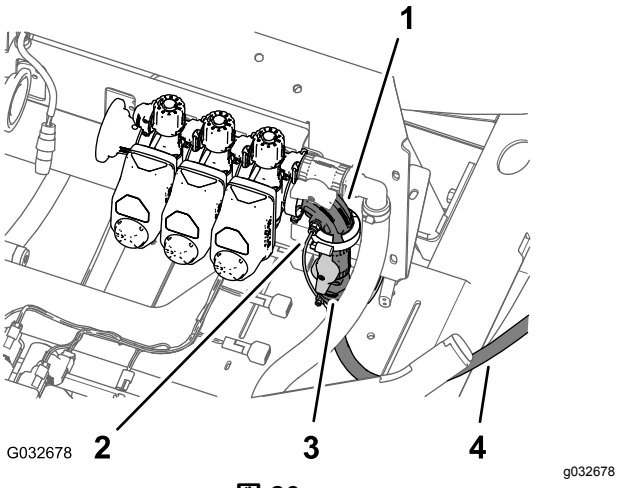


図 26
オプションのスプレーガンキット

1. 90° エルボ右ブームバルブ
2. 水圧検知チューブダッシュボードの水圧計用
3. シャットオフバルブスプレーガン
4. 給液ホーススプレーガン

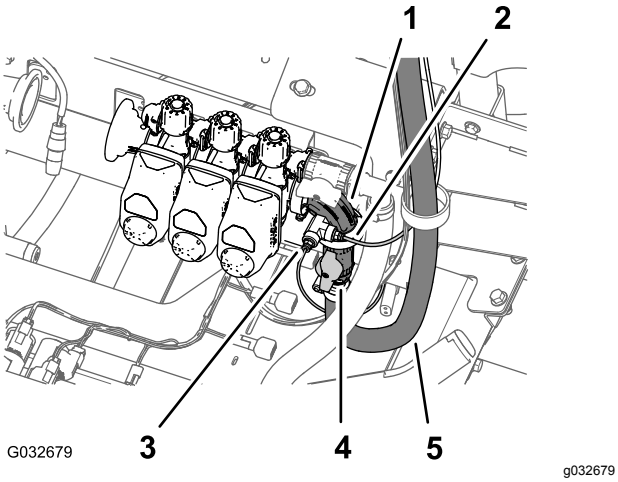


図 27
収納式ホースリールキットオプション

1. 90° エルボ右ブームバルブ
2. 水圧検知チューブホースリールの水圧計用
3. 水圧検知チューブダッシュボードの水圧計用
4. シャットオフバルブ収納式ホースリール
5. 給液ホース収納式ホースリール

2. チューブカップラからダッシュボード用の水圧検知チューブを抜き出す図 26または図 27。

注 散布ホース用のシャットオフバルブの90° エルボは右側ブーム用バルブのフランジから外さないでください。

10

後ワイヤハーネスを機体から外す

この作業に必要なパーツ

1	後方ワイヤハーネス

前ハーネスと後ろハーネスの接続を外す

注 前ハーネスと後ろハーネスの接続を外す時は、ホイストで機体を持ち上げてください。

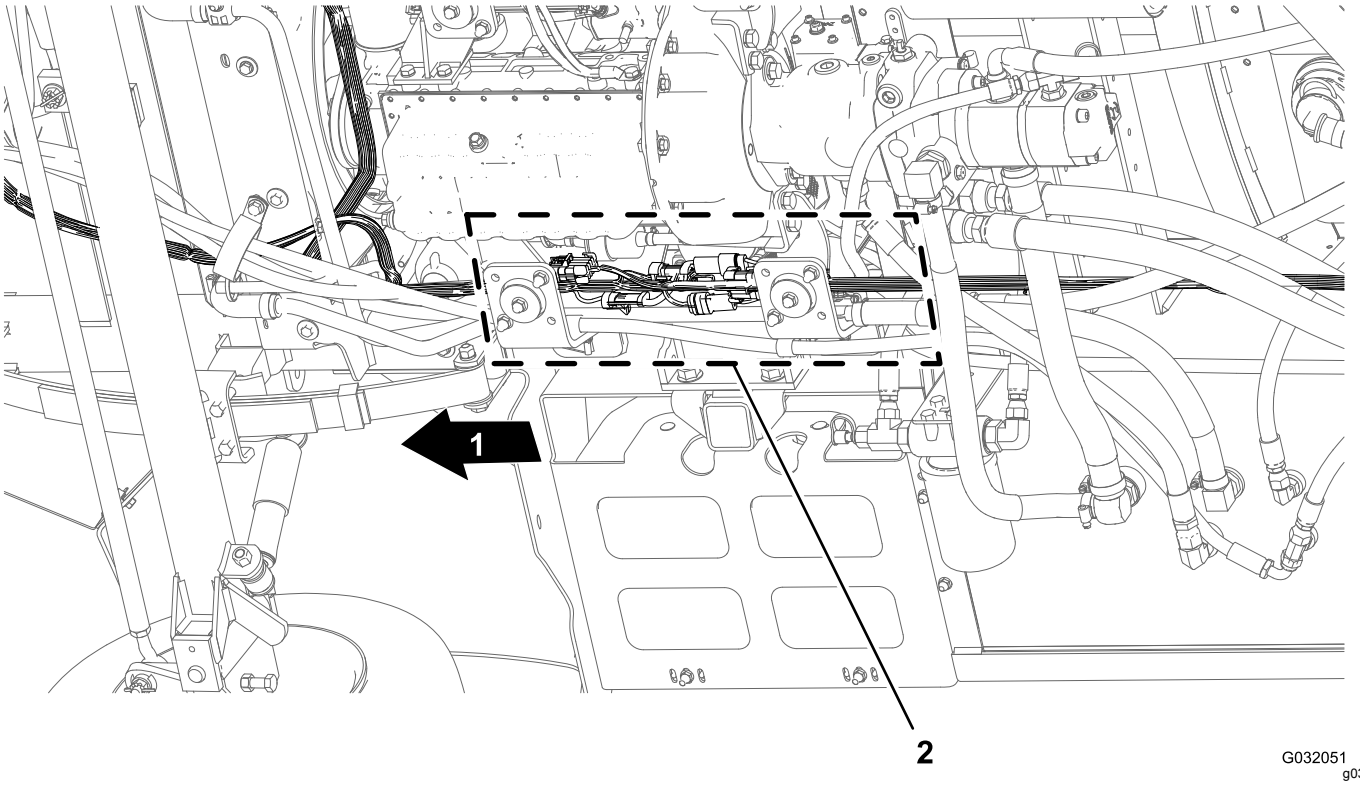


図 28

1. 機体前方
2. コネクタのインタフェース前と後ろハーネス

1. 機体の下の右フレームチューブに沿って配設されている前後のワイヤハーネスの相互コネクタを探し出す図 28。
2. 図図 29図 34に示すように、前後のワイヤハーネスを接続している6組のコネクタの接続を外す。

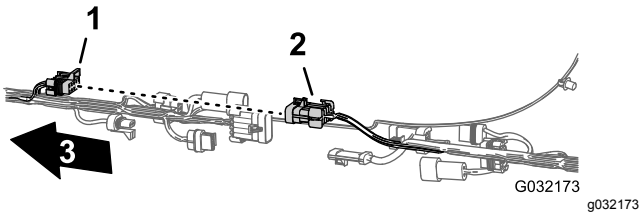


図 29

1. 10ソケットコネクタスプレーヤ用ワイヤハーネス前ハーネス
2. 10ピンコネクタスプレーヤ用ワイヤハーネス後ハーネス
3. 機体前方

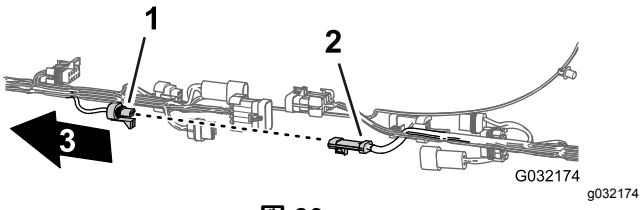


図 30

1. 3ソケットコネクタフローメータ前ハーネス
2. 3ピンコネクタフローメータ後ハーネス
3. 機体前方

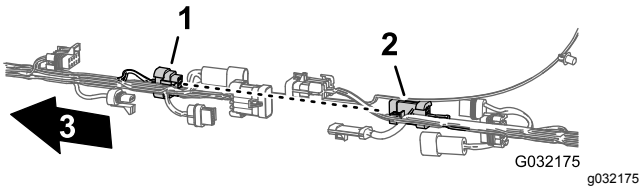


図 31

1. 8ソケットコネクタスプレーヤ用ワイヤハーネス前ハーネス
2. 8ピンコネクタスプレーヤ用ワイヤハーネス後ハーネス
3. 機体前方

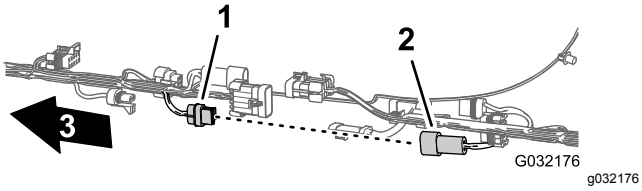


図 32

1. 2ソケットコネクタすすぎポンプ前ハーネス
2. 2ピンコネクタすすぎポンプ後ハーネス
3. 機体前方

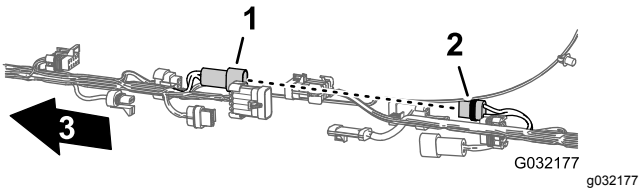


図 33

1. 2ピンコネクタホースリール前ハーネス
2. 2ソケットコネクタホースリール後ハーネス
3. 機体前方

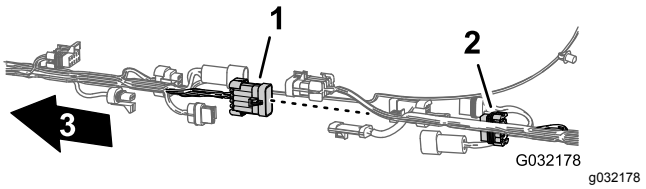


図 34

1. 10ピンコネクタスプレーヤ用ワイヤハーネス前ハーネス
2. 10ソケットコネクタスプレーヤ用ワイヤハーネス後ハーネス
3. 機体前方

3. 後ワイヤハーネスを機体の右側フレーム固定しているモミの木形のアンカー3個を外す図 35。

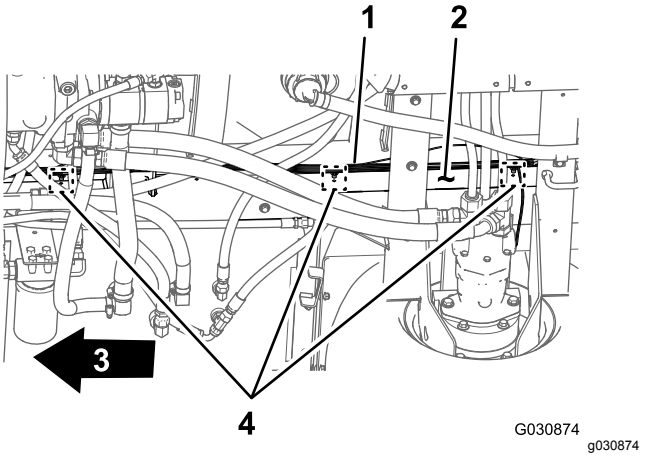


図 35

1. 後方ワイヤハーネス
2. 右側フレームチューブ
3. 機体前方
4. モミの木形のアンカー

各機器を接続しているコネクタを外す

1. 機体後部右側フレームチューブと右側フェンダとの間で、後メインハーネスの3ソケットコネクタから、速度センサーハーネス右側油圧走行モータにあるの3ピンコネクタを外す図 36。

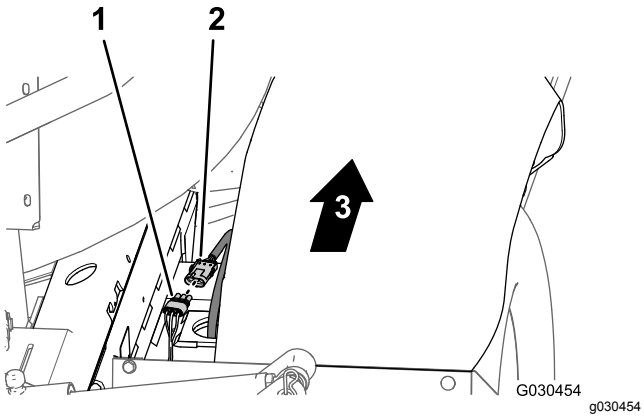


図 36

1. 3ソケットコネクタ後メインハーネス
2. 3ピンコネクタ油圧モータのハーネス
3. 機体前方

2. マニホルドマウント後部で、攪拌バルブから3ソケットコネクタを外し、ブームバルブ全部で3つから、それぞれ3ソケットコネクタを外す図 37。

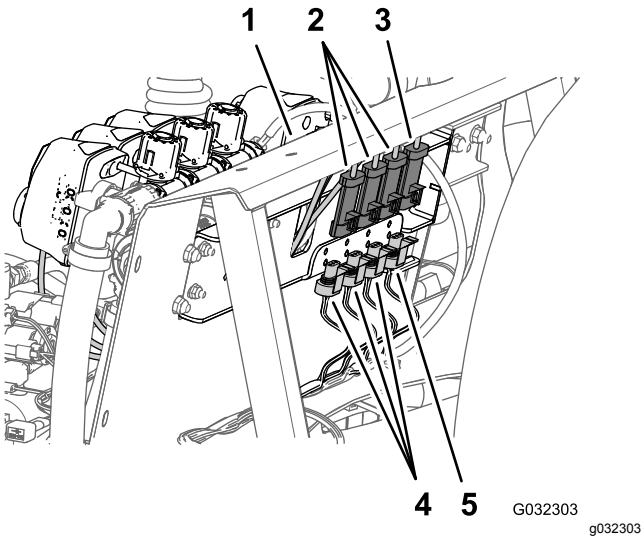


図 37

1. マニホルドマウント
2. 3ソケットコネクタブームバルブのハーネス
3. 3ソケットコネクタ攪拌バルブのハーネス
4. 3ピンコネクタ車両のワイヤハーネス後部
5. 3ピンコネクタ車両のワイヤハーネス後部

3. 後ワイヤハーネスをマニホルドマウントの前側および下部プレートに固定しているモミの木形のアンカーを外す図 38。

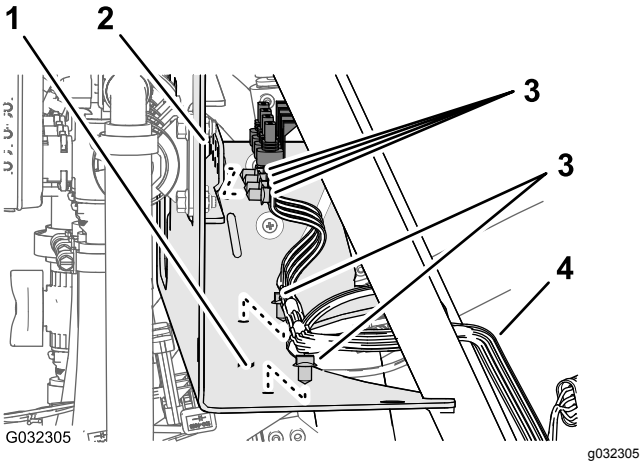


図 38

1. マニホルドマウント下部プレート
2. マニホルドマウント前側
3. モミの木形のアンカー
4. 後方ワイヤハーネス

4. 機体後部で、昇降シリンダマニホルド用の2ソケットコネクタ図 39を、以下のように外す

   注 ウルトラソニックブームキット搭載車両 昇降シリンダのマニホルドからワイヤハーネスを外す (ページ 11)を参照。
   - 右—上昇ソレノイド
   - 左—上昇ソレノイド
   - 作動許可ソレノイド
   - 右—下降ソレノイド
   - 左—下降ソレノイド

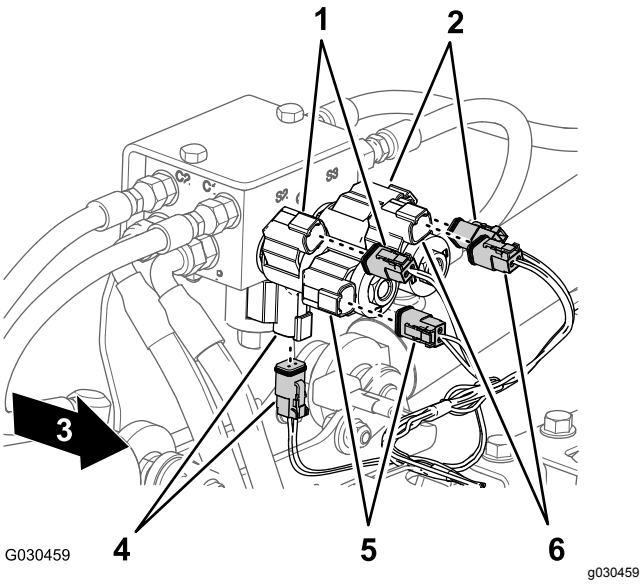


図 39

1. 右—上昇 (ソレノイドとメインハーネスのコネクタ)
2. 左—上昇 (ソレノイドとメインハーネスのコネクタ)
3. 機体前方
4. 作動許可 (ソレノイドとメインハーネスのコネクタ)
5. 右—下降 (ソレノイドとメインハーネスのコネクタ)
6. 左—下降 (ソレノイドとメインハーネスのコネクタ)

5. 機体後部、スプレーヤポンプの車軸側で、ポンプ用リレーの2ピンコネクタから、後メインハーネスの2ソケットコネクタを外す図 40。

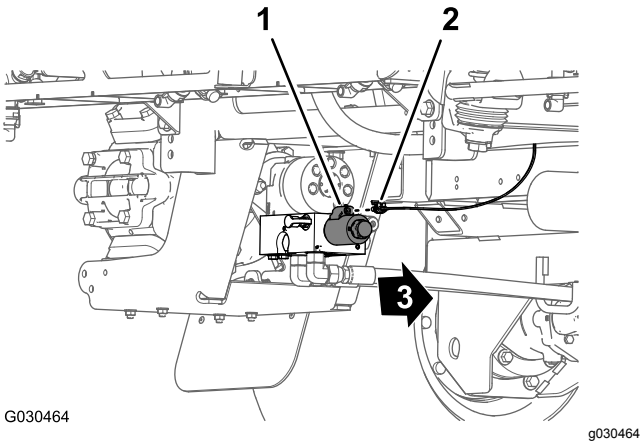


図 40

1. 2ピンコネクタポンプ用リレー
2. 2ソケットコネクタ後メインハーネス
3. 機体前方

6. 後ワイヤハーネス図 41を後クロスチューブ油圧走行モータの後方に固定しているモミの木形のアンカーを外す。

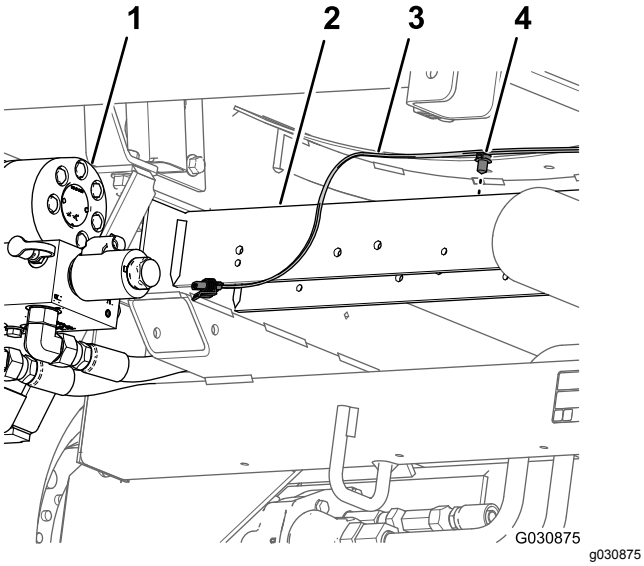


図 41

1. スプレーヤのポンプ
2. 後部のクロスチューブ
3. 後方ワイヤハーネス
4. モミの木形のアンカー

7. 車両の後部ワイヤハーネスから、ダッシュボードの水圧計用の水圧検知チューブを抜き出す図 42。

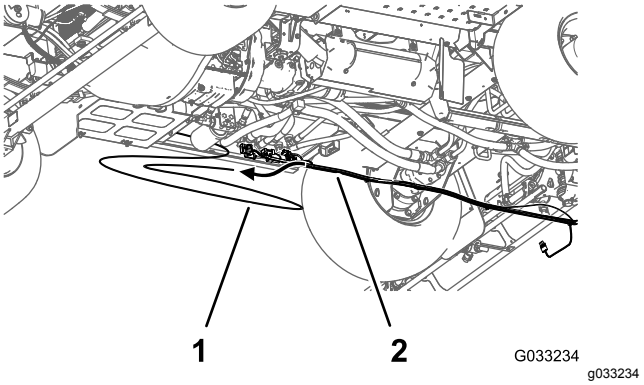


図 42

1. 水圧検知チューブダッシュボードの水圧計用
2. 後方ワイヤハーネス

8. 後ワイヤハーネスを機体から外す。

   注 機体から外した後メインハーネスは廃棄して構いません。

11
散布レートスイッチを外す

この作業に必要なパーツ

1	ケーブルタイ
1	スイッチのプラグ

手順

1. 機体のダッシュパネルの下で、散布レートスイッチをロックしているタブをつまんで、スイッチをダッシュパネルから押し出す図 43。

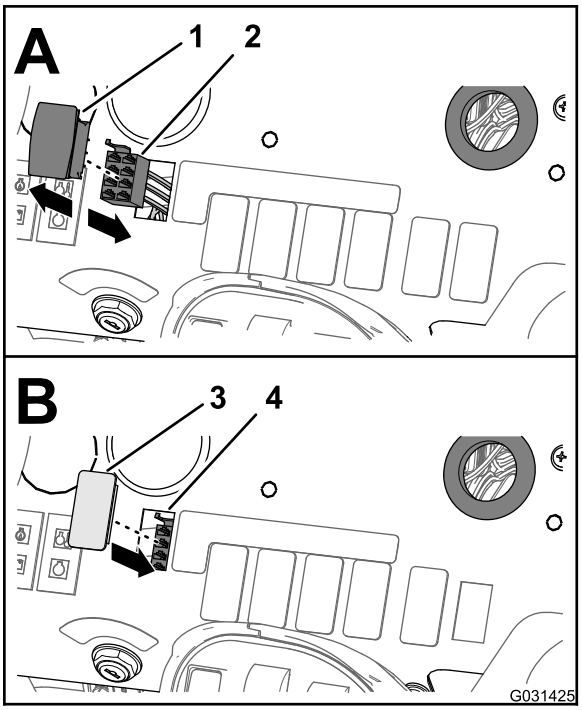


図 43

1. レート制御スイッチ
2. 8ソケットコネクタ前ハーネス
3. スイッチのプラグ
4. 穴ダッシュパネル

2. 機体の前ハーネスの8ソケットコネクタRATE SWITCHというラベルがついているを、スイッチの8ピンコネクタから外す図 43。

   注 機体から外したレートスイッチは、もう使用しません。

3. 前ハーネスの、レートスイッチ用の枝線を、ダッシュボードの穴から出して、ケーブルタイで前ハーネスに縛り付ける。
4. ダッシュパネルの穴レートスイッチを外したところに、スイッチプラグを合わせる図 43。
5. ダッシュパネルにスイッチプラグを押し込む。プラグがパチンと音を立ててはまるまで押し込む図 43。

12

ブームバルブを取り外す

この作業に必要なパーツ

3	キャップクイックカップラ
3	リテーナ

コネクタチューブと縮径アダプタを外す

1. つのバルブマニホルドマウントに固定しているフランジヘッドボルト1/4 x 3/4 インチ 4本とフランジロックナット1/4 インチ4個を取り外す図 44。

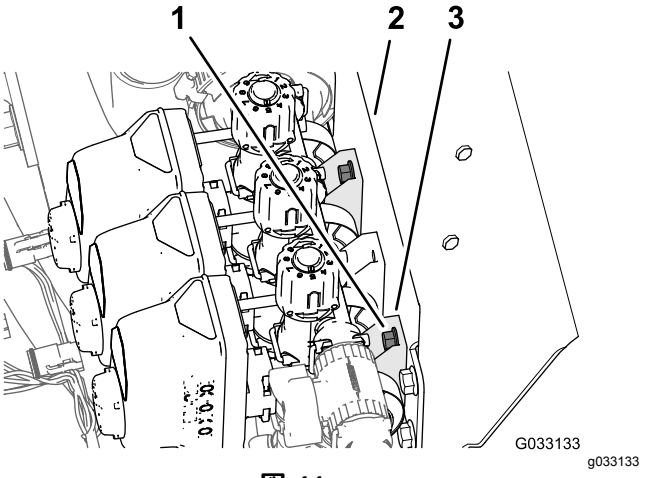


図 44

1. フランジヘッドボルト1/4 x 3/4 インチ
2. バルブハウジングブームバルブ
3. マニホルドマウント

2. 攪拌バルブと左ブームバルブのところでストレートカップラをアダプタカップラに固定しているフランジクランプ2個を外す図 45。

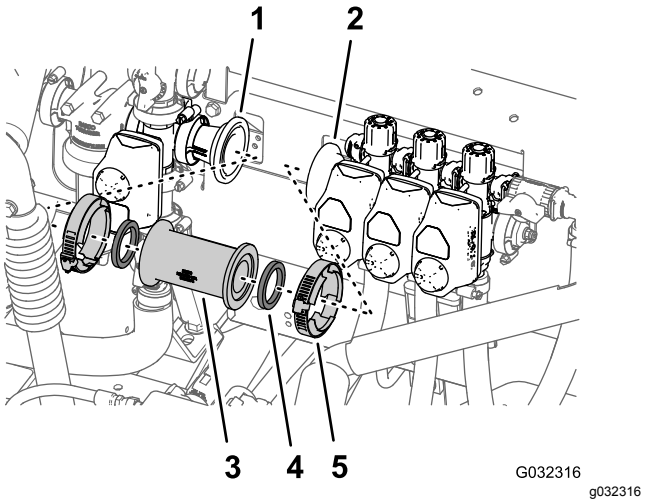


図 45

1. アダプタカップリング撹拌バルブのところ
2. アダプタカップリング左ブームバルブのところ
3. ストレートカップリング
4. ガスケット
5. フランジクランプ

3. 機体から、ストレートカップラとガスケット2枚を外す図 45。

   注 外したクランプとガスケットは、ステップ 2 フローメータと水圧トランスデューサを組み立てる (ページ 35)とステップ1および2 フローメータと水圧トランスデューサを機体に取り付ける (ページ 36)で使用します。

4. 縮径アダプタとガスケット2-1/4 インチを左ブームバルブのフランジに固定しているフランジクランプ76mmを外して、アダプタとクランプとガスケットを機体から外す図 46。

   注 外した縮径アダプタ、フランジクランプ、ガスケットは、ステップ 4と3 フローメータと水圧トランスデューサを組み立てる (ページ 35)で使用します。

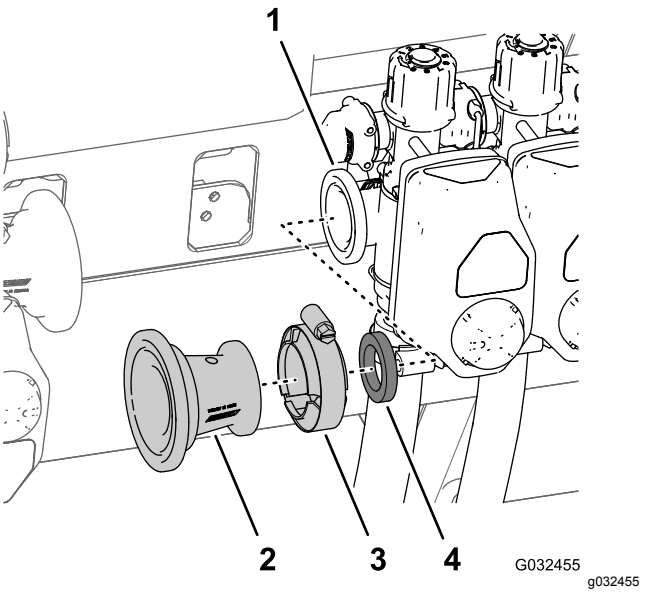


図 46

1. フランジ 左ブームバルブ
2. 縮径アダプタ
3. フランジクランプ76mm
4. ガスケット

ブームホースを取り外す

1. ブームの外端部で、給液ホースをバーブ付き T 字フィッティングに固定しているホースクランプを外す図 47。

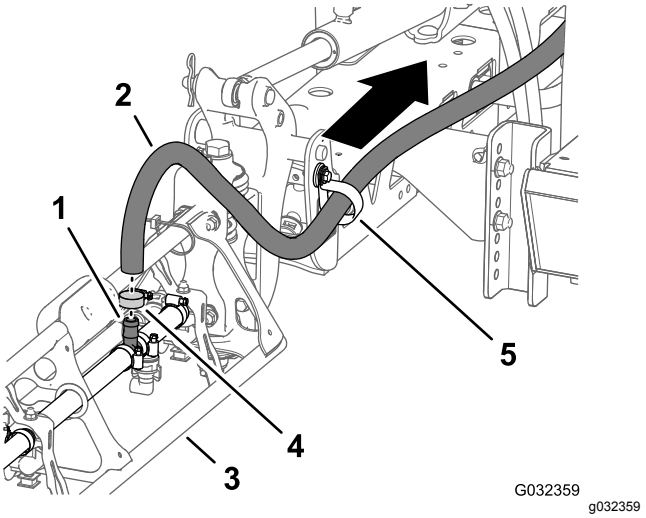


図 47

1. バーブ付き字フィッティング
2. 給液ホース左・右ブーム
3. 左右ブーム
4. ホースクランプ
5. R クランプ

2. 字フィッティングからホースを取り外す図 47。
3. ホース端部をRクランプから外す 図 47。
4. 反対側のブームでも、ステップ 13 の作業を行う。
5. センターブームの下で、センターブームに給液しているホースをバーブ付き T 字フィッティングに固定しているクランプを外す図 48。

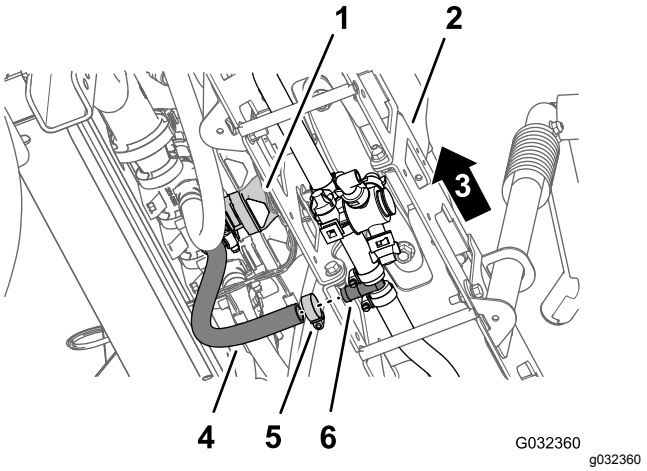


図 48

1. センターブームのバルブ
2. センターブーム
3. 機体の左側
4. ホースセンターブーム)
5. ホースクランプ
6. バーブ付き字フィッティング

6. 左ブームバルブ、中央ブームバルブ、右ブームバルブでそれぞれバーブ付きストレートフィッティングを固定しているリテーナを外す図 49。

   注 リテーナは 各ホースをノズルバルブ710 番に取り付ける。 (ページ 47)で使用します。

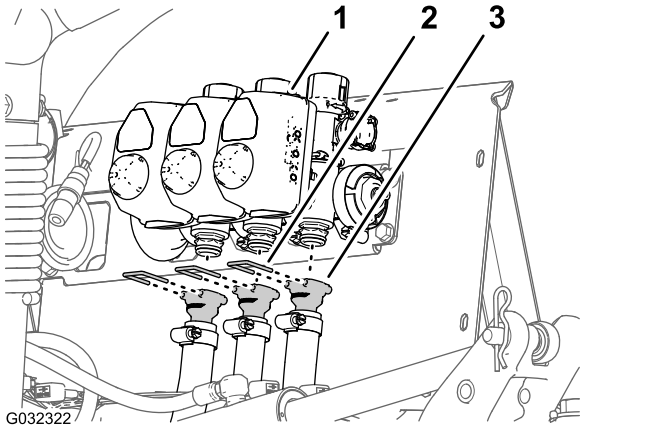


図 49

1. ブームバルブ
2. リテーナ
3. バーブ付きストレートフィッティング

7. 左ブームバルブ、中央ブームバルブ、右ブームバルブ用のホースを機体から外す図 49。

   注 左ブームバルブ、中央ブームバルブ、右ブームバルブ用のホースは廃棄して構いません。

シャットオフバルブとバイパスホースを取り外す

1. 上側バイパスホースの低い方の端部で、上側バイパスホースを機体の後サドルプレートに固定しているフランジヘッドボルト5/16 x 3/4 インチ、ワッシャ5/16 インチ、Rクランプを取り外す図 50と図 51。

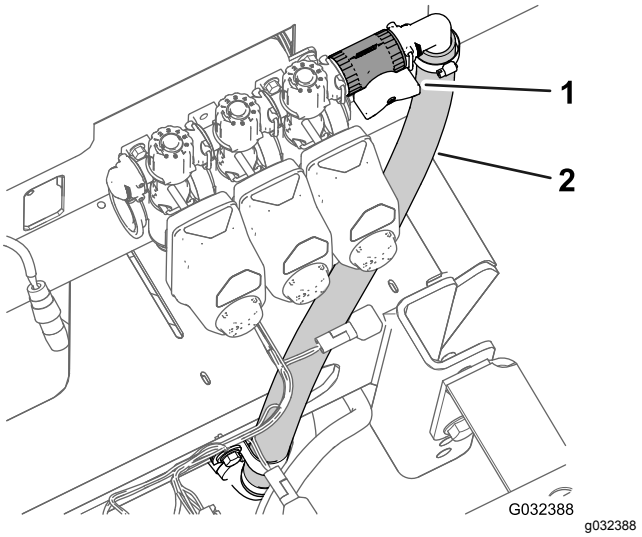


図 50

1. シャットオフバルブ
2. 上側バイパスホース

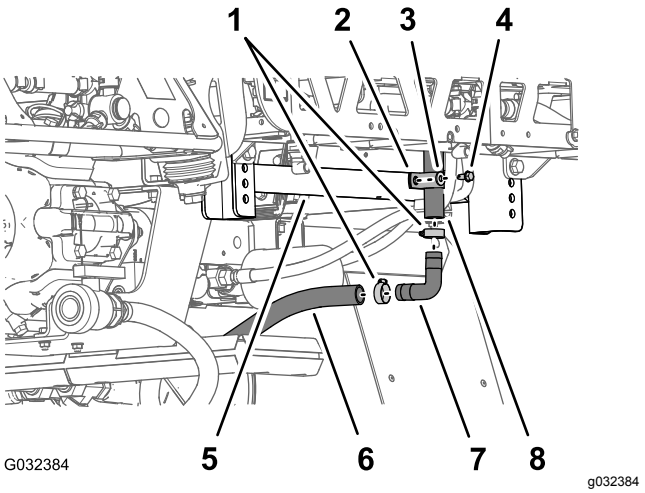


図 51

1. ホースクランプ
2. R クランプ
3. ワッシャ5/16 インチ
4. フランジヘッドボルト5/16 x 3/4 インチ
5. 後サドルプレートシャーシフレーム
6. 下側バイパスホース
7. 90°鋸歯フィッティング
8. 上側バイパスホース

2. 上側バイパスホースと下側バイパスホースをバーブ付き 90° フィッティングに固定しているホースクランプ2個を外す図 51。
3. バーブ付き 90° フィッティングをホースから外す図 51。

   注 外した 90° フィッティングとクランプ2個は、ステップ 8 と 9で使用します。

4. ドレンバルブのホースとタンク後部ドレンホースをバーブ付き T字フィッティングに固定しているホースクランプを外す図 52。

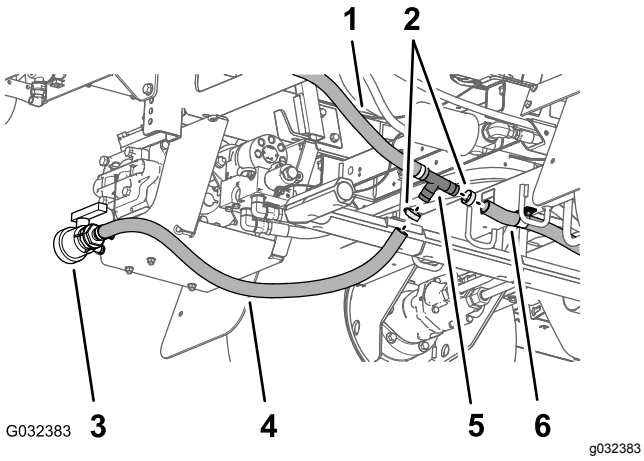


図 52

1. 下側バイパスホース
2. ホースクランプ
3. ドレンバルブ
4. ドレンバルブのホース
5. バーブ付き字フィッティング
6. タンク後部ドレンホース

5. ドレンバルブのホースとタンク後部ドレンホースから、T字フィッティングを外す図 51。
6. 右ブームバルブ用のバイパスバルブの外側にあるカップラフィッティングにシャットオフバルブを固定しているリテーナを外す図 53。

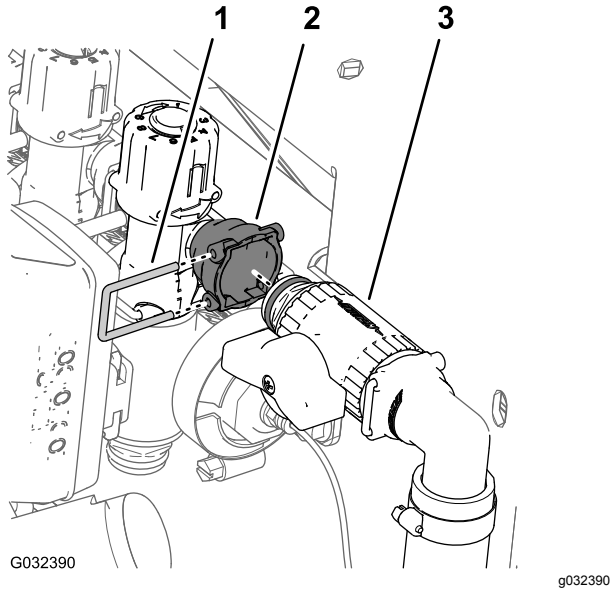


図 53

1. リテーナ
2. カップラフィッティンバイパスバルブ
3. 燃料バルブ

7. 機体から、上下のバイパスホースを外す図 54。

   注 取り外したシャットオフバルブ、T字フィッティング、および上下のバイパスホースは不要です。

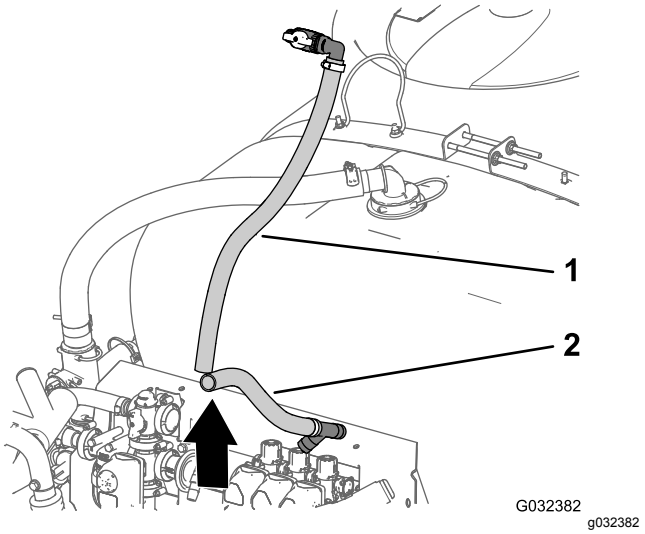


図 54

1. 上側バイパスホース
2. 下側バイパスホース

8. バーブ付き90° フィッティングステップ 3 で外したものを、ドレンバルブホースとタンク後部ドレンホースに取り付ける図 55。

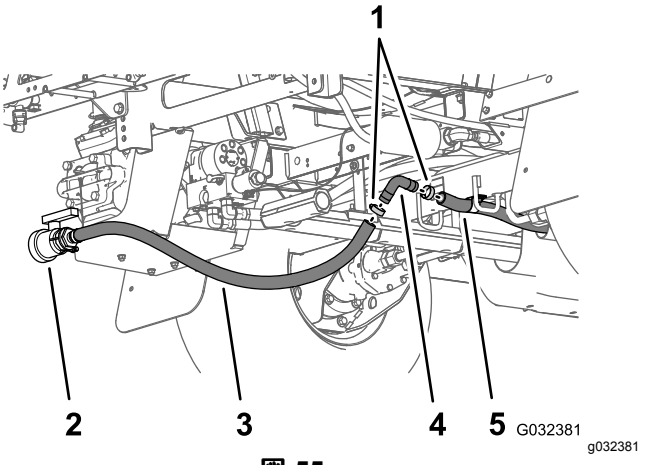


図 55

1. ホースクランプ
2. ドレンバルブのホース
3. ドレンバルブ
4. 90°鋸歯フィッティング
5. タンク後部ドレンホース

9. バーブ付き90° フィッティングとドレンホース2本を固定するホースクランプステップ2図 55で外したものを使用する。

バルブアクチュエータを取り外す

1. アクチュエータを個別ブームバルブアセンブリのマニホルドに固定しているリテーナを外す図 56。

   注 リテーナの2本の足を寄せながら下へ押すと外れます。

   注 アクチュエータとリテーナは、ステップ6と7 バイパスバルブを外して代わりにキャップを取り付ける (ページ 25)で使用します。

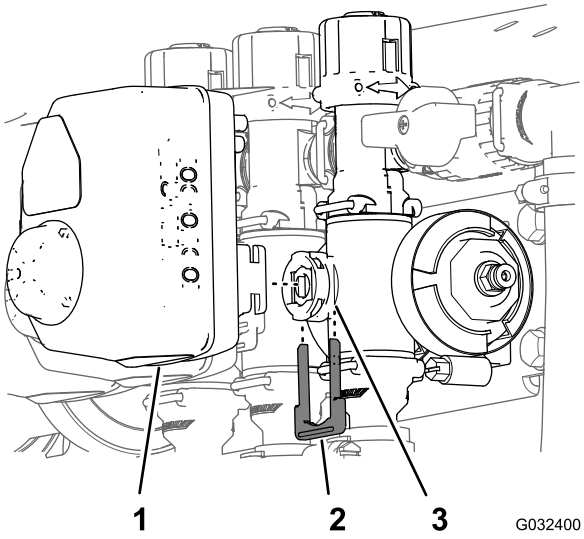


図 56

1. アクチュエータ個別ブームバルブ
2. リテーナ
3. ステムポートマニホルドバルブ

2. マニホルドバルブからアクチュエータを取り外す図 56。
3. 残り2つのバルブアクチュエータについても、1と 2 を行う。

バイパスバルブを外して代わりにキャップを取り付ける

1. 3つのマニホルドバルブに付いているバイパスバルブ3個を固定しているリテーナ3本を外す図 57。

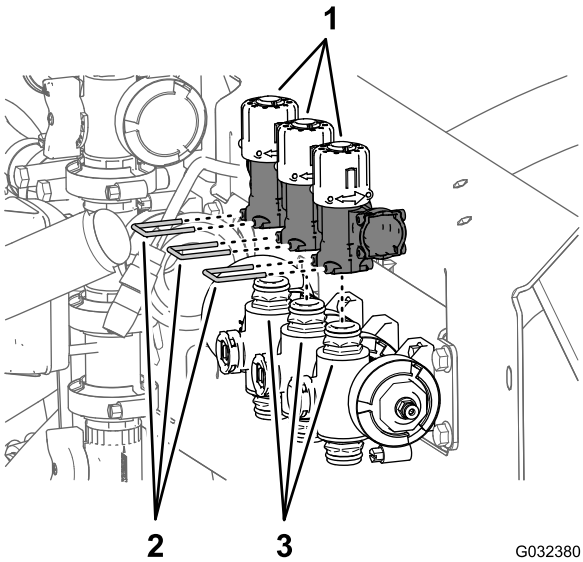


図 57

1. バイパスバルブ
2. リテーナ
3. クイックカップラマニホルドバルブ

2. マニホルドバルブのクイックカップラ3個に付いているバイパスバルブ3個を抜き出す図 57。

   注 外したバイパスバルブは廃棄して構いません。
3. マニホルドバルブのクイックカップラの上下のOリングに、クイックカップラのキャップに付いているグリスを塗る図 58.

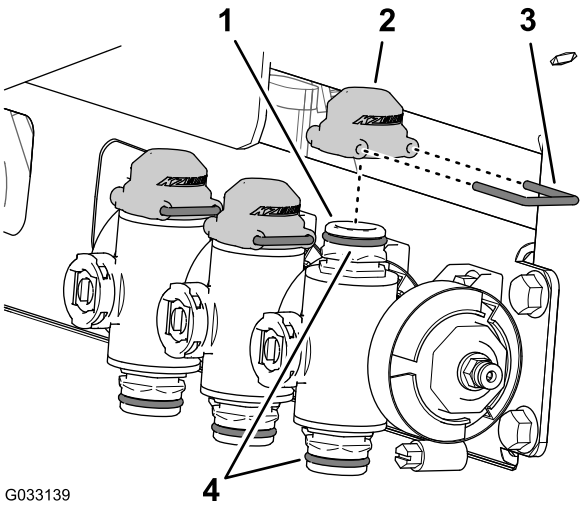


図 58

1. クイックカップラマニホルドバルブ
2. キャップクイックカップラ
3. リテーナ
4. Oリング

4. クイックカップラ用キャップ3個をクイックカップラ3個に取り付ける図 58。
5. リテーナ3本を使ってキャップ個をクイックカップラ個に固定する図 58。
6. ステップ 2 バルブアクチュエータを取り外す (ページ 24) で外したブームバルブ用カップラを、マニホルドバルブのステムポートに合わせる 図 59。

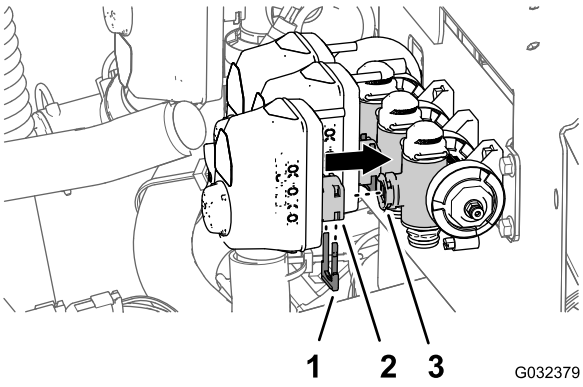


図 59

1. リテーナ
2. カップラブームバルブアクチュエータ
3. ステムポートマニホルドバルブ

7. リテーナ図 59ステップ 1 バルブアクチュエータを取り外す (ページ 24) で外したものを使用して、

ブームバルブアクチュエータをマニホルドバルブに固定する。

マニホルドマウントからブームバルブを外す

注 取り外したブームバルブは、スプレーバルブ 8、9、10 をバルブマウントに取り付ける (ページ 38)で10バルブシステムに取り付けます。

1. 右側ブームバルブをマニホルドマウントに固定しているフランジヘッドボルト1/4 x 3/4 インチ 2本とロックナット1/4 インチ2個を取り外す図 60。

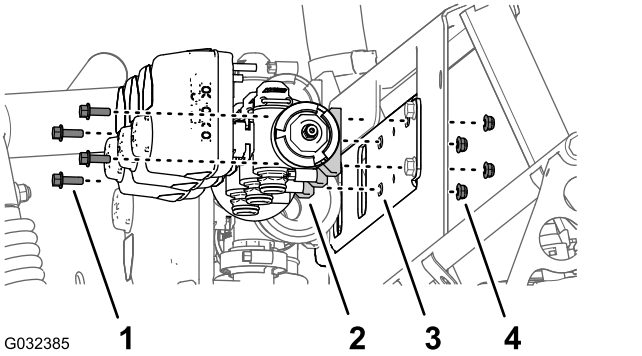


図 60

1. フランジヘッドボルト5/16 x 3/4 インチ
2. ブームバルブ
3. マニホルドマウント
4. ロックナット1/4 インチ

2. 左側ブームバルブをマニホルドマウントに固定しているフランジヘッドボルト1/4 x 3/4 インチ 2本とロックナット1/4 インチ2個を取り外す図 60。
3. マニホルドマウントからブームバルブを外し、再使用に備えて脇に置く図 60。

   注 外したブームバルブ、フランジヘッドボルト、ロックナットは、ステップ 1 スプレーバルブ 8、9、10 をバルブマウントに取り付ける (ページ 38)で使用します。
4. ブーム用のステッカー枚とバイパス調整用のスタッカー枚を除去する図 61。

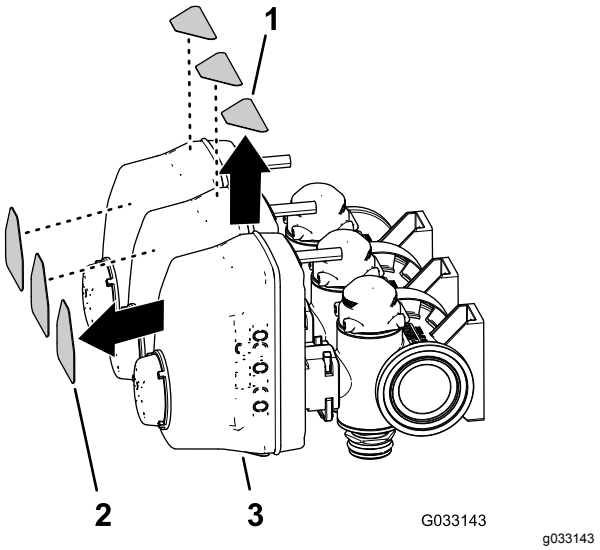


図 61

1. バイパス調整用ステッカー
2. ブームバルブ用ステッカー
3. ブームバルブ

13
ブームを取り外す

この作業に必要なパーツ

1	ケーブルタイ

昇降シリンダを取り外す

吊り上げ装置に必要な能力: 91kg

注 廃棄するように明記されていない限り、外したボルト･ナット類はすべて延長キットの取り付けに利用しますから捨てないでください。

1. 所定の能力のあるホイストなどを使って、左または右のブームを支える。
2. 機体後方で、ブーム昇降マニホルドと油圧シリンダから油圧ホースを外す図 62。

   注 ブーム昇降マニホルドと油圧シリンダに異物が侵入しないように、接続部にプラグなどをはめて保護してください。

   注 油圧ホースは廃棄してください。

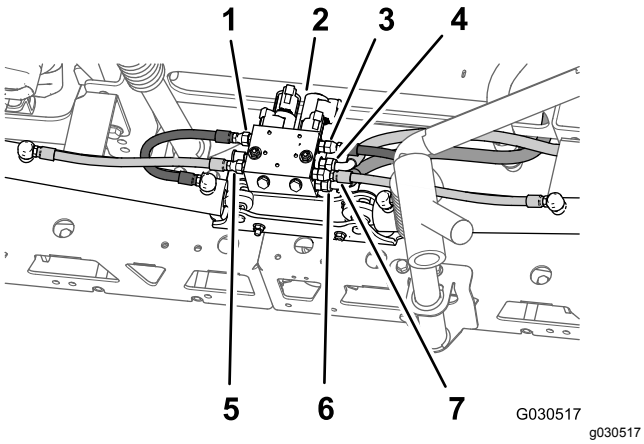


図 62

1. 左側伸長動作用ホースポート C3—ブーム昇降マニホルド
2. ブーム昇降マニホルド
3. 右側伸長動作用ホースポート C1—ブーム昇降マニホルド
4. 高圧側油圧ホースポート P—ブーム昇降マニホルド
5. 左側収縮動作用ホースポート C3—ブーム昇降マニホルド
6. 戻り側油圧ホースポート T—ブーム昇降マニホルド
7. 右側収縮動作用ホースポート C2—ブーム昇降マニホルド

3. 昇降シリンダをピボットブラケットに固定しているヘアピンとクレビスピンを取り外す図 63。

   注 ヘアピンとクレビスピン 左右のブームを機体に取り付ける (ページ 42)で取り付けに使用します。

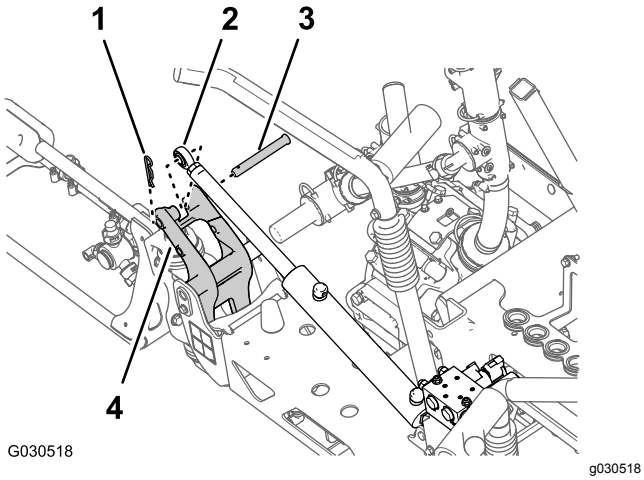


図 63

1. ヘアピン
2. ロッドのフィッティング 昇降シリンダ
3. クレビスピン
4. ピボットブラケット

4. ピボットピンをシリンダマウントに固定しているフランジロックナット5/16 インチとフランジヘッドボルト 5/16 x 3/4 インチを取り外す図 64。

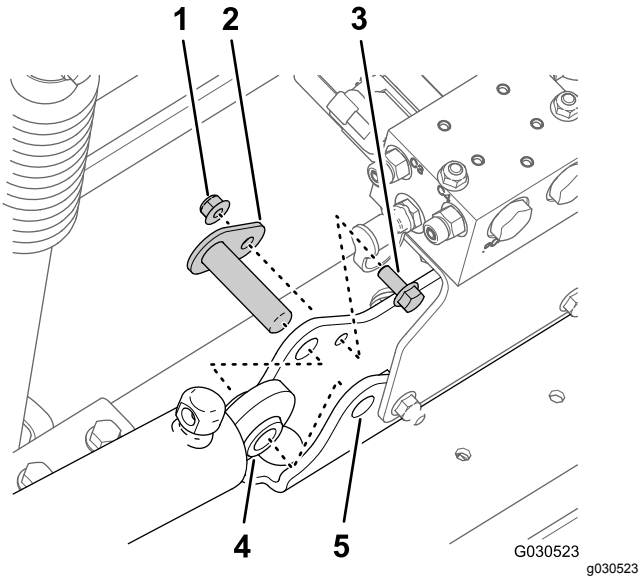


図 64

1. フランジロックナット5/16 インチ
2. ピボットピン
3. フランジヘッドボルト5/16 x 3/4 インチ
4. 昇降シリンダ
5. シリンダマウント

5. 機体から、ピボットピンと昇降シリンダを外す図 64 。
6. マシンの反対側の昇降シリンダにも、ステップ 3と 4 の作業を行う。

左右のブームを取り外す

吊り上げ装置に必要な能力: 91kg

注 飛散防止カバーがを搭載している車両では、左右のブームから飛散防止カバーを取り外す必要はありません。

⚠ 警告

重量物の吊り上げは危険を伴う作業であり、最悪の場合は死亡事故を招く。

重量のある装置やアタッチメントを吊り上げる持ち上げる場合には、必ずそれに適した装置を用い、チェーンなどで確実に吊ること。

注 廃棄するように明記されていない限り、外したボルト･ナット類はすべて延長キットの取り付けに利用しますから捨てないでください。

1. ピボットピンをピボットブラケットに固定しているフランジボルト5/16 x 1 インチ とフランジロックナット 5/16 インチを取り外す図 65。

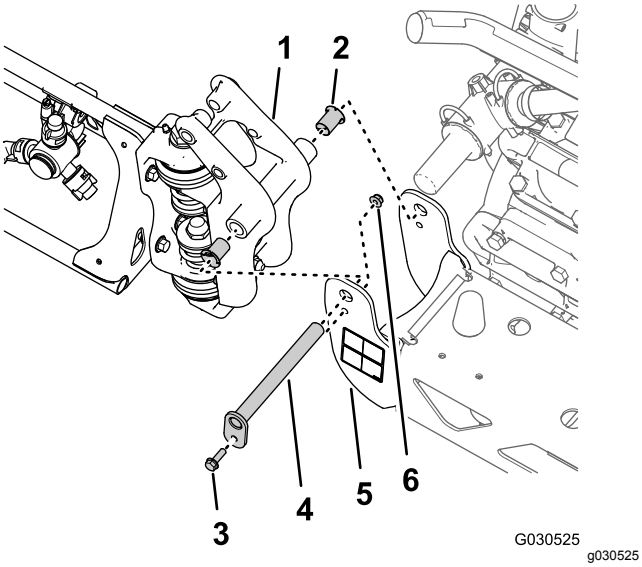


図 65

1. ピボットフィッティング 左右ブーム
2. ナイロン製フランジブッシュ
3. フランジボルト5/16 x 1 インチ
4. ピボットピン
5. ピボットブラケットセンターブーム
6. フランジロックナット5/16 インチ

2. センターブーム用のピボットブラケット、および、外側ブーム用のピボットフィッティングからピボットピンを抜き取る図 65。

   注 フランジボルト、フランジナット、ピボットピンは 左右のブームを機体に取り付ける (ページ 42)で使用します。

3. センターブームと外側ブームを切り離し、外側ブームを機体から外す図 65。
4. 外側ブームのピボットフィッティングからナイロン製フランジブッシュ2個を外す図 65。

   注 ブッシュは廃棄してください。

5. マシンの反対側の外側ブームにも、ステップ 14 昇降シリンダを取り外す (ページ 26) の作業を行う。
6. マシンの反対側の外側ブームにも、この項のステップ 14の作業を行う。

センターブームからブーム昇降マニホルドを外す

1. ブーム昇降マニホルドのポートPに接続されている高圧側ホースに、ケーブルタイでマーキングする図 66。

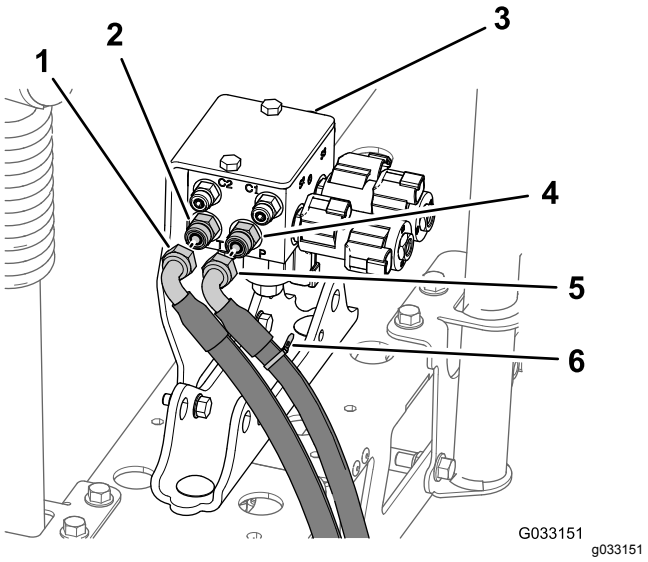


図 66

1. 戻り側油圧ホース
2. ストレートフィッティングポートT
3. ブーム昇降マニホルド
4. ストレートフィッティングポートP
5. 高圧側油圧ホース
6. ケーブルタイ

2. ブーム昇降マニホルドから、高圧側と戻り側のホースを外す図 66。

   重要 **油圧タンクのオイルが排出されないように、リターン側および押圧側油圧ホースのそれぞれの自由端を高い位置にもちあげておく。**

3. ブーム昇降マニホルド用サポートブラケットをシリンダマウントに固定しているフランジロックナット5/16 インチ2個とフランジヘッドボルト5/16 x 1 インチ2本を外して、機体からマニホルドとブラケットを取り外す 図 67。

   注 サポートブラケット、昇降マニホルド、ボルト、ナットは、ステップ1と2 ブーム昇降マニホルドを取り付ける (ページ 39)で使用します。

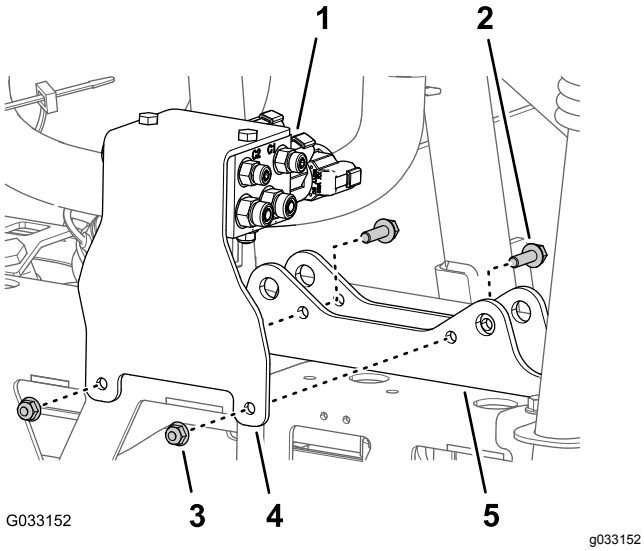


図 67

1. ブーム昇降マニホルド
2. フランジヘッドボルト5/16 x 1 インチ
3. フランジロックナット5/16 インチ
4. サポートブラケットブーム昇降マニホルド
5. シリンダマウント

センターブームを取り外す

吊り上げ装置に必要な能力: 41kg

1. 飛散防止カバーがを搭載している車両では、センターブームから飛散防止カバーを取り外してください。
2. 所定の能力のあるホイストなどを使って、センターブームを支える。
3. フランジヘッドボルト1/2 x 1-1/4 インチ4本とフランジロックナット1/2 インチ4個でセンターブームのサポートブラケットを機体のチャネル部材に固定している穴の位置を、テープなどでマーキングする図 68。

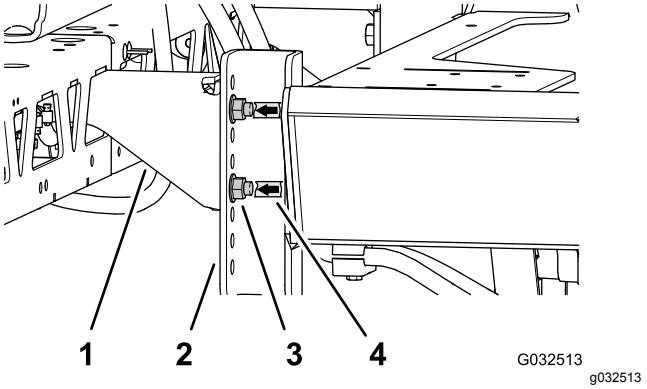


図 68

1. サポートブラケットセンターブーム
2. 取り付け用チャネル部 機体
3. フランジヘッドボルト1/2 x 1-1/4 インチとフランジロックナット1/2 インチ
4. テープによるマーキング

4. センターブーム用サポートブラケットを機体フレームの取り付け用チャネル部材に固定しているフランジヘッドボルト1/2 x 1-1/4 インチとフランジロックナット1/2 インチ4個とを外して、センターブームを機体から外す 図 69。

   注 ボルトとロックナットは、新しいセンターブームの取り付けに再使用します。

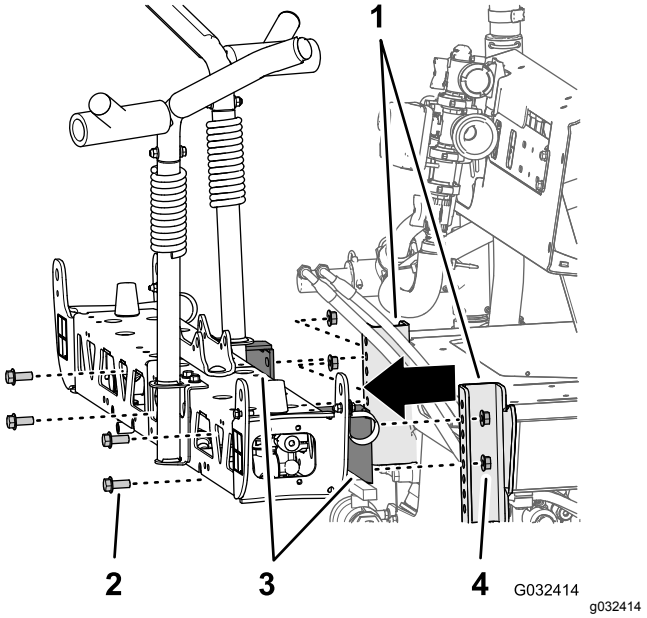


図 69

1. 取り付け用チャネル部材スプレーヤのフレーム
2. フランジヘッドボルト 1/4 x 1-1/2 インチ
3. サポートブラケットセンターブーム
4. フランジロックナット1/2 インチ

14

センターブームエクステンションを取り付ける

この作業に必要なパーツ

2	フランジヘッドボルト3/8 x 1 インチ
2	フランジロックナット3/8 インチ
1	センターブームエクステンション
1	シリンダマウントワイド
1	タイプレートワイド
4	キャリッジボルト1/2 x 1-1/4 インチ
4	フランジロックナット1/2 インチ

スプレーヤのノズルを取り外す

1. センターブーム部で、ノズルをノズルマウントに固定しているフランジロックナット外す図 70と図 71。

   注 外したロックナットは、ステップ 6と ノズルとホースをセンターブームに取り付ける (ページ 34) で使用します。

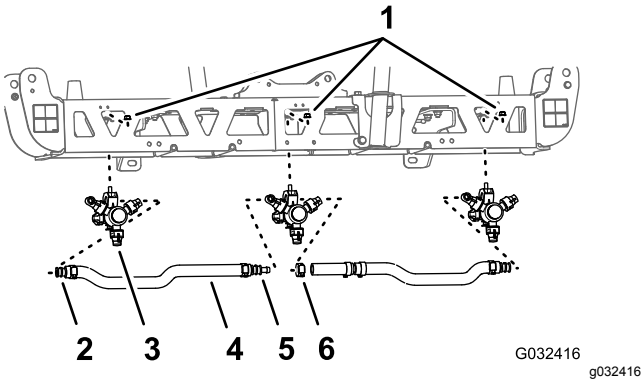


図 70

1. フランジロックナット5/16 インチ
2. 片側バーブ付きホースシャンク3/4 インチ
3. スプレーノズル
4. ホース内径 3/4 インチ
5. 両側バーブ付きホースシャンク3/4 インチ
6. ホースクランプ

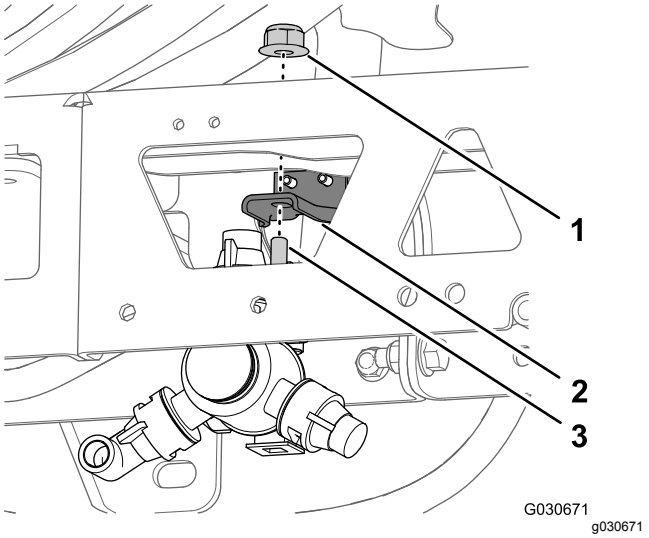


図 71

1. フランジロックナット5/16 インチ
2. ノズルマウント
3. 六角ヘッドボルト5/16 x 3/4 インチスプレーノズル

2. 片側または両側バーブ付きホースシャンク3/4 インチとそのクランプの上半分とをスプレーノズルのボディに固定しているステンレスねじ#12 x 1-1/4 インチを外してバーブ付きホースシャンクとホースをノズルから外す図 72。

   注 クランプを分離する時に上側クランプから外れてくる六角ヘッドボルト5/16 x 3/4 インチ—ステンレスは再利用しますから捨てないでください。

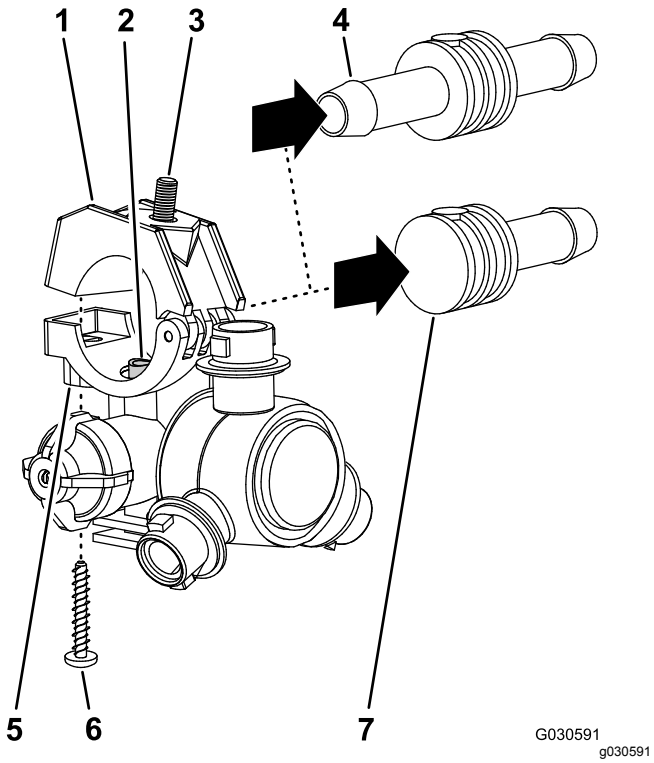


図 72

1. クランプの上半分
2. トランスファチューブ
3. 六角ヘッドボルト5/16 x 3/4 インチステンレス
4. 両側バーブ付きホースシャンク3/4 インチ
5. サドルスプレーノズルのボディ
6. ステンレスねじ#12 x 1-1/4 インチ
7. 片側バーブ付きホースシャンク3/4 インチ

3. センターブームからノズルを外す図 70 と 図 71。
4. 他の2個のノズルについても、上記の手順1と2を行う。

   注 外したノズル、ステンレスねじ、六角ヘッドボルトは、ステップ 6と7 センターブーム用のノズルとホースを組み立てる (ページ 33)で使用します。
5. センターブームから、ホース内径 3/4 インチ、バーブ付きホースシャンク、クランプ、バーブ付き字フィッティングを外す図 70。

   注 ホース、ホースシャンク、クランプ、字フィッティングは廃棄して構いません。

センターブームからサポートブラケットを外す

吊り上げ装置に必要な能力: 41kg

1. 所定の能力のあるホイストなどを使って、センターブームを支える。
2. サポートブラケットをセンターブームに固定しているフランジヘッドボルト3/8 x 1 インチ2本とフランジロックナット3/8 インチ2個を外して、ブラケットを取り外す図 73。

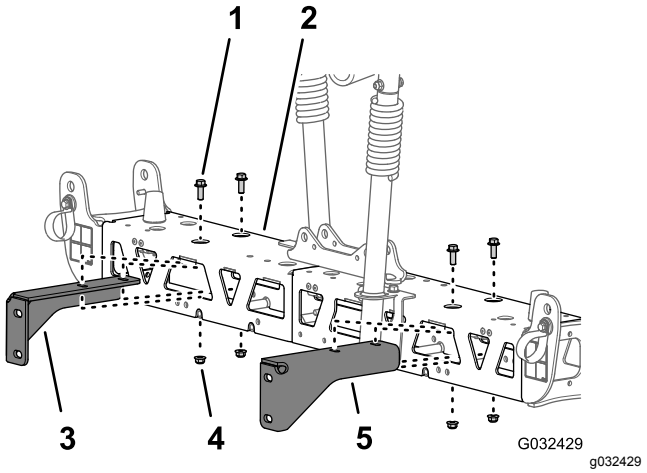


図 73

1. フランジヘッドボルト3/8 x 1 インチ
2. センターブーム
3. 右側サポートブラケットセンターブーム)
4. フランジロックナット3/8 インチ
5. 左側サポートブラケットセンターブーム

3. もうひとつのサポートブラケットをセンターブームに固定しているフランジヘッドボルト3/8 x 1 インチ2本とフランジロックナット3/8 インチ2個を外し、このブラケットも取り外す図 73。

   注 サポートブラケット、ボルト、ロックナットは、ステップ3と4 サポートブラケットをセンターブームに取り付ける (ページ 33)で使用します。

センターブームのトラスを取り外す

1. 左右のトラスフレームの垂直フランジを固定しているフランジヘッドボルト3/8 x 1 インチ 2本とロックナット3/8 インチ2個を取り外す図 74。

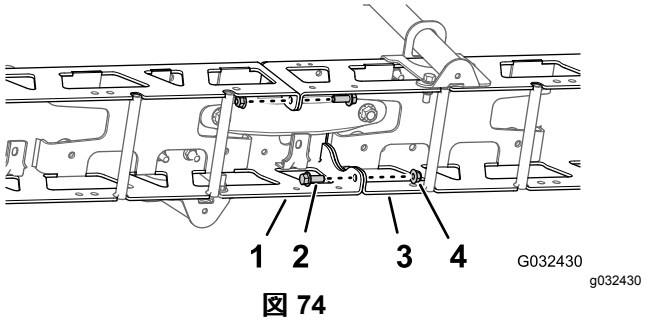


図 74

1. 左側トラスフレーム
2. フランジヘッドボルト3/8 x 1 インチ
3. 右側トラスフレーム
4. ロックナット3/8 インチ

2. 幅狭のシリンダマウント、左右のトラスフレーム、幅狭のタイプレートを固定しているキャリッジボルト1/2 x 1-1/4 インチ 2本とロックナット1/2 インチ 2個を取り外す図 75。

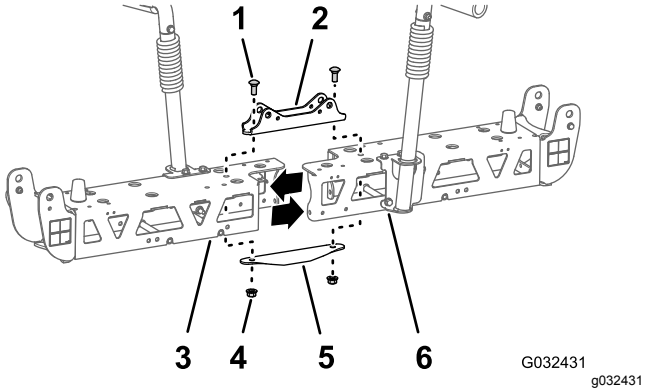


図 75

1. キャリッジボルト1/2 x 1-1/4 インチ
2. シリンダマウント幅狭
3. 左側トラスフレーム
4. ロックナット1/2 in
5. タイプレート幅狭
6. 右側トラスフレーム

注 フランジヘッドボルト、キャリッジボルト、ロックナットは、ステップ2と7 センターブームエクステンションを取り付ける (ページ 32)で使用します。幅狭シリンダマウントと幅狭のタイプレートは、もう使用しません。

3. 左右のトラスフレームを分離する。

センターブームエクステンションを取り付ける

1. センターブームエクステンションの垂直フランジについている穴を、トラスフレームの穴に合わせる図 76。

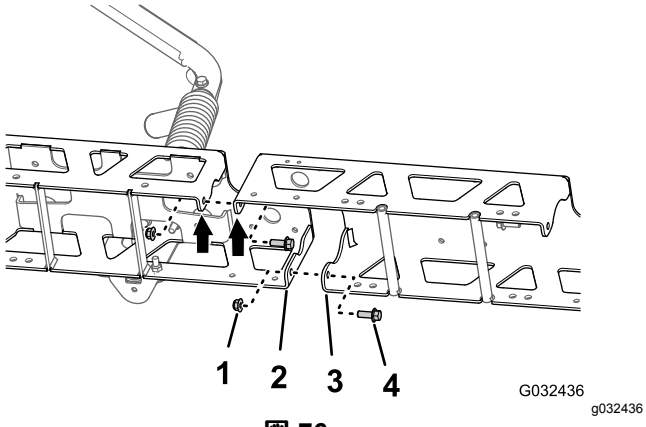


図 76

1. フランジロックナット3/8 インチ
2. 垂直フランジトラスフレーム
3. 垂直フランジセンターブームエクステンション
4. フランジヘッドボルト3/8 x /1 インチ

---

2. センターブームエクステンションをトラスフレームに仮組み付けする図 76ステップ 1 センターブームのトラスを取り外す (ページ 31)で取り外したフランジヘッドボルト (3/8 x 1 インチ) 2本とフランジロックナット3/8 インチを使用する。
3. センターブームエクステンションの垂直フランジについている穴を、もうひとつのトラスフレームについている穴に合わせる図 76。
4. センターブームエクステンションをこのトラスフレームに仮組み付けする図 76ジオリンクスプレーシステム仕上げキットに入っているフランジヘッドボルト3/8 x 1 インチ2本とフランジロックナット3/8 インチ2個を使用する図 76。
5. シリンダマウントの穴を、トラスフレームのセンターラインの穴とセンターブームエクステンションの穴に合わせる図 77。

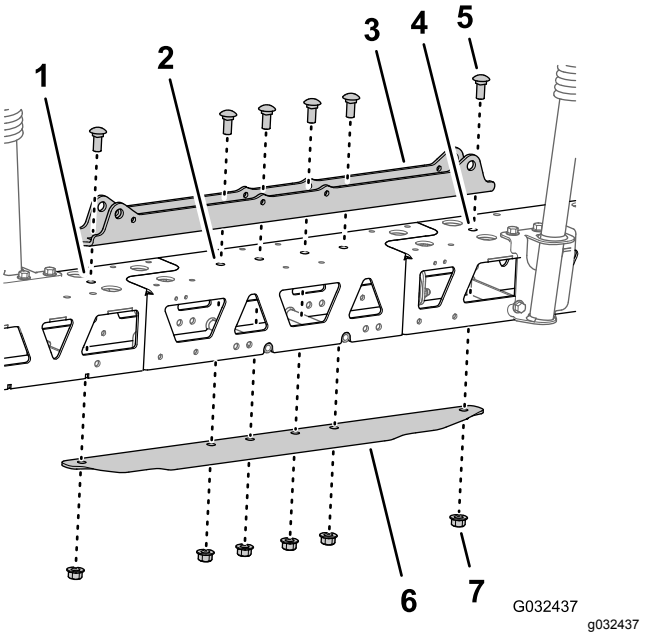


図 77

1. 左側トラスフレーム
2. センターブームエクステンション
3. シリンダマウント幅広
4. 右側トラスフレーム
5. キャリッジボルト1/2 x 1-1/4 インチ
6. タイプレート幅広
7. フランジロックナット1/2 インチ

---

6. タイプレートを、トラスフレームとセンターブームエクステンションの中に入れ、タイプレートの穴を、トラスフレームのセンターラインの穴とセンターブームエクステンションの穴に合わせる図 77。
7. シリンダマウント、トラス、センターブームエクステンション、タイプレートの組み付けを行うステップ2 センターブームのトラスを取り外す (ページ 31)で外したキャリッジボルト1/2 x 1-1/4 インチ2本とフランジロックナット1/2 インチ2個と、ジオリンクスプレーシステム仕上げキットに入っているキャリッジボルト1/2 x 1-1/4 インチ4本とフランジロックナット (1/2 インチ) 4個を使用する図 77。
8. フランジロックナット3/8 インチを37 45N·m 4.75.7kg·m = 2733ft-lbにトルク締めする。
9. フランジロックナット1/2 インチを91 113N·m 4.75.7kg·m = 6783ft-lbにトルク締めする。

15

センターブームに取り付けブラケットとスプレーノズルを取り付ける

この作業に必要なパーツ

2	スプレーノズル
2	ホースアセンブリスプレーバルブ5または6
2	フランジロックナット5/16 インチ

サポートブラケットをセンターブームに取り付ける

吊り上げ装置に必要な能力: 55kg

1. 所定の能力のあるホイストなどを使って、センターブームを支える。
2. 図 78に示すように、右サポートブラケットの穴を右トラスフレームの穴に合わせる。

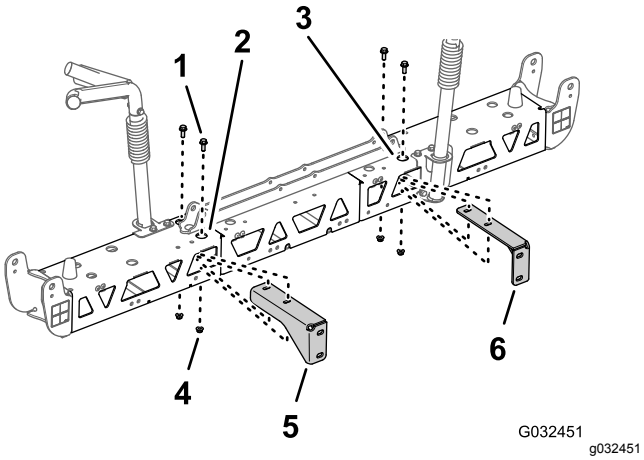


図 78

1. フランジヘッドボルト3/8 x 1 インチ
2. 右側トラスフレームセンターブーム)
3. 左側トラスフレームセンターブーム)
4. フランジロックナット3/8 インチ
5. 右側サポートブラケットセンターブーム)
6. 左側サポートブラケットセンターブーム

3. 右側サポートブラケットを右側トラスフレームに取り付ける図 78ステップ 2と3 センターブームからサポートブラケットを外す (ページ 31)で取り外したフランジヘッドボルト (3/8 x 1 インチ) 2本とフランジロックナット3/8 インチ2個を使用する。
4. 左トラスフレームの左サポートブラケットにも、ステップ 2と3 の作業を行う図 78。
5. フランジヘッドボルトとフランジロックナットを 3745N·m 3.74.6kg.m = 2733ft-lb にトルク締めする。

センターブーム用のノズルとホースを組み立てる

1. 適当な吊り上げ装置を使って、新しいセンターブームを作業しやすい高さまで吊り上げる。
2. ジオリンクスプレーシステム仕上げキットに入っているノズル本の、クランプの上半分をサドルに固定しているステンレスねじを外す図 79。

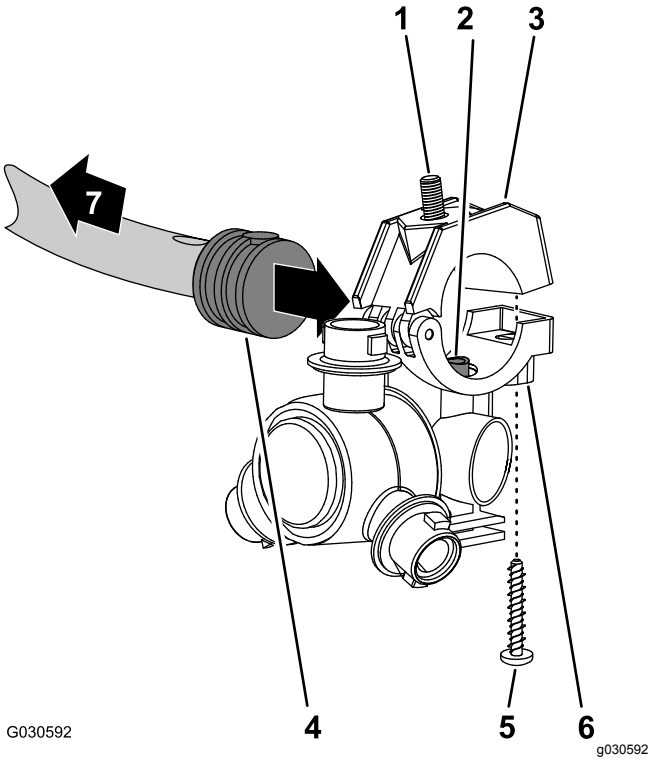


図 79

1. 六角ヘッドボルト5/16 x 3/4 インチステンレス
2. トランスファチューブ
3. クランプの上半分
4. 片側バーブ付きホースシャンク1/2 インチ
5. ステンレスねじ#12 x 1-1/4 インチ
6. スプレーノズルのボディ
7. ブームへ

3. センターブームスプレーバルブ5または6用のホースアセンブリ25cmの端部についている片側バーブ付きホースシャンクの側面にある穴を探し出す図 79 と 図 80。

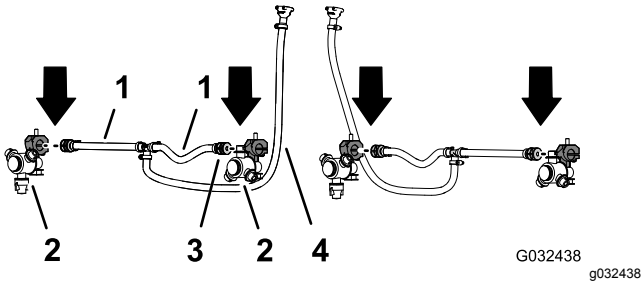


図 80

1. ホース 13 x 250mmスプレーバルブ5または6
2. スプレーノズル
3. 片側バーブ付きホースシャンク 13mm1/2 インチ
4. ホースとバーブ付きカップラ 13 x 810mm1/2 x 32 インチスプレーバルブ5または6

4. ノズルのサドルに付いているトランスファチューブ図 79を、片側バーブ付きホースシャンク1/2 インチの穴に合わせる。
5. バーブ付きホースシャンクにホースクランプの上半分をセットし、クランプとノズルボディ図 79を、ステンレスねじ#12 x 1-1/4 インチで固定し、1418N·m 0.250.3kg.m = 2025in-lbにトルク締めする。

   重要 **ステンレスねじは、ステップ 5に示されている以上の力で締め付けないでください。**

   注 クランプの上半分のくぼみに六角ヘッドボルト5/16 x 3/4 インチがきちんとはまっていることを確認してください。
6. ステップ 1 と 2 スプレーヤのノズルを取り外す (ページ 30)で外したノズル、六角ボルト、ステンレスねじを使って、ステップ 3 5 を、もう一方のホース25cmの片側バーブ付きホースシャンク図 79 と 図 80に対しても行う。
7. ステップ 4 スプレーヤのノズルを取り外す (ページ 30)で外した2つのノズルについて、もう一方のホースアセンブリスプレーバルブ5または6の片側バーブ付きホースシャンクに対してステップ 3 5 を、行う図 79 と 図 80。

ノズルとホースをセンターブームに取り付ける

1. ホース13 mm長さ25cmとノズルのアセンブリを、外側トラスのブレースの間に通す図 81。

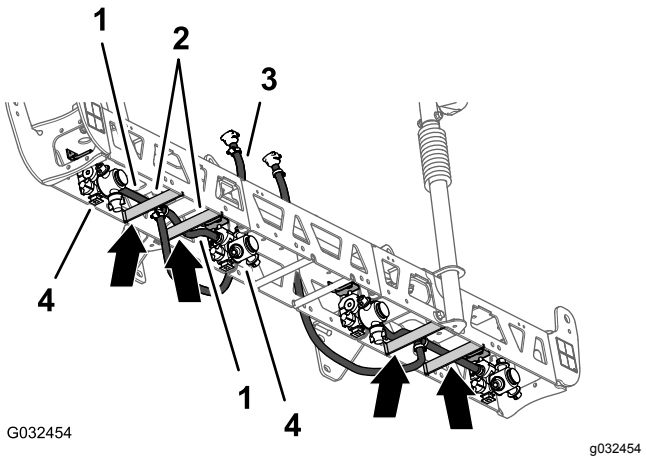


図 81

1. ホース 13 x 250mm1/2 x 10 インチ
2. トラスのブレース左トラス
3. ホースとバーブ付きカップラ 13 x 810mm1/2 x 32 インチ
4. スプレーノズル

2. ホースとノズルをトラスのブレースの上側に沿って、ブーム先端側のノズルマウントへ導く図 81。
3. ノズルの六角ヘッドボルト5/16 x 3/4 インチをノズルマウントの穴に通してノズルをマウントに仮止めするジオリンクスプレーシステム仕上げキットにあるフランジロックナット5/16 インチを使用する図 82。

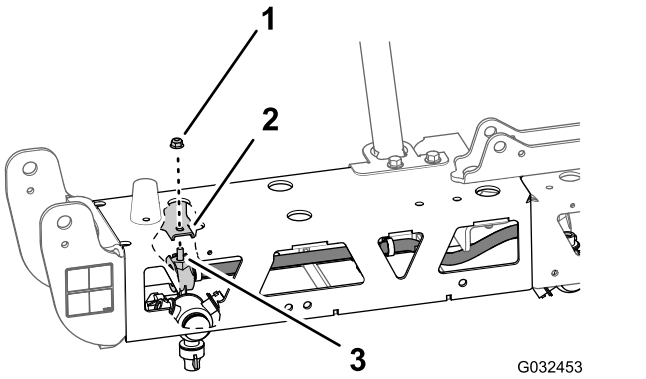


図 82

1. フランジロックナット5/16 インチ
2. ノズルマウント外側
3. 六角ヘッドボルト5/16 x 3/4 インチステンレス

4. もう一方のホース13 mm長さ25cmとノズルのアセンブリを、外側トラスのブレースの間に通す図 81。
5. ホースとノズルをトラスのブレースの上側に沿って、ブーム根元側のノズルマウントへ導く図 81。
6. ノズルの六角ヘッドボルト5/16 x 3/4 インチをノズルマウント図 82の穴に通してノズルをマウントに仮止めするステップ1と4 スプレーヤのノズルを取り外す (ページ 30)で外したフランジロックナット5/16 インチを使用する。
7. フランジロックナットを、19.78 25.42N·m 2.02.6kg.m = 175225in-lbにトルク締めする。

8. ホースとバーブ付きカップラ 13 x 810mm1/2 x 32 インチを、センターブームの左右のサポートブラケットのある側へ導く図 81。
9. もう一方の外側トラスのホースノズルアセンブリについても、ステップ 18 の作業を行う図 81 と 図 82。

16

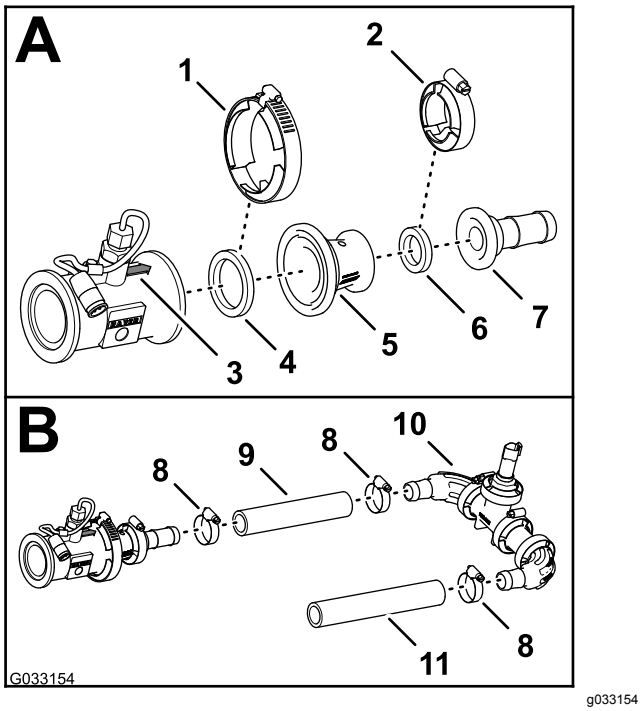
フローメータと水圧トランスデューサを取り付ける

この作業に必要なパーツ

1	フローメータ
2	フランジクランプ 76mm3インチ
2	ガスケット外径 2-1/4 インチ
2	縮径アダプタ
1	フランジクランプ 51mm2インチ
1	ガスケット外径 1-5/16 インチ
1	バーブ付きフランジフィッティング1 インチ
1	ホース1 x 7-1/4 インチ
3	ホースクランプ
1	水圧トランスデューサとマニホルド
1	ホース1 x 8-1/2 インチ
1	R クランプ
1	フランジヘッドボルト1/4 x 3/4 インチ
1	フランジロックナット1/4 インチ

フローメータと水圧トランスデューサを組み立てる

1. ステップ 4 コネクタチューブと縮径アダプタを外す (ページ 21)で取り外したガスケット2-1/4 インチと縮径アダプタを、フローメータの矢印の先端側に取り付ける図 83。



g033154

図 83

1. フランジクランプ 76mm3インチ
2. フランジクランプ 51mm2インチ
3. 方向矢印
4. ガスケット外径 2-1/4 インチ
5. 縮径アダプタ
6. ガスケット外径 1-5/16 インチ
7. バーブ付きフランジフィッティング1 インチ
8. ホースクランプ
9. ホース1 x 7-1/4 インチ
10. 水圧トランスデューサとマニホルド
11. ホース1 x 8-1/2 インチ

2. フローメータとガスケット (外径 2-1/4 インチ) をアダプタ図 83に取り付けるステップ 2 と 3 コネクタチューブと縮径アダプタを外す (ページ 21)で取り外したフランジクランプ76mmを使用する。
3. ガスケット2-1/4 インチとバーブ付きのホースフィッティングを、縮径アダプタにセットする図 83。
4. フランジクランプ51mm = 2インチを使って、バーブ付きフランジフィッティング、ガスケット、縮径アダプタ図 83を固定する。
5. 図 83に示すように、水圧トランスデューサとマニホルドのバーブ付きエルボフィッティングに組み付ける。
6. ホースクランプ2個を使って、ホースとバーブ付きフィッティングを固定する図 83。
7. 図 83に示すように、水圧トランスデューサとマニホルドのもう一方のバーブ付きエルボフィッティングに、ホース1 x 8-1/2 インチを組み付ける。
8. ホースとバーブ付きフィッティングをホースクランプで固定する図 83。

フローメータと水圧トランスデューサを機体に取り付ける

1. ステップ 3 コネクタチューブと縮径アダプタを外す (ページ 21)で取り外したガスケット2-1/4 インチを、フローメータと縮径アダプタマスターコントロールバルブの右側に取り付けられているに取り付ける図 84。

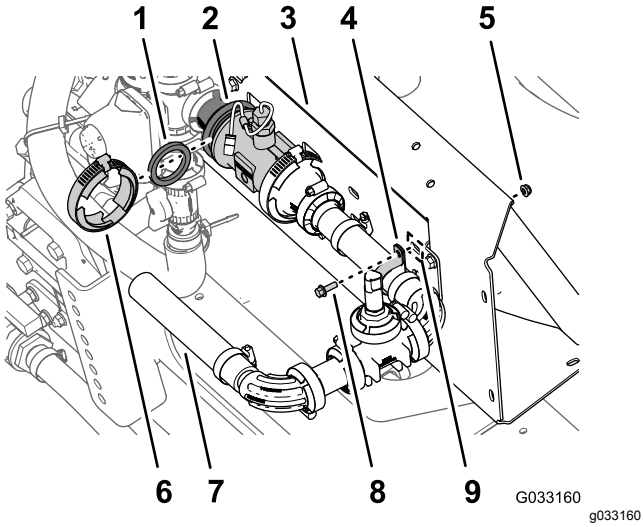


図 84

1. ガスケット外径 2-1/4 インチ
2. 縮径アダプタとフローメータのフランジ
3. マニホルドマウント
4. R クランプ
5. フランジロックナット1/4 インチ
6. フランジクランプ 76mm3インチ
7. ホース1 x 8-1/2 インチ
8. フランジヘッドボルト1/4 x 3/4 インチ
9. スロットマニホルドマウント)

2. ガスケット、フローメータ、縮径アダプタ図 84を、ステップ 2 コネクタチューブと縮径アダプタを外す (ページ 21)で取り外したフランジクランプ76mmで仮組みする。
3. 水圧トランスデューサとマニホルドをマニホルドマウントのスロットに固定するRクランプ、フランジヘッドボルト1/4 x 3/4 インチとフランジロックナット1/4 インチを使用して図 84のように取り付ける。
4. ステップ 2 で仮組みしたフランジクランプ本締めする。

17

新しいセンターブームを取り付ける

必要なパーツはありません。

手順

吊り上げ装置に必要な能力: 55kg

1. 所定の能力のある吊り上げ装置を使ってセンターブームを吊り上げ、サポートブラケットについているブーム用の穴を、車両のフレームの取り付けチャネル部材の3番目と6番目の穴に合わせる図 85。

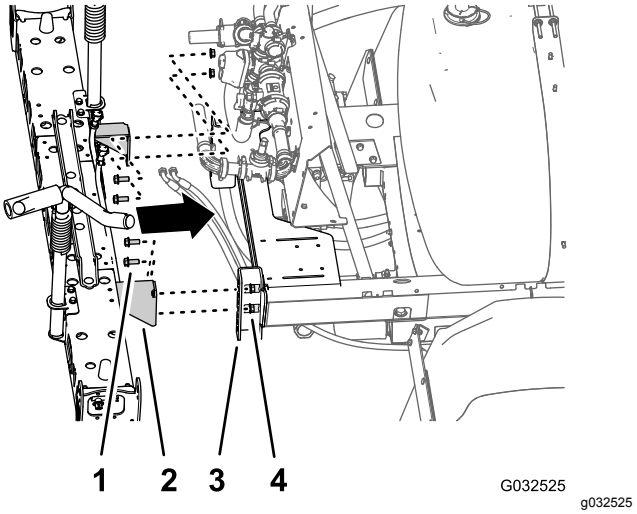


図 85

1. フランジヘッドボルト (1/2 x 1-1/4 インチ)
2. サポートブラケット10バルブシステム用のセンターブーム
3. 取り付け用チャネル部材スプレーヤのフレーム
4. フランジロックナット1/2 インチ

2. センターブームを取り付け用チャネル部材に組み付ける図 85ステップ 4 センターブームを取り外す (ページ 29)で取り外したフランジヘッドボルト1/2 x 1-1/4 インチ4本とフランジロックナット1/2 インチ4個を使用する。
3. ボルトとナットを91 113N·m 9.3 11.5kg.m = 67 83ft-lb にトルク締めする。

18

バルブマウントとスプレーバルブを取り付ける

この作業に必要なパーツ

1	バルブマウントスプレーバルブアセンブリ
4	ボルト 4 x 10mm
1	散布コントローラ
4	フランジロックナット4mm
8	フランジヘッドボルト5/16 x 3/4 インチ
8	フランジロックナット5/16 インチ
1	ホースクランプ

散布コントローラをバルブマウントに取り付ける

1. バルブマウントの前側に散布コントローラを取り付ける。40ピンコネクタが外側を向くように取り付けること図 86。

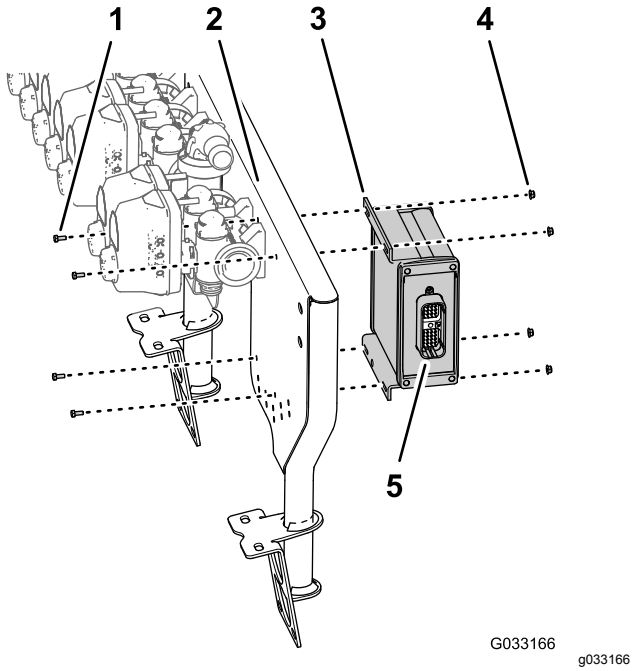


図 86

1. ボルト4 x 10mm
2. バルブ10本用マウント
3. 散布コントローラ
4. フランジロックナット4mm
5. 40 ピンコネクタ

2. 散布コントローラをバルブマウントに取り付ける図 86; ボルト4 x 10mm4本とフランジロックナット4mm4個を使用する。
3. ボルトとナットを234 286N·cm 0.24 0.29kg.m = 21 25in-lbにトルク締めする。

バルブマウントスプレーバルブアセンブリを機体に組み付ける

吊り上げ装置に必要な能力: 23kg

1. 所定の能力のある昇降装置を使ってバルブマウントスプレーバルブアセンブリを吊り上げ、センターブームに合わせる図 87。

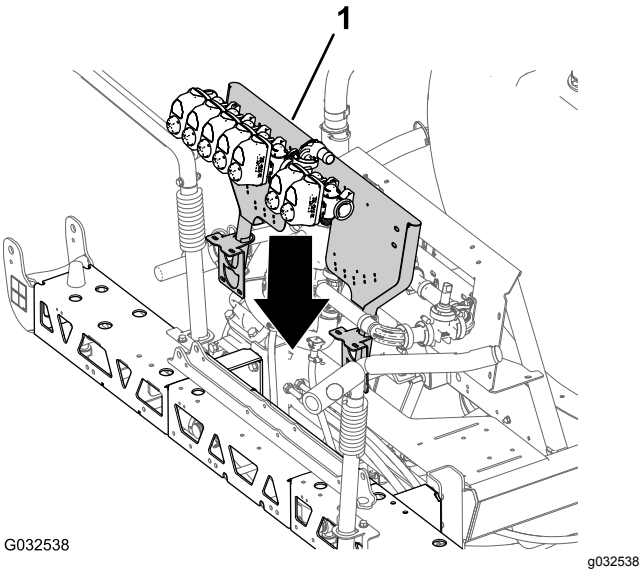


図 87

1. バルブマウントスプレーバルブアセンブリ

2. バルブマウントの取り付けブラケットの穴を、センターブームのトラスフレームの穴に合わせる図 88。

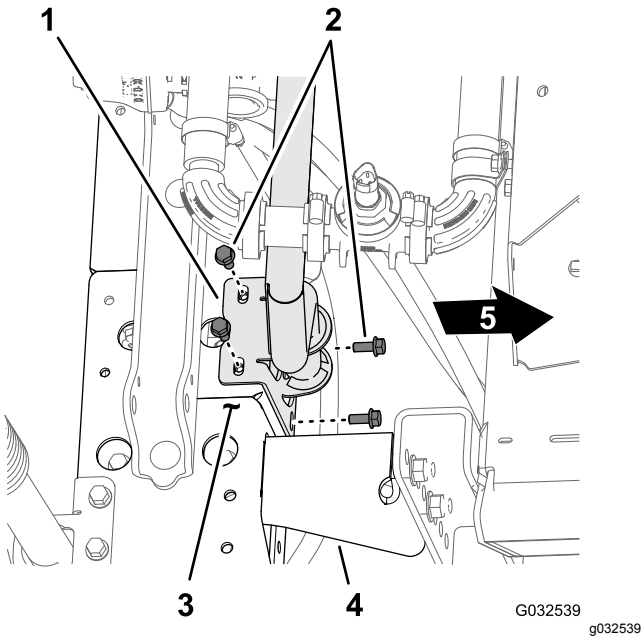


図 88

1. 取り付けブラケットバルブマウント
2. フランジヘッドボルト5/16 x 3/4 インチ
3. トラスフレームセンターブーム)
4. サポートブラケット
5. 機体前方

3. バルブマウントをトラスフレームに固定する図 88 と 図 89ボルト5/16 x 3/4 インチ4本とフランジロックナット5/16インチ4個を使用する。

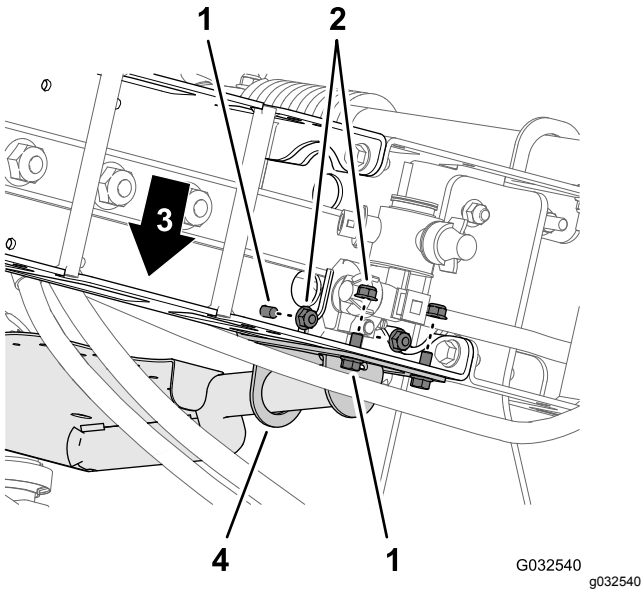


図 89

1. フランジヘッドボルト5/16 x 3/4 インチ
2. フランジロックナット5/16 インチ
3. 機体前方
4. 取り付けブラケットバルブマウント

4. もう一方のトラスフレームの取り付けブラケットにも、ステップ 23 の作業を行う。

5. フランジヘッドボルトとフランジロックナットを19782542N·cm 2.02.6kg.m = 175225in-lb にトルク締めする。

ホースをスプレーバルブマニホルドに組み付ける

1. 図 90に示すように、ホース1 x 8-1/2 インチを 90 度フランジフィッティングに組み付ける。

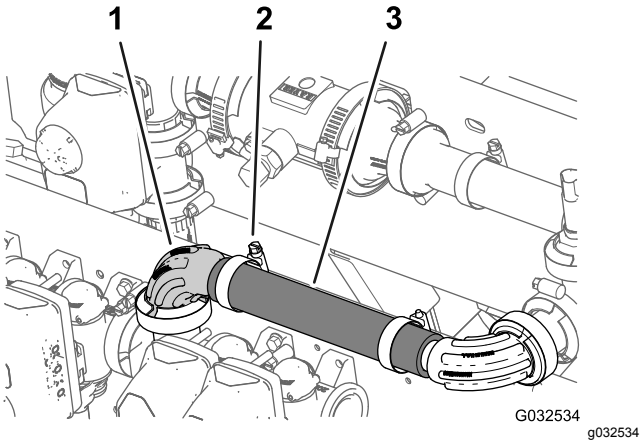


図 90

1. 90度フランジフィッティング 1 インチ
2. ホースクランプ
3. ホース1 x 8-1/2 インチ

2. ホースクランプを使ってホースをフランジフィッティングに固定する 図 90。

スプレーバルブ 8、9、10 をバルブマウントに取り付ける

重要 **ステップ 3 マニホルドマウントからブームバルブを外す (ページ 26)で外した左ブーム用バルブはノズルバルブ 8 番となり、センターブーム用バルブはノズルバルブ 9番となり、右ブーム用バルブはノズルバルブ 10番として利用されます。以降の説明ではそのように取り扱います。**

1. 左ブームバルブノズルバルブ 8番を、ノズルバルブ 7 番のフランジに合わせる図 91。

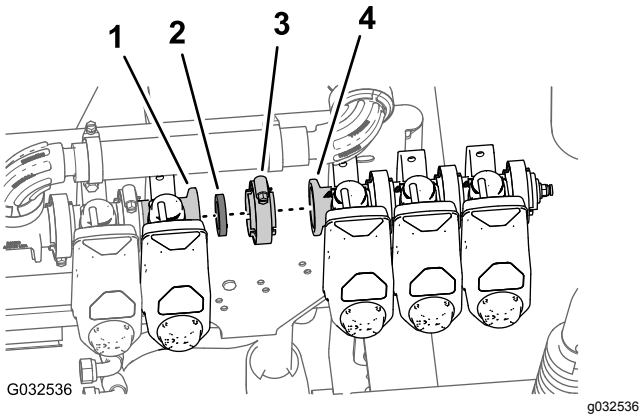


図 91

1. フランジノズルバルブ 7番
2. ガスケット
3. フランジクランプ
4. フランジノズルバルブ 8番

2. フランジ付きクランプ使って、ガスケットとノズルバルブ8番を、ノズルバルブ7番に仮止めする 図 91。
3. ノズルバルブ10番をバルブマウントに取り付ける 図 92ステップ 2 マニホルドマウントからブームバルブを外す (ページ 26)で取り外したフランジヘッドボルト1/4 x 3/4 インチ2本とフランジロックナット1/4 インチ2個を使用する。

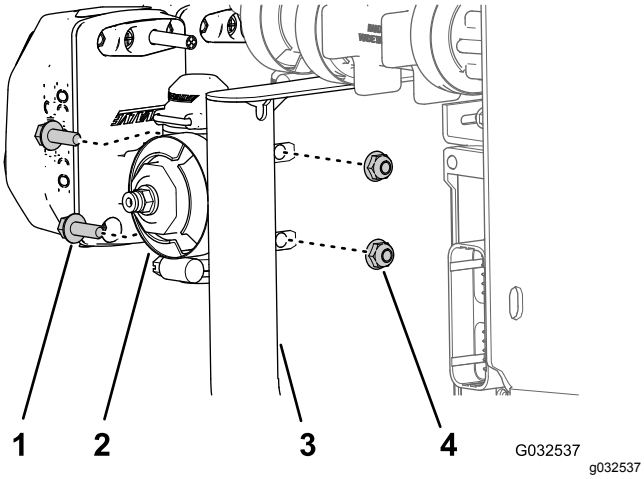


図 92

1. フランジヘッドボルト1/4 x 3/4 インチ
2. ノズルバルブ 10番
3. バルブマウント
4. フランジロックナット¼ インチ

4. フランジヘッドボルトとロックナットを10.1712.43N·m 1.01.4kg.m = 90120in-lb にトルク締めする。
5. フランジクランプを手締めする。

19

ブーム昇降シリンダを取り付ける

この作業に必要なパーツ

4	油圧ホース 1/4 x 24-3/4 インチ

ブーム昇降マニホルドを取り付ける

1. ステップ 3 センターブームからブーム昇降マニホルドを外す (ページ 28)で取り外したブーム昇降マニホルド用サポートブラケットを、新しいセンターブームの幅広のシリンダマウントに合わせる図 93。

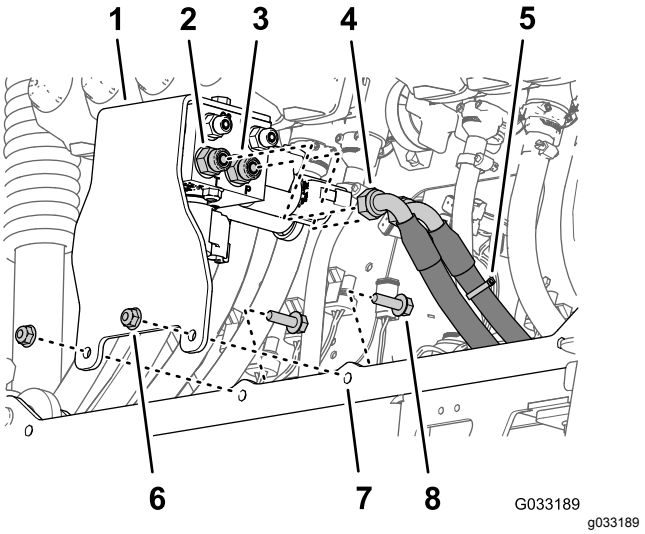


図 93

1. サポートブラケットとブーム昇降マニホルド
2. ストレートフィッティングポートT
3. ストレートフィッティングポートP
4. 戻り側油圧ホース
5. 高圧側油圧ホースケーブルタイでマーキングしたもの
6. フランジロックナット5/16 インチ
7. シリンダマウント幅広
8. フランジヘッドボルト5/16 x 1 インチ

2. サポートブラケットをシリンダマウントに取り付ける 図 93ステップ 3 センターブームからブーム昇降マニホルドを外す (ページ 28)で取り外したフランジヘッドボルト5/16 x 1 インチ2本とフランジロックナット5/16 インチを使用する。
3. ボルトとナットを19782542N·cm2.02.6kg.m = 175225in-lbにトルク締めする。
4. 高圧側油圧ホースケーブルタイでマーキングしたものを、ブーム昇降マニホルドのポートPに接続する図 93。

5. 戻り側油圧ホースを、ブーム昇降マニホルドのポートTに接続する図 93。
6. 各ホースのスイベルナットを3745N·m3.74.6kg.m = 2733ft-lb にトルク締めする。

昇降シリンダを組み立てる

1. ステップ 4 昇降シリンダを取り外す (ページ 26)で取り外した昇降シリンダの固定側端部を、シリンダマウントの 16mm の穴にセットする図 94。

   注 延びる側のポートと縮む側のポートを間違えないように整列させてください。

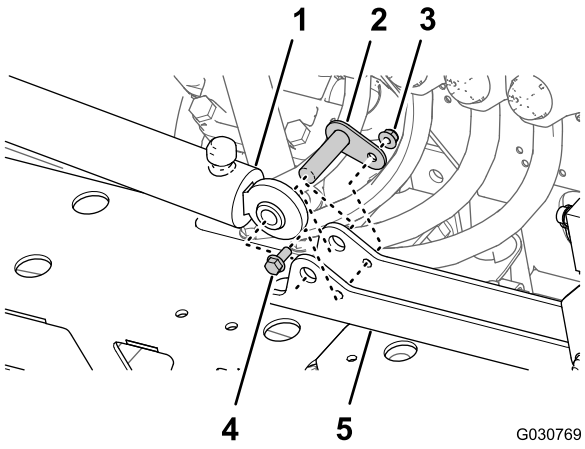


図 94

1. 昇降シリンダ固定側
2. ピボットピン
3. フランジロックナット5/16 インチ
4. フランジヘッドボルト5/16 x 3/4 インチ
5. シリンダマウント

2. シリンダをマウントに組み付けるピボットピン、フランジヘッドボルト、フランジナットを使用する図 94。
3. ボルトとナットを19782542N·cm2.02.6kg.m = 175225in-lbにトルク締めする。
4. 機体の反対側の昇降シリンダについても 13 の作業を行う。

昇降シリンダホースを取り付ける

1. 左側ブーム昇降シリンダの延長動作用ポートとブーム昇降マニホルドのポート C3 との間に、新しい油圧ホース1/4 x 24-3/4 インチを仮止めする図 95。

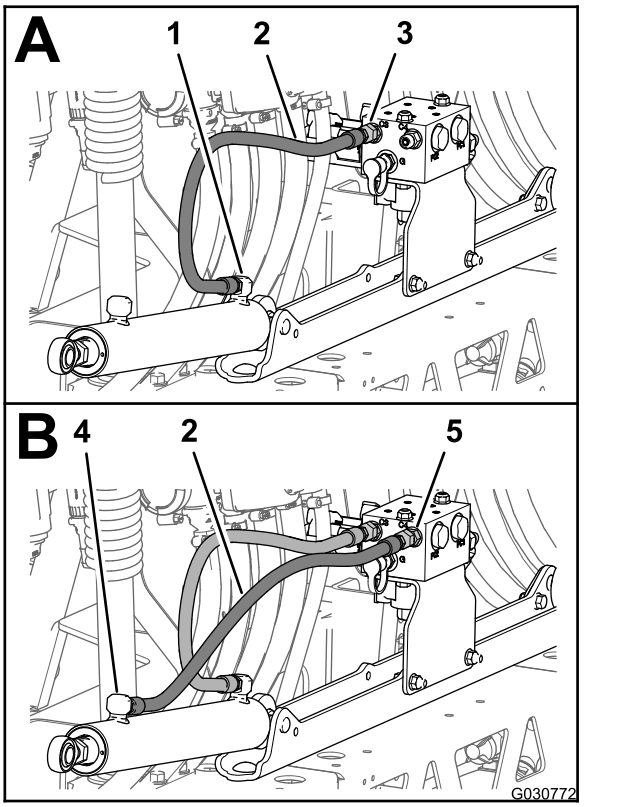
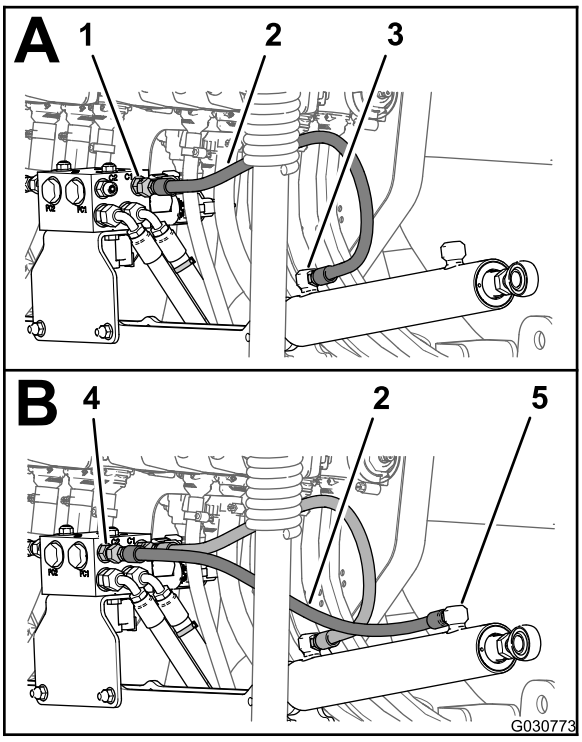


図 95

1. 延長動作用ポート左側ブーム昇降シリンダ
2. 油圧ホース1/4 x 24-3/4 インチ
3. ポート C3ブーム昇降マニホルド
4. 引き込み側ポート左側ブーム昇降シリンダ
5. ポート C4ブーム昇降マニホルド

2. 左側ブーム昇降シリンダの収縮動作用ポートとブーム昇降マニホルドのポート C4 との間に、新しい油圧ホース1/4 x 24-3/4 インチを仮止めする図 95。
3. 右側ブーム昇降シリンダの延長動作用ポートとブーム昇降マニホルドのポート C1 との間に、新しい油圧ホース1/4 x 24-3/4 インチを仮止めする (図 96。



g030773

図 96

1. ポート C1ブーム昇降マニホルド
2. 油圧ホース1/4 x 24-3/4 インチ
3. 延長動作用ポート右側ブーム昇降シリンダ
4. ポート C2ブーム昇降マニホルド
5. 収縮動作用ポート右側ブーム昇降シリンダ

4. 右側ブーム昇降シリンダの収縮動作用ポートとブーム昇降マニホルドのポート C2 との間に、新しい油圧ホース1/4 x 24-3/4 インチを仮止めする図 96。
5. 昇降シリンダの延長動作用および収縮動作用のポートのホースフィッティング図 95 と 図 96を2126N·m2.12.6kg.m = 1519ft-lb にトルク締めする。
6. 昇降マニホルドのホースのスイベルナット図 95 と 図 96を2430N·m2.43.0kg.m = 1722ft-lbにトルク締めする。

20

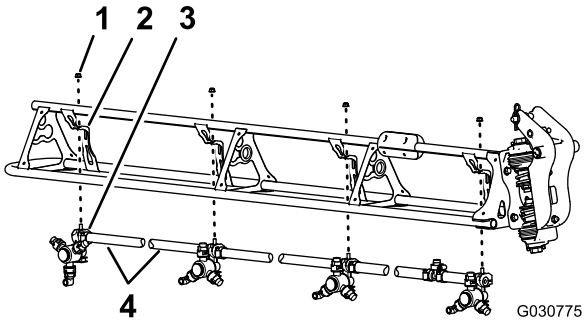
左右のブームを取り付ける

この作業に必要なパーツ

4	ナイロン製フランジブッシュ
1	ケーブルタイ
1	給液ホースアセンブリ188cm
1	給液ホースアセンブリ234cm
1	給液ホースアセンブリ279cm

左右のブームからスプレーノズルを外す

1. ふたつのノズルの間でホースを切断する図 97。



g030775

図 97

1. フランジロックナット5/16 インチ
2. ノズルサポート
3. スプレーノズル
4. ホース内径 3/4 インチ

2. ノズルをノズルサポートに固定しているフランジロックナット5/16 インチを外す図 97。
3. 他の3個のノズルについても、上記の手順2と1を行う。

   注 外したフランジロックナットとノズルは 左右ブームの散布ノズルを取り付ける (ページ 48)で使用しますので捨てないでください。

   注 機体から外したホース、クランプ、T字フィッティングは廃棄してください。
4. 反対側のブームについても、23の作業を行う。
5. ステップ1で取り外した8個のノズル全部について片側または両側バーブ付きホースシャンク3/4 インチとそのクランプの上半分とを各ノズルのボディに固定しているステンレスねじ#12 x 1-1/4 インチを外してバーブ付きホースシャンクをから外す図 98。

注 クランプを分離する時に上側クランプから外れてくる六角ヘッドボルト5/16 x 3/4 インチ—ステンレスは再利用しますから捨てないでください。

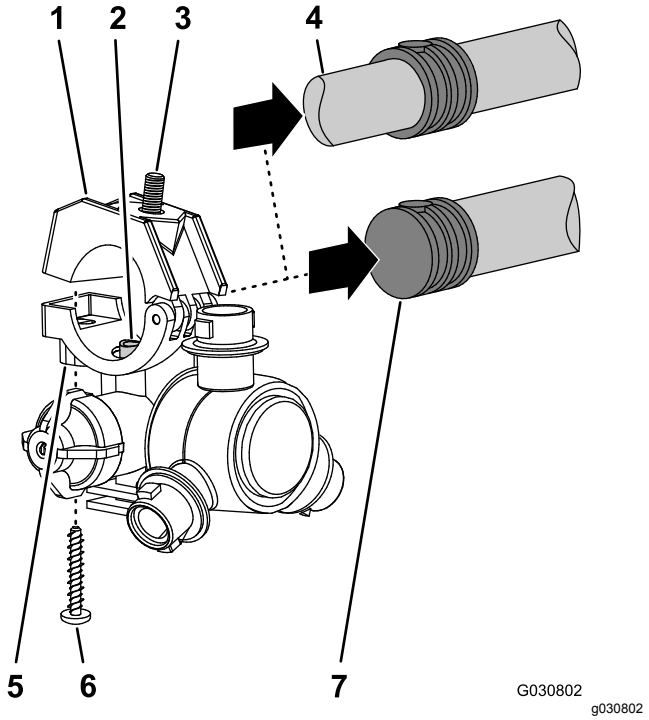


図 98

1. クランプの上半分
2. トランスファチューブ
3. 六角ヘッドボルト5/16 x 3/4 インチステンレス
4. 両側バーブ付きホースシャンク3/4 インチホース
5. スプレーノズルのボディ
6. ステンレスねじ#12 x 1-1/4 インチ
7. 片側バーブ付きホースシャンク3/4 インチホース

左右のブームを機体に取り付ける

吊り上げ装置に必要な能力: 91kg

1. 所定の能力のあるホイストなどを使って、左または右のブームを吊り上げる。
2. ピボットフィッティングの両側にある 31.8mm の穴に、ナイロン製のフランジブッシュを入れる図 99。

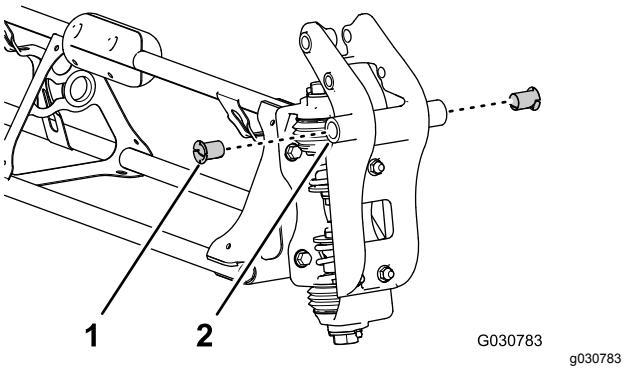


図 99

1. ナイロン製フランジブッシュ
2. ピボットフィッティング 左右ブーム

3. ブッシュを、センターブームの端部にあるピボットブラケットのフランジについている穴に合わせる図 100。

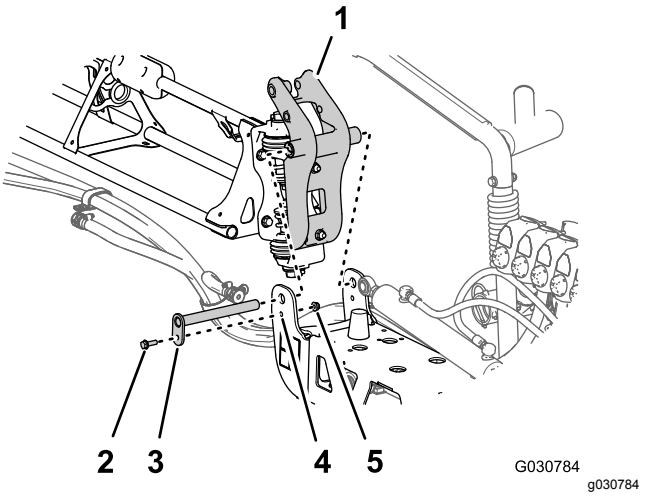


図 100

1. ピボットフィッティング 左右ブーム
2. フランジボルト5/16 x 1 インチ
3. ピボットピン
4. ピボットブラケット センターブーム
5. フランジロックナット5/16 インチ

4. ピボットフィッティングをピボットブラケットに取り付けるステップ 1と2 左右のブームを取り外す (ページ 27)で取り外したピボットピン、フランジボルト5/16 x 1 インチとフランジロックナット5/16 インチを使用する。
5. ボルトとナットを19.7825.42 N·m2.02.6kg.m = 175225in-lbにトルク締めする。
6. 昇降シリンダのロッドの先端を、ピボットフィッティングのホーンツノの穴25mmに合わせる図 101。

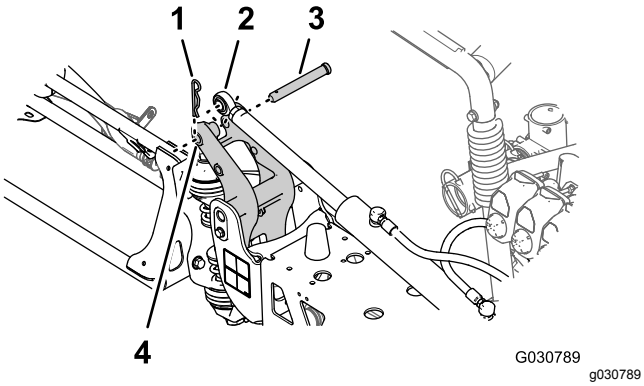


図 101

1. ヘアピン
2. ロッドの先端昇降シリンダ
3. クレビスピン
4. 25mm の穴 — ピボットフィッティングのホーン

---

7. 昇降シリンダをピボットフィッティングに固定する クレビスピンとヘアピン図 101ステップ3 昇降シリンダを取り外す (ページ 26)で外したものを使用する。
8. 機体の反対側の外側ブームにも、ステップ 17 の作業を行う。

21

散布ノズル用ホースを取り付ける

この作業に必要なパーツ

2	給液ホースアセンブリ279cm
2	給液ホースアセンブリ234cm
4	給液ホースアセンブリ188cm
2	給液ホースアセンブリ81cm

各散布ノズル用ホースの取り付け位置を確認する

各ホースの取り付け位置をホースの長さで確認する図 102

ホース取り付け位置確認表

ノズルの位置左ブーム	ノズルの位置センターブーム	ノズルの位置右ブーム
散布ノズル 1ノズルバルブ 1給液ホース 279cm	散布ノズル と6ノズルバルブ 5給液ホース 81cm枝ホース本付き	散布ノズル 9ノズルバルブ 7給液ホース 188cm
散布ノズル 2ノズルバルブ 2給液ホース 234cm	散布ノズル 7と8ノズルバルブ 6給液ホース 81cm枝ホース本付き	散布ノズル 10ノズルバルブ 8給液ホース 188cm
散布ノズル 3ノズルバルブ 3給液ホース 188cm		散布ノズル 11ノズルバルブ 9給液ホース 234cm
散布ノズル 4ノズルバルブ 4給液ホース 188cm		散布ノズル 12ノズルバルブ 10給液ホース 279cm

注 ノズルバルブの位置については 図 103 各ホースをノズルバルブ~4 番に取り付ける。 (ページ 46)、図 104 ホースをノズルバルブ5および6 番に取り付ける。 (ページ 46)、および図 105 各ホースをノズルバルブ710 番に取り付ける。 (ページ 47) を参照してください。

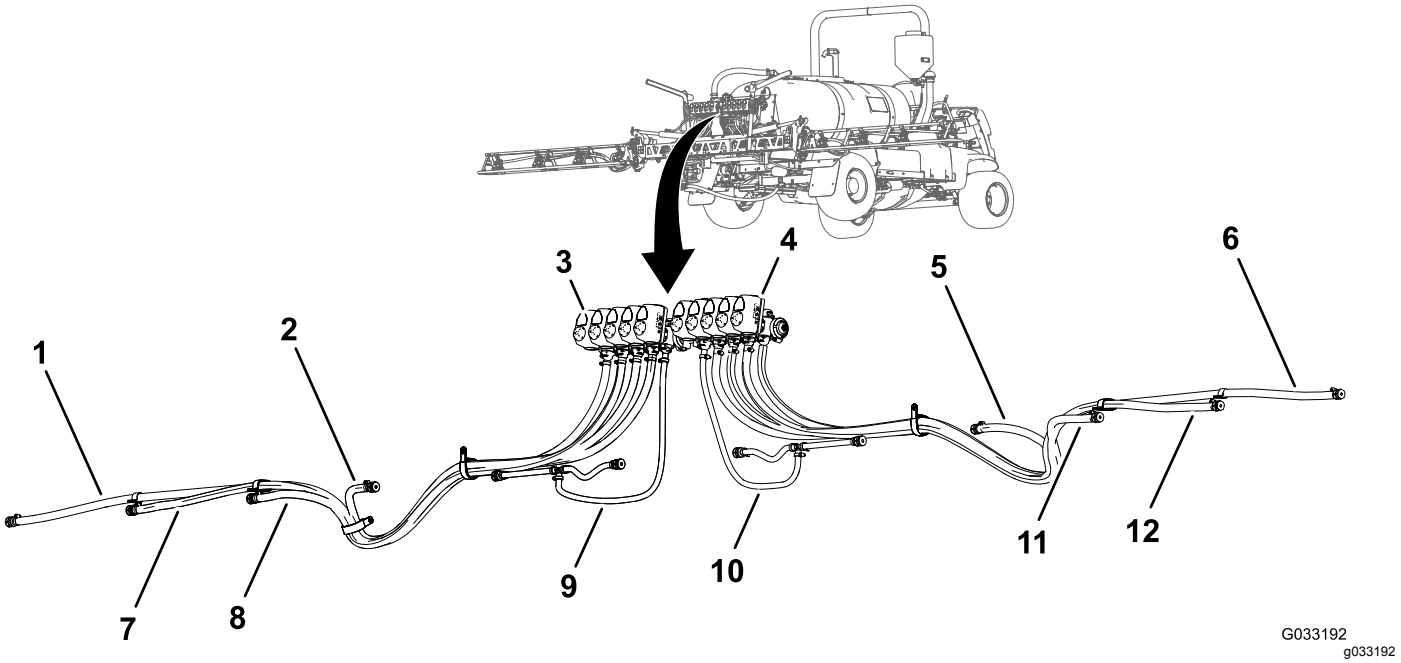


図 102

1. 給液ホース279cm散布ノズル
2. 給液ホース188cm散布ノズル4
3. ノズルバルブ 1番
4. ノズルバルブ 10番
5. 給液ホース188cm散布ノズル9
6. 給液ホース279cm散布ノズル12
7. 給液ホース234cm散布ノズル2
8. 給液ホース188cm散布ノズル3
9. 給液ホース81cm散布ノズルと6
10. 給液ホース81cm散布ノズル7と8
11. 給液ホース188cm散布ノズル10
12. 給液ホース234cm散布ノズル11

各ホースをノズルバルブ~4 番に取り付ける。

1. 給液ホース279cmのバーブ付きストレートフィッティングを、ノズルバルブ1番のカップラに組み付ける図 103。

   注 バーブ付きフィッティングはカップラに完全に差し込んでください。

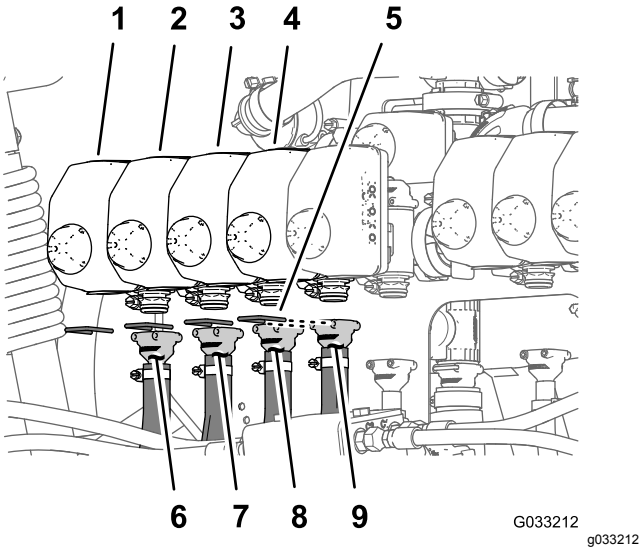


図 103

1. ノズルバルブ 1番
2. ノズルバルブ 2番
3. ノズルバルブ 3番
4. ノズルバルブ 4番
5. リテーナ
6. 給液ホースアセンブリ279cm
7. 給液ホースアセンブリ234cm
8. 給液ホースアセンブリ188cm
9. 給液ホースアセンブリ188cm

2. リテーナを使って、バーブ付きフィッティングをバルブに固定する図 103。
3. 給液ホース234cmのバーブ付きストレートフィッティングを、ノズルバルブ2番のカップラに組み付ける図 103。

   注 バーブ付きフィッティングはカップラに完全に差し込んでください。

4. リテーナを使って、バーブ付きフィッティングをバルブに固定する図 103。
5. 給液ホース188cmのバーブ付きストレートフィッティングを、ノズルバルブ3番のカップラに組み付ける図 103。

   注 バーブ付きフィッティングはカップラに完全に差し込んでください。

6. リテーナを使って、バーブ付きフィッティングをバルブに固定する図 103。
7. 給液ホース188cmのバーブ付きストレートフィッティングを、ノズルバルブ4番のカップラに組み付ける図 103。

   注 バーブ付きフィッティングはカップラに完全に差し込んでください。

8. リテーナを使って、バーブ付きフィッティングをバルブに固定する図 103。

ホースをノズルバルブ5および6 番に取り付ける。

注 給液ホースアセンブリ81cmには T字フィッティング、枝ホース本、バーブ付きホースシャンク本が付きます。

1. 給液ホース81cmのバーブ付きストレートフィッティングを、ノズルバルブ5番のカップラに組み付ける図 104。

   注 バーブ付きフィッティングはカップラに完全に差し込んでください。

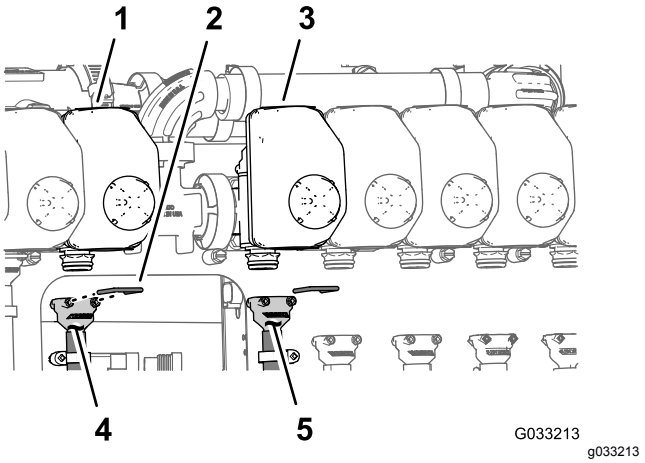


図 104

1. ノズルバルブ 5番
2. リテーナ
3. ノズルバルブ 6番
4. 給液ホースアセンブリ81cm
5. 給液ホースアセンブリ81cm

2. リテーナを使って、バーブ付きフィッティングをバルブに固定する図 104。
3. 給液ホース81cmのバーブ付きストレートフィッティングを、ノズルバルブ6番のカップラに組み付ける図 104。

   注 バーブ付きフィッティングはカップラに完全に差し込んでください。

4. リテーナを使って、バーブ付きフィッティングをバルブに固定する図 104。

各ホースをノズルバルブ710 番に取り付ける。

1. 給液ホース188cmのバーブ付きストレートフィッティングを、ノズルバルブ7番のカップラに組み付ける図 105。

   注 バーブ付きフィッティングはカップラに完全に差し込んでください。

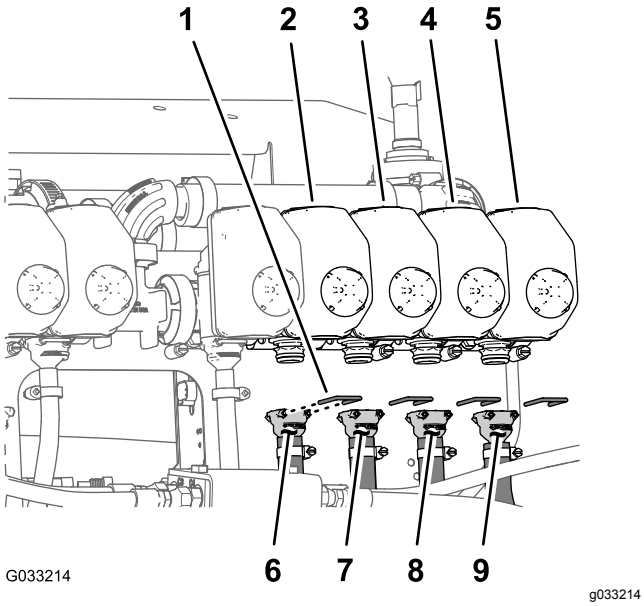


図 105

1. リテーナ
2. ノズルバルブ 7番
3. ノズルバルブ 8番
4. ノズルバルブ 9番
5. ノズルバルブ 10番
6. 給液ホースアセンブリ188cm
7. 給液ホースアセンブリ188cm
8. 給液ホースアセンブリ234cm
9. 給液ホースアセンブリ279cm

2. リテーナを使って、バーブ付きフィッティングをバルブに固定する図 105。
3. 給液ホース188cmのバーブ付きストレートフィッティングを、ノズルバルブ8番のカップラに組み付ける図 105。

   注 バーブ付きフィッティングはカップラに完全に差し込んでください。

4. リテーナを使って、バーブ付きフィッティングをバルブに固定する図 105。
5. 給液ホース234cmのバーブ付きストレートフィッティングを、ノズルバルブ9番のカップラに組み付ける図 105。

   注 バーブ付きフィッティングはカップラに完全に差し込んでください。

6. リテーナを使って、バーブ付きフィッティングをバルブに固定する図 105。
7. 給液ホース279cmのバーブ付きストレートフィッティングを、ノズルバルブ10番のカップラに組み付ける図 105。

   注 バーブ付きフィッティングはカップラに完全に差し込んでください。

8. リテーナを使って、バーブ付きフィッティングをバルブに固定する図 105。

給液ホースを散布ノズルへ配設する

1. 散布ノズル1、2、3、4番用のホースを、センターブームの左端にあるR クランプに通す図 106と図 107。

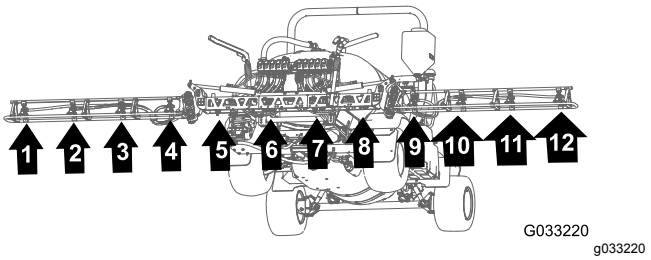


図 106

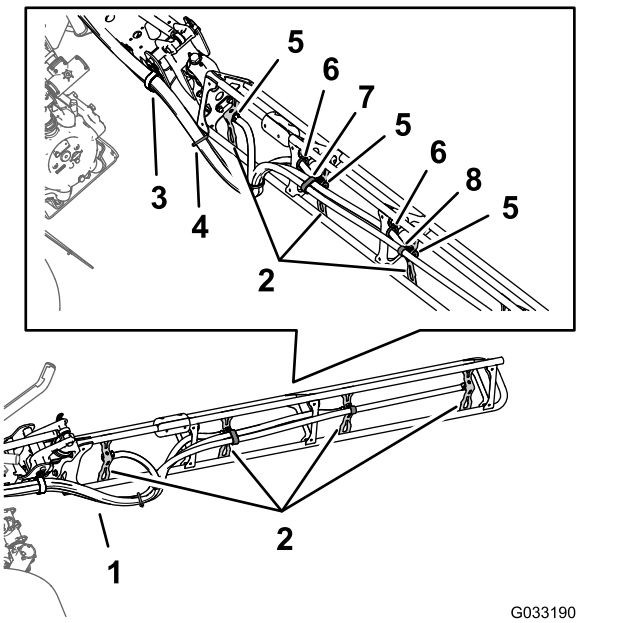


図 107

1. ホース
2. ノズルサポート
3. R クランプ
4. ケーブルタイ
5. 片側バーブ付きホースシャンク1/2 インチ
6. グロメット
7. ダブル R クランプ
8. シングル R クランプ

2. 散布ノズル7、8、9、10番用のホースを、センターブームの右端にあるR クランプに通す図 106と図 107。

3. 図 106と図 107のように、給液ホース279cmとバーブ付きホースシャンク3/4 インチをブームに沿って散布ノズル10番へ配設する。
4. 図 106と図 107のように、給液ホース234cmとバーブ付きホースシャンク3/4 インチをブームに沿って散布ノズル29番へ配設する。
5. 図 106と図 107のように、給液ホース188cmとバーブ付きホースシャンク3/4 インチをブームに沿って散布ノズル3番と8番へ配設する。

   注 各ホースを、チューブフレームブラケットの下側後部のグロメットに通す。
6. 図 106と図 107のように、給液ホース188cmとバーブ付きホースシャンク3/4 インチをブームに沿って散布ノズル4番と7番へ配設する。

   注 各ホースを、チューブフレームブラケットの下側後部のグロメットに通す。
7. 散布ノズル用のホース4本をケーブルタイで 図 107のようにまとめる。

左右ブームの散布ノズルを取り付ける

1. ノズルのサドルに付いているトランスファチューブ図 108を、片側バーブ付きホースシャンク1/2 インチの側面の穴に合わせる。

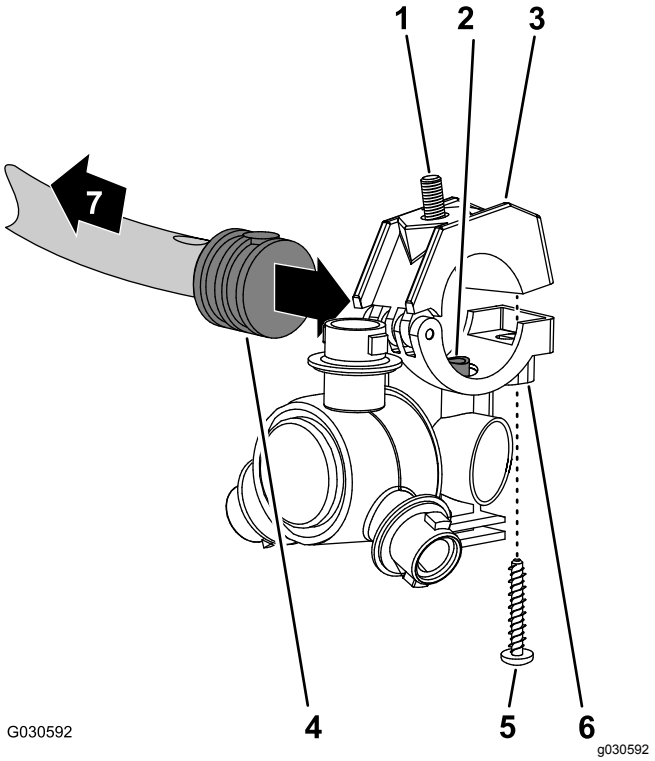


図 108

1. 六角ヘッドボルト5/16 x 3/4 インチステンレス
2. トランスファチューブ
3. クランプの上半分
4. 片側バーブ付きホースシャンク1/2 インチ
5. ステンレスねじ#12 x 1-1/4 インチ
6. スプレーノズルのボディ
7. ブームへ

2. バーブ付きホースシャンクにホースクランプの上半分をセットし、クランプとノズルボディ図 108を、ステンレスねじ#12 x 1-1/4 インチで固定し、1418N·m0.250.3kg.m = 2025in-lbにトルク締めする。

   注 クランプの上半分のくぼみに六角ヘッドボルト5/16 x 3/4 インチがきちんとはまっていることを確認してください。
3. 以下の要領で、左右のブームにスプレーノズルを取り付ける
   - ノズル位置1番と4番で、ノズルマウントにノズルを組み付ける図 109のAステップ2 左右のブームからスプレーノズルを外す (ページ 41)で外したフランジロックナット5/16 インチを使用する。
   - ノズル位置2番と3番で、ノズルマウントにノズルを組み付ける図 109のAとBステップ2 左右のブームからスプレーノズルを外す (ページ 41)で外したフランジロックナット5/16 インチを使用する。

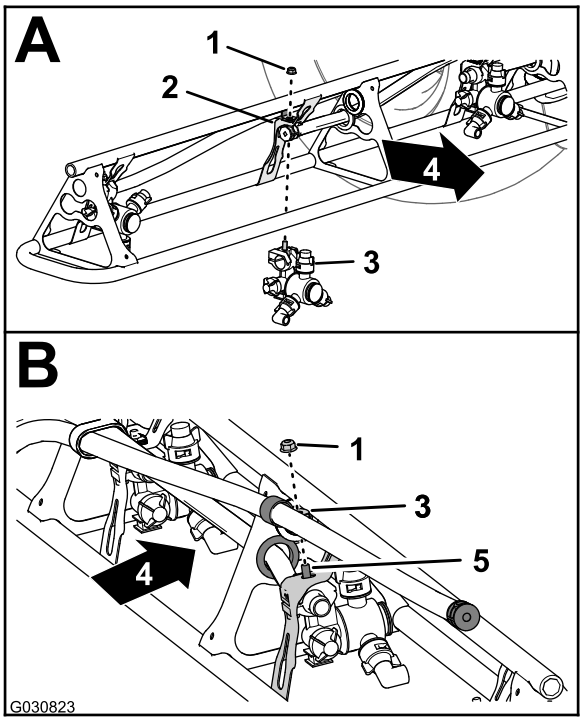


図 109

1. フランジロックナット5/16 インチ
2. ノズルマウント
3. スプレーノズル
4. 機体後方
5. 六角ヘッドボルトステンレス5/16 x 3/4 インチ

4. フランジロックナットを、19.78 25.42N·m 2.02.6kg.m = 175225in-lbにトルク締めする。
5. 他のノズルについても、14の手順を行う。
6. 機体の反対側の外側ブームについても、15 の作業を行う。

22

後方ワイヤハーネスを車体に取り付ける

この作業に必要なパーツ

1	後方ワイヤハーネス
3	ケーブルタイ

フレームチューブに沿ってワイヤハーネスを敷設する

1. 新しい電気ハーネスから、165cm の枝線と203cm の枝線を探し出す図 110。

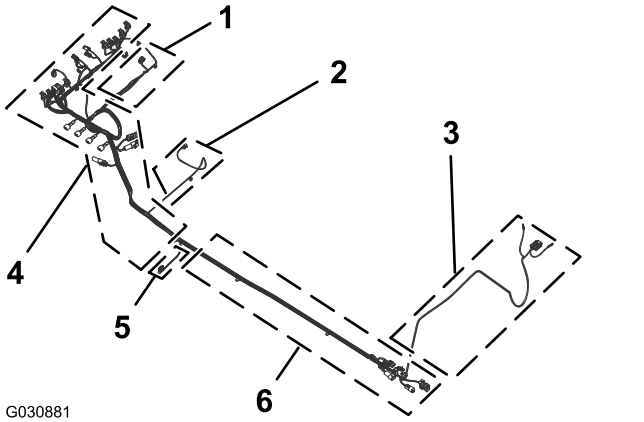


図 110

1. 81cm のハーネス枝線—**フローメータと攪拌バルブ**
2. 86cm のハーネス枝線—**スプレーポンプのソレノイド**
3. 165cm のハーネス枝線—リング端子とヒューズ表記なし
4. 203cm のハーネス枝線—**ASC10**, 昇降シリンダのソレノイド, **ノズルバルブ** 1 10
5. 33cm のハーネス枝線—速度センサー
6. 170cm のハーネス枝線—前方ハーネスへのコネクタ

2. 新しいハーネスの165cm の枝線と 203cm の枝線を、バルブマウント10個の散布バルブ用とマニホルドマウント用の右側サポートとの間に通す図 111。

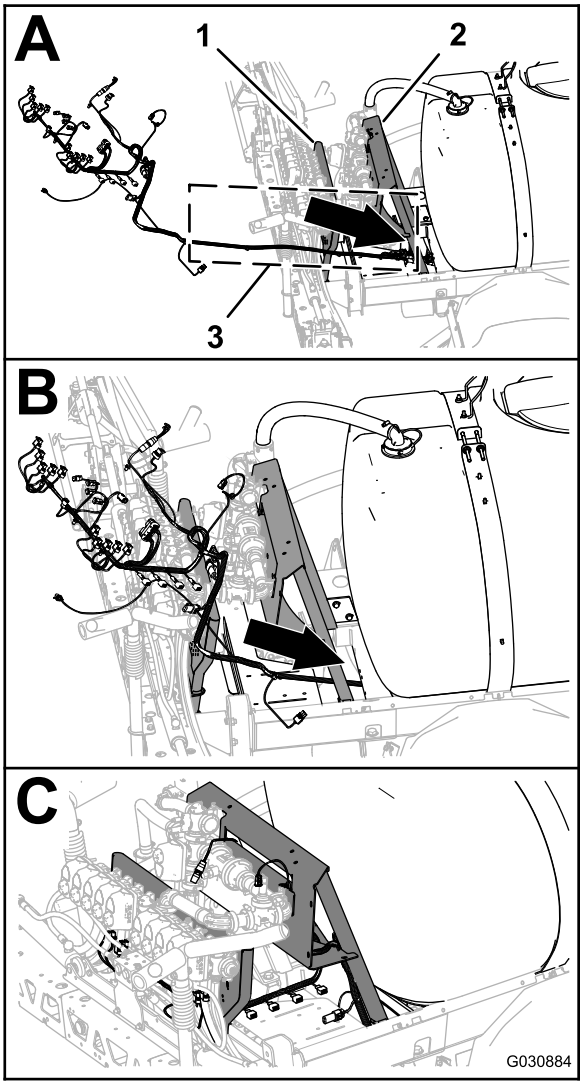


図 111

1. バルブマウント10個の散布バルブ用
2. マニホルドマウント
3. 165cm の枝線と 203cm の枝線電気ハーネス

3. 165cm の枝線と 203cm の枝線を、右側フレームチューブに沿って前方へ延ばす図 112。

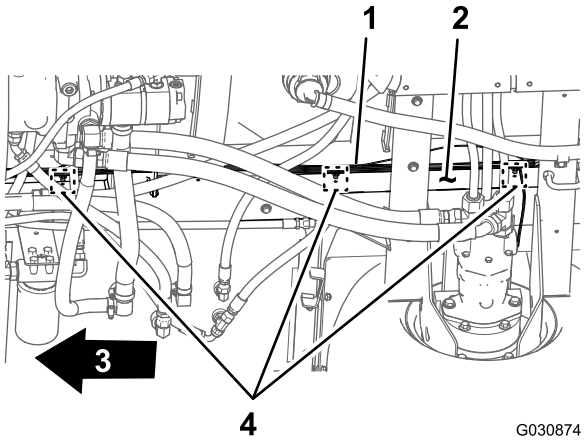


図 112

1. 後方ワイヤハーネス 203cm の枝線
2. 右側フレームチューブ
3. 機体前方
4. モミの木形のアンカー とケーブルタイの位置

4. 後方ワイヤハーネスの 203cm の枝線のモミの木形アンカーを、見知側フレームチューブの穴に差し込む図 112この穴は、古いモミの木形アンカーがあった穴 ステップ 3 前ハーネスと後ろハーネスの接続を外す (ページ 17)を参照。

前ハーネスと後ろハーネスを相互に接続する

注 前ハーネスと後ろハーネスの接続を行う時は、ホイストで機体を持ち上げて行ってください。

1. 機体の下の右フレームチューブに沿って配設されている前後のワイヤハーネスの相互コネクタを探し出す図 113。

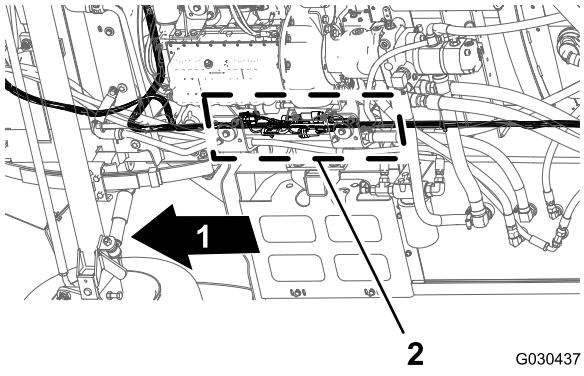


図 113

1. 機体前方
2. コネクタのインタフェース前と後ろハーネス

注 前ハーネスの3ソケットコネクタは使用しません 図 114。

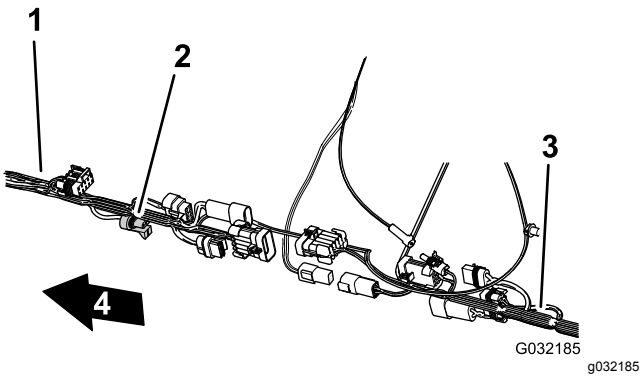


図 114

1. 前方ワイヤハーネスス
2. 3ソケットコネクタ—**使用しない**フローメータ前方ハーネス
3. 後方ワイヤハーネス
4. 機体前方

2. 前方ハーネスのスプレーヤ用ハーネスインターコネクトの10ソケットコネクタを、後方ハーネスのスプレーヤ用ハーネスインターコネクトの10ピンコネクタに接続する図 115。

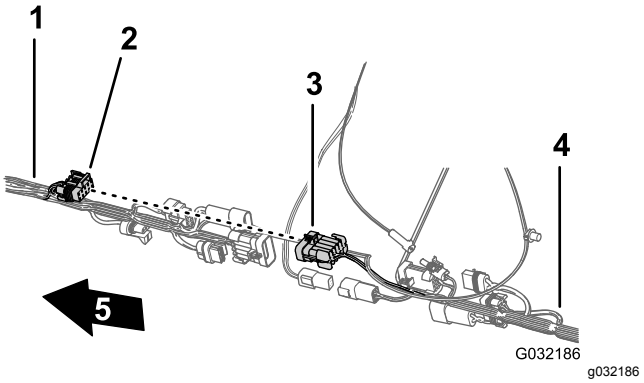


図 115

1. 前方ワイヤハーネスス
2. 10ソケットコネクタスプレーヤ用ワイヤハーネス前ハーネス
3. 10ピンコネクタスプレーヤ用ワイヤハーネス後ハーネス
4. 後方ワイヤハーネス
5. 機体前方

3. 前方ハーネスのスプレーヤ用ハーネスインターコネクトの8ピンコネクタを、後方ハーネスのレートスイッチ用8ソケットコネクタに接続する図 116。

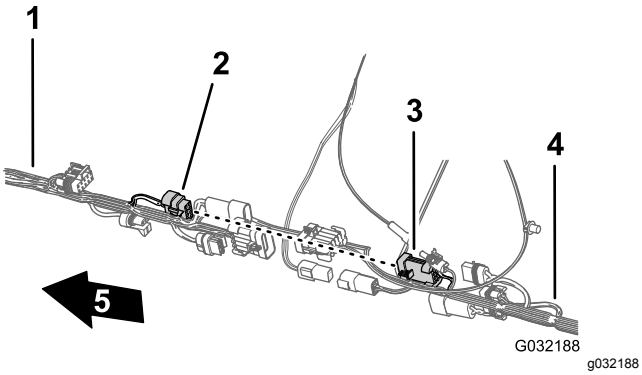


図 116

1. 前方ワイヤハーネス
2. 8ピンコネクタスプレーヤ用ワイヤハーネス前ハーネス
3. 8ソケットコネクタレートスイッチ後ハーネス
4. 後方ワイヤハーネス
5. 機体前方

4. 前方ハーネスのすすぎポンプ用2ピンコネクタを、後方ハーネスのすすぎポンプ用2ソケットコネクタに接続する図 117。

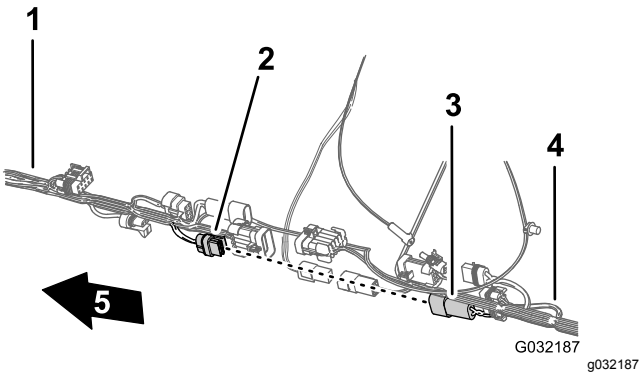


図 117

1. 前方ワイヤハーネススス
2. 2ソケットコネクタすすぎポンプ後ハーネス
3. 2ピンコネクタすすぎポンプ前ハーネス
4. 後方ワイヤハーネス
5. 機体前方

5. 前方ハーネスのホースリール電源用2ピンコネクタを、後方ハーネスのホースリール電源用用2ソケットコネクタに接続する図 118。

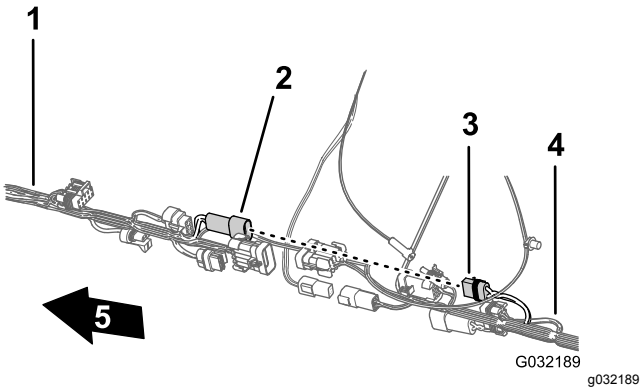


図 118

1. 前方ワイヤハーネス
2. 2ピンコネクタホースリール前ハーネス
3. 2ソケットコネクタホースリール後ハーネス
4. 後方ワイヤハーネス
5. 機体前方

6. 前方ハーネスのスプレーヤ用ハーネスインターコネクトの10ピンコネクタを、後方ハーネスのスプレーヤ用ハーネスインターコネクトの10ソケットコネクタに接続する図 119。

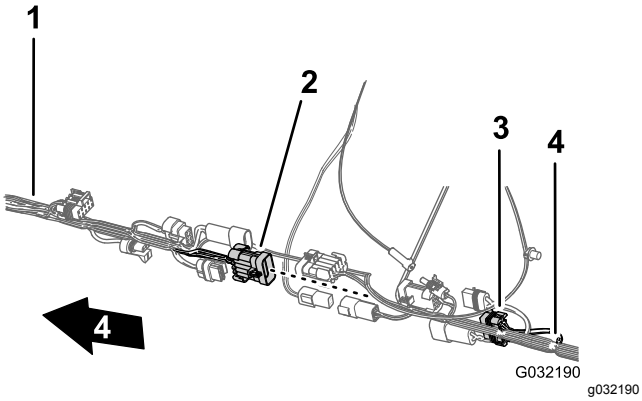


図 119

1. 前方ワイヤハーネススス
2. 10ピンコネクタスプレーヤ用ワイヤハーネス前ハーネス
3. 10ソケットコネクタスプレーヤ用ワイヤハーネス後ハーネス
4. 後方ワイヤハーネス
5. 機体前方

7. ナビゲーション用とデータ用ハーネスの接続を容易にするために、後方ワイヤハーネスの1ソケットコネクタと、後方ワイヤハーネスの4ソケットコネクタをハーネスの先端部にそろえておく図 120。

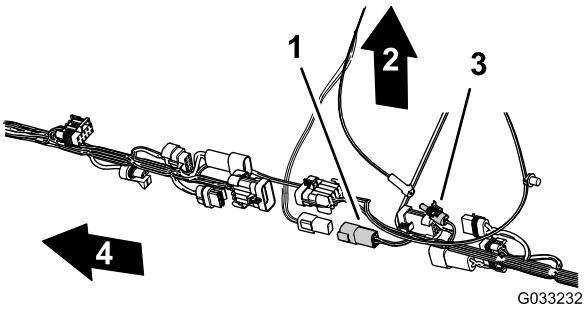


図 120

1. 4ソケットコネクタ後方ワイヤハーネス
2. マシンの上方
3. 1ソケットコネクタ後方ワイヤハーネス
4. 機体正面

ダッシュボードの水圧計用の水圧検知チューブを後方ワイヤハーネスに沿って配設する

1. ダッシュボードの水圧計用の水圧検知チューブを、車体の後方ワイヤハーネスに沿って配設する図 121。

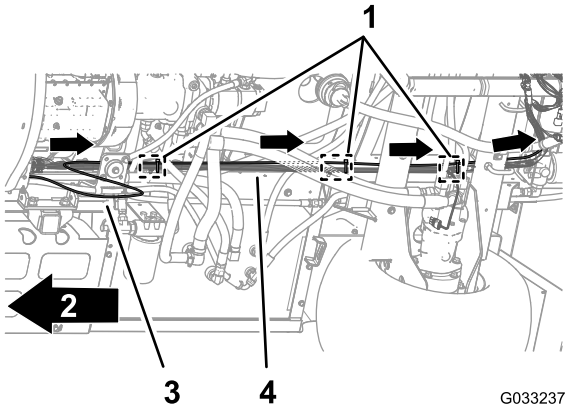


図 121

1. ケーブルタイ (モミの木形のアンカーシャーシのアンカーポイント)
2. 機体正面
3. 水圧検知チューブ
4. 後方ワイヤハーネス

2. 水圧検知チューブを後方ワイヤハーネスに固定するケーブルタイ3本を使い、後方ワイヤハーネスのシャーシ上のアンカーポイントの近くに固定する図 121。

重要 **水圧検知チューブを縛ってつぶさないように注意してください。ケーブルタイはチューブを固定できる程度の力で締め付けてください。**

23

エンジン制御モジュールと取り付けブラケットを取り付けるガソリンエンジン搭載車のみ

必要なパーツはありません。

手順

1. エンジン制御モジュール用取り付けブラケットの穴を、エンジンのサポートブラケットの穴とエンジンのアクセサリケースの穴に合わせる図 122。

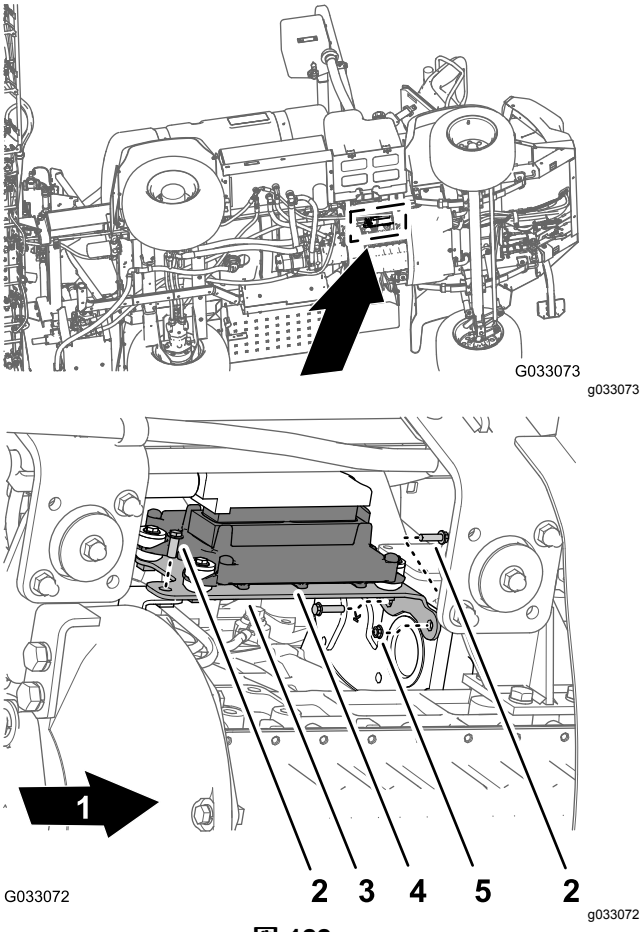


図 122

1. 機体正面
2. フランジヘッドボルト
3. 取り付けブラケット
4. エンジン制御モジュール
5. フランジナット

2. 取り付けブラケットをエンジンに組み付けるステップ１８ エンジン制御モジュールと取り付けブラケットを外すガソリンエンジン搭載車のみ (ページ 14)で外したフランジヘッドボルト3本とフランジナット1個を使用する。

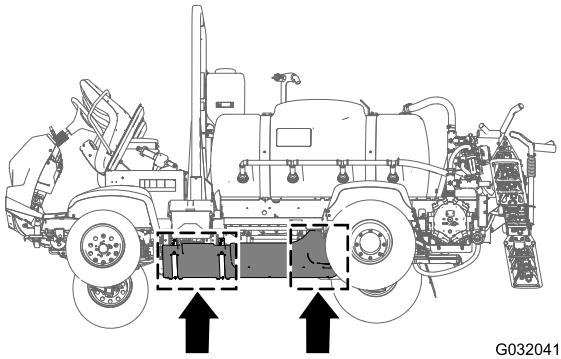
24

キャリッジ下シュラウドを取り付ける

必要なパーツはありません。

手順

1. キャリッジ下シュラウドを車体の下シャーシに合わせる図 123。



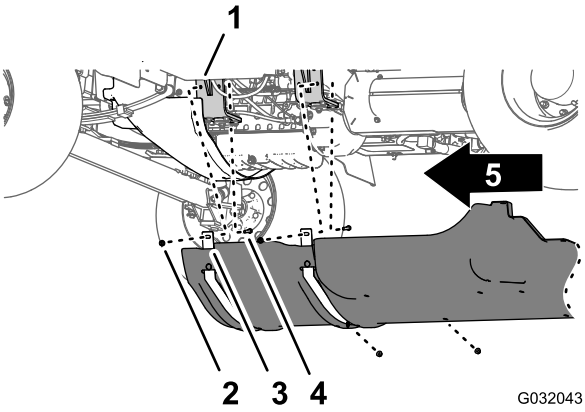


図 123

1. キャリッジ下シュラウド
2. フランジヘッドボルト5/16 x 7/8 インチ
3. ワッシャ5/16 インチ
4. フランジロックナット5/16 インチ
5. 機体前方

2. エンジン搭載ブラケットのところで、ボルトとキャリッジボルトの上からキャリッジ下シュラウドのサポートストラップを入れる図 123。
3. キャリッジ下シュラウドを、エンジン搭載ブラケットとボルトに組み付ける図 123ステップ27 キャリッジ下シュラウドを取り外す (ページ 13)で外したフランジロックナット (5/16 インチ) 4個を使用する。
4. キャリッジ下シュラウドの後部にある穴を、シャーシの穴に合わせる図 124。

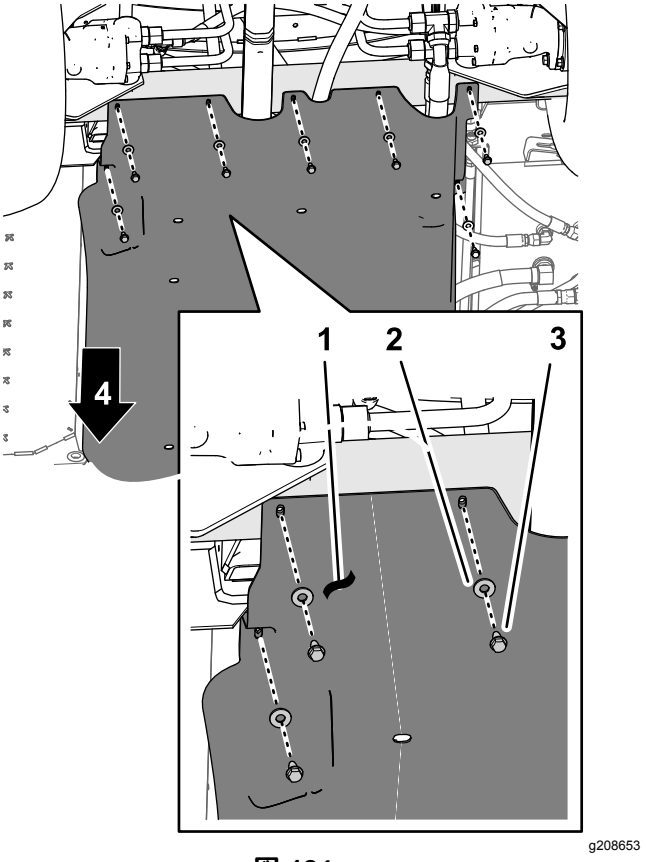


図 124

1. キャリッジ下シュラウド
2. ワッシャ5/16 インチ
3. フランジヘッドボルト5/16 x 7/8 インチ
4. 車体前方

5. キャリッジ下シュラウドの後部をシャーシにに取り付けるステップ 17 キャリッジ下シュラウドを取り外す (ページ 13)で取り外したフランジヘッドボルト5/16 x 7/8 インチ7本とワッシャ5/16 インチ7枚を使用する図 124。
6. ボルトとナットを1129 1582N·cm 2.0 2.6kg.m = 100 140in-lbにトルク締めする。

25

後方ワイヤハーネスを接続する

必要なパーツはありません。

ワイヤハーネスをマニホルドマウントへ敷設する

1. 図 125に示すように、ワイヤハーネスの 203cm の枝線を、バルブマウントのサポートストラットよりも車体内側を通し、車体後方のバルブマウント10バルブ用まで導く。

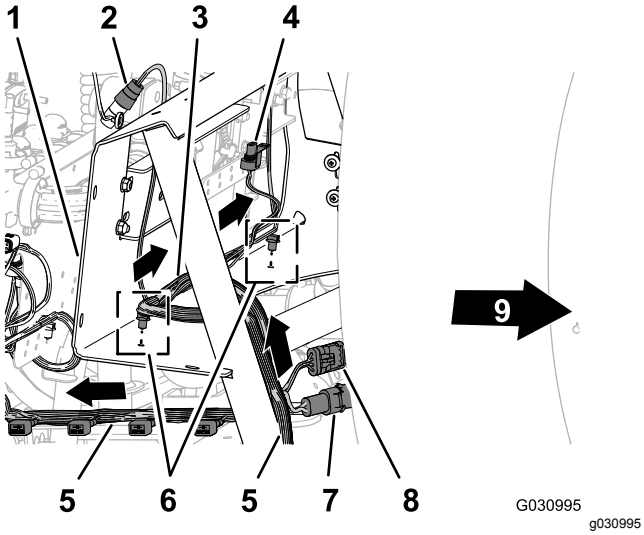


図 125

1. マニホルドマウント
2. 3ソケットコネクタフローメータ
3. 81cm のハーネス枝線—フローメータと攪拌バルブ
4. コネクタ攪拌バルブ
5. 203cm のハーネス枝線—ASC10, 昇降シリンダのソレノイド, ノズルバルブ 1 10
6. モミの木形のアンカー
7. 2ピンコネクタホースリールの電源
8. 3ソケットコネクタホースリール
9. 機体前方

2. フローメータと攪拌バルブ用のワイヤハーネスの 81cm の枝線を、マニホルドマウントの正面を横断するように配設する図 125。
3. 81cm の枝線のモミの木形のアンカーを、マニホルドマウントの下側フランジに差し込む図 125。

ワイヤハーネスを10バルブマウントへ敷設する

1. 203 cm の枝線を、10バルブマウントの裏面を横断するように配設するノズルバルブ用の10個のコネクタが後方へ向き、バルブの下に来るようにすること図 126。

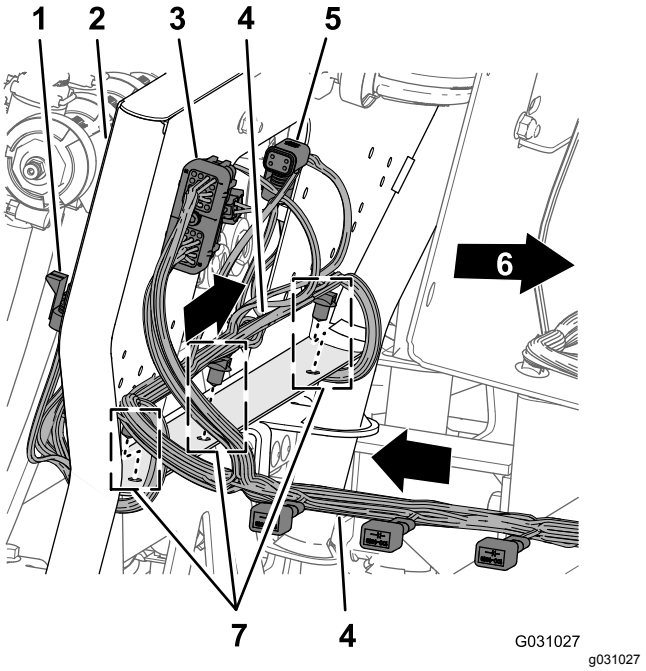


図 126

1. 3ソケットコネクタノズルバルブの10番位置
2. バルブ10本用マウント
3. 40ソケットコネクタASC 10
4. 203cm のハーネス枝線—ASC10, 昇降シリンダのソレノイド, ノズルバルブ 1 10
5. 4ソケットコネクタASC 10へ
6. 機体前方
7. モミの木形のアンカー

2. 203cm の枝線のモミの木形のアンカーを、10バルブマウントの下側フランジの穴に差し込む図 126。

スプレーヤポンプ用のワイヤハーネスを敷設する

1. スプレーポンプのソレノイド用の 86cm の枝線を、機体のフレームチャネル部材の上を横断させ、そこから下がってポンプソレノイドへ配設する図 127。

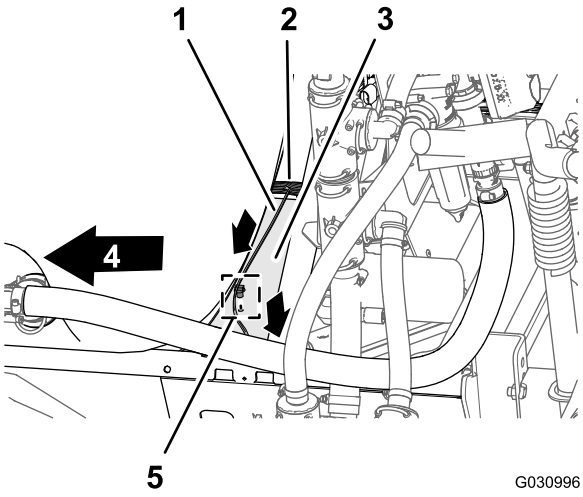


図 127

1. 86cm のハーネス枝線—スプレーポンプのソレノイド
2. 203cm のハーネス枝線—ASC10, 昇降シリンダのソレノイド, ノズルバルブ 1 10
3. チャネル部材スプレーヤのフレーム
4. 機体前方
5. モミの木形のアンカー

2. 86cm の枝線のモミの木形のアンカーを、機体フレームのチャネル部材の穴に差し込む図 127。

ワイヤハーネスをマニホルドマウントの各機器に接続する

1. 203cm の枝線の、**Flow Meter** というラベルと**Pressure Transducer**というラベルの付いたコネクタを、マニホルドマウントの後方へ導く図 128。

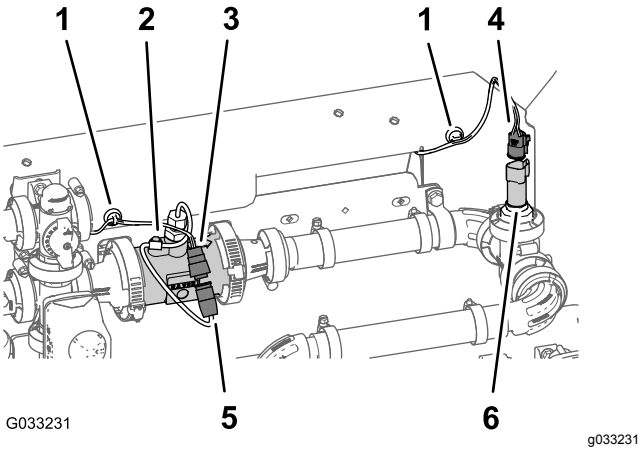


図 128

1. 磁石式のハーネスアンカー
2. フローメータ
3. 3ソケットコネクタ後方ワイヤハーネスラベルは Flow Meter
4. 3ソケットコネクタ後方ワイヤハーネスラベルは Pressure Transducer
5. 3ピンコネクタFlow Meter
6. 3ピンコネクタPressure Transducer

2. 203cm の枝線のフローメータ用の3ソケットコネクタラベルなしを、フローメータ用ハーネスの3ピンコネクタに接続する図 128。
3. 203cm の枝線のフローメータ用の**Pressure Transducer** ラベル付きの3ソケットコネクタを、水圧トランスデューサテライトの3ピンコネクタに接続する図 128。
4. フローメータと水圧トランスデューサ用のワイヤハーネスの磁石式アンカーを、マニホルドマウントの表面に取り付ける図 128。
5. 攪拌バルブ用ハーネスのの3ピンコネクタを、マニホルドマウントの前方に配設する図 129。

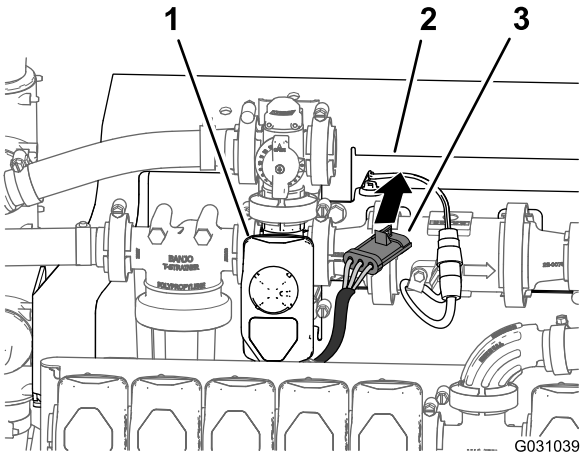


図 129

1. 攪拌バルブ
2. マニホルドマウント
3. 3ソケットコネクタ攪拌バルブのハーネス

6. 攪拌バルブ用ハーネスの3ピンコネクタを、203cmの枝線の**Agitation Valve**というラベルの付いた3ソケットコネクタに接続する図 130。

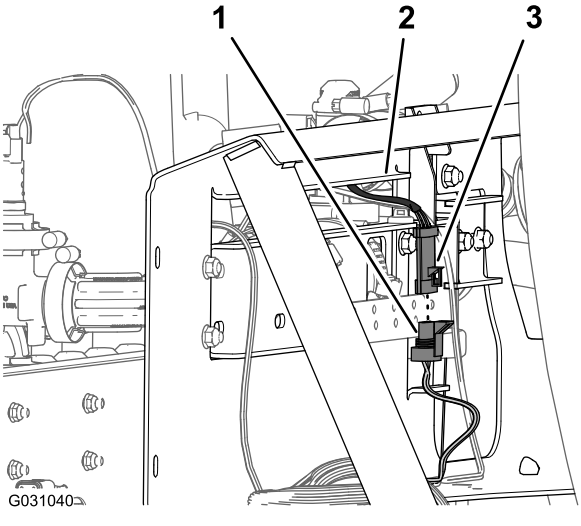


図 130

1. 3ピンコネクタ後方ワイヤハーネスラベルは Agitation Valve
2. マニホルドマウント
3. 3ソケットコネクタ攪拌バルブのハーネス

ワイヤハーネスを昇降シリンダのマニホルドの各ソレノイドに接続する

1. 昇降シリンダ用マニホルドの下部で、後方ワイヤハーネスの**Enable Solenoid**というラベルのついた2ソケットコネクタを、「イネーブル」ソレノイドの2ピンコネクタに接続する図 131と図 132。

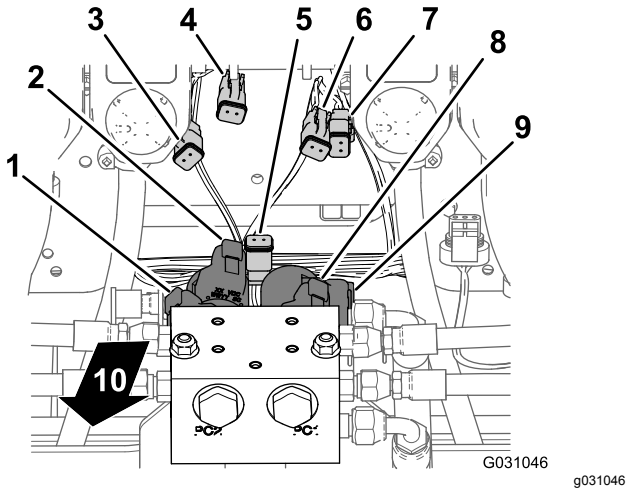


図 131

1. 2ピンコネクタ左降下ソレノイド昇降シリンダマニホルド
2. 2ピンコネクタ左上昇ソレノイド昇降シリンダマニホルド
3. 2ソケットコネクタ左降下メインハーネスのコネクタ
4. 2ソケットコネクタ左上昇メインハーネスのコネクタ
5. 2ソケットコネクタ「イネーブル」ソレノイド (メインハーネスのコネクタ)
6. 2ソケットコネクタ右上昇メインハーネスのコネクタ
7. 2ソケットコネクタ右上昇メインハーネスのコネクタ
8. 2ピンコネクタ右上昇ソレノイド昇降シリンダマニホルド
9. 2ピンコネクタ右降下ソレノイド昇降シリンダマニホルド
10. 機体後方

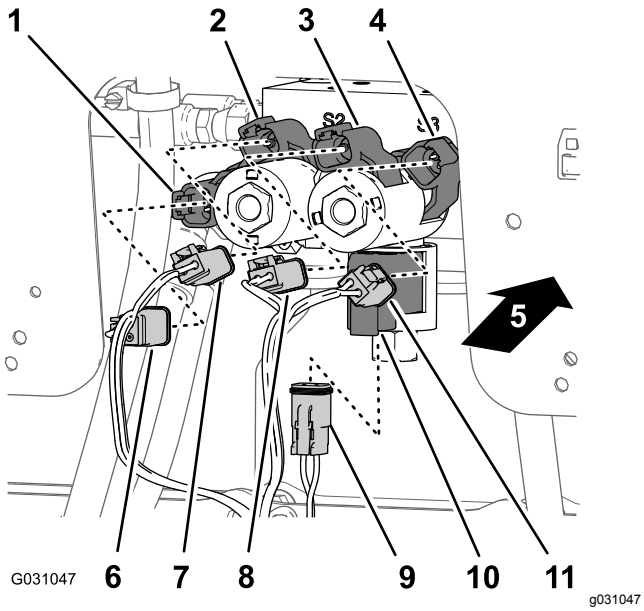


図 132

1. 2ピンコネクタ右降下ソレノイド昇降シリンダマニホルド
2. 2ピンコネクタ右上昇ソレノイド昇降シリンダマニホルド
3. 2ピンコネクタ左上昇ソレノイド昇降シリンダマニホルド
4. 2ピンコネクタ左降下ソレノイド昇降シリンダマニホルド
5. 機体後方
6. 2ソケットコネクタ右降下メインハーネスのコネクタ
7. 2ソケットコネクタ右上昇メインハーネスのコネクタ
8. 2ソケットコネクタ左上昇メインハーネスのコネクタ
9. 2ソケットコネクタ「イネーブル」ソレノイドメインハーネスのコネクタ
10. 2ピンコネクタ「イネーブル」ソレノイド昇降シリンダマニホルド
11. 2ソケットコネクタ左降下メインハーネスのコネクタ

2. 右下のソレノイドで、後方ワイヤハーネスの**Right Down**というラベルのついた2ソケットコネクタを、右下ソレノイドの2ピンコネクタに接続する図 131 と図 132 。
3. 右上のソレノイドで、後方ワイヤハーネスの**Right Up**というラベルのついた2ソケットコネクタを、右上ソレノイドの2ピンコネクタに接続する図 131 と図 132 。
4. 左下のソレノイドで、後方ワイヤハーネスの**Left Down**というラベルのついた2ソケットコネクタを、左下ソレノイドの2ピンコネクタに接続する図 131 と図 132 。
5. 左上のソレノイドで、後方ワイヤハーネスの**Left Up**というラベルのついた2ソケットコネクタを、左上ソレノイドの2ピンコネクタに接続する。

ワイヤハーネスをスプレーバルブに接続する

1. 203cm の枝線の、**Nozzle Valve 1 Nozzle Valve 5**というラベルの付いた3ソケットコネクタを、10バルブマウントの後方からノズルバルブ15の下へ導く図 133 。

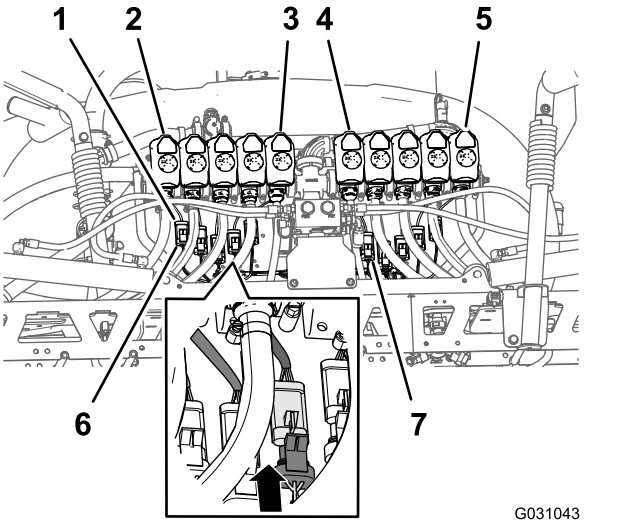


図 133

1. 3ピンコネクタノズルバルブのハーネス
2. ノズルバルブ 1番
3. ノズルバルブ 5番
4. ノズルバルブ 6番
5. ノズルバルブ 10番
6. 3ピンソケットコネクタ後方ワイヤハーネスラベルは Nozzle 1
7. 3ピンソケットコネクタ後方ワイヤハーネスラベルは Nozzle 6

2. 203cm の枝線の、**Nozzle Valve 6 Nozzle Valve 10**というラベルの付いた3ソケットコネクタを、10バルブマウントの後方からノズルバルブ610の下へ導く図 133 。
3. 後方ワイヤハーネスの **Nozzle 1**というラベルのついている3ピンソケットコネクタを、ノズルバルブ1番用の3ピンコネクタに接続する図 133 。

   重要 **後方ワイヤハーネスのそれぞれの3ピンソケットコネクタについているラベルのバルブ番号と、実際に接続されるノズルバルブの番号を必ず一致させてください。**
4. ノズルバルブ2番10番についても、ステップ 3 を行う図 133 。

ワイヤハーネスをスプレーヤポンプと速度センサーに接続する

1. 機体後部、スプレーヤポンプの車体中心線側で、86cm の枝線にある**Spray Pump Solenoid**というラベルのついた2ソケットコネクタを、ポンプのリレーの2ピンコネクタに接続する図 134。

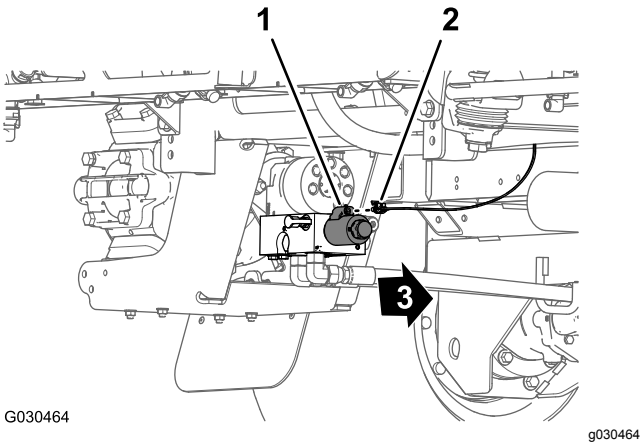


図 134

1. 2ピンコネクタポンプ用リレー
2. 2ソケットコネクタワイヤハーネスの 86cm 枝線
3. 機体前方

2. 機体後部右側フレームチューブと右側フェンダとの間で、速度センサーハーネス右側油圧走行モータにあるの3ピンコネクタを、後方メインハーネスの3ソケットコネクタラベルなしに接続する図 135。

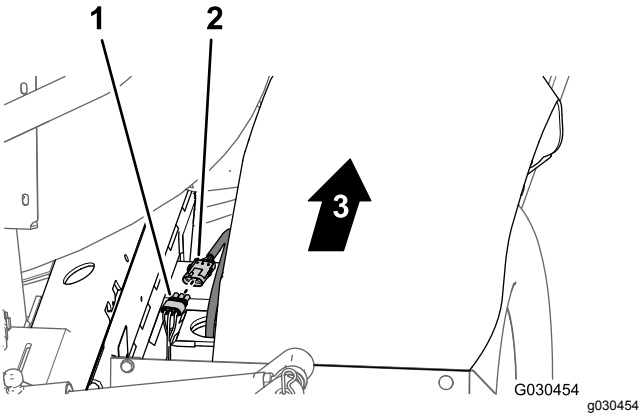


図 135

1. 3ソケットコネクタ後メインハーネス
2. 3ピンコネクタ油圧モータのハーネス
3. 機体前方

ワイヤハーネスをエンジンルームを通して敷設する

1. ワイヤハーネスの 165cm の枝を、エンジンルームの上から内部へ入れ、エンジンシュラウドの右側サポートに沿って前方へ進め、エアフィルタとエンジンをつないでいるダクトまで導く図 136。

   注 この 165cm の枝線の最終的な固定は ナビゲーション用電装ハーネスをバッテリーへ導く (ページ 68)で行います。

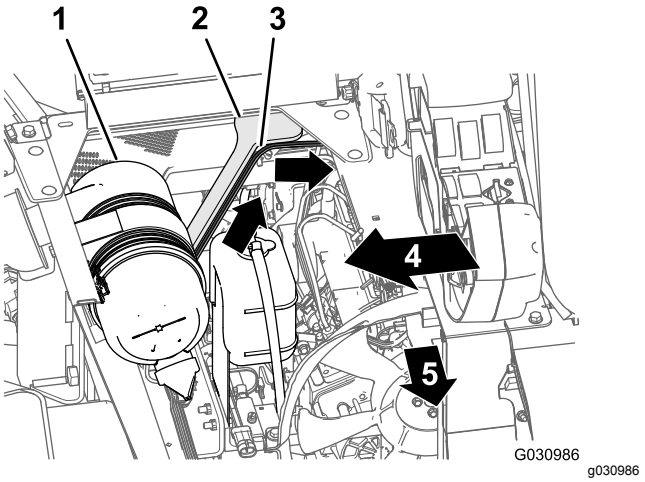


図 136

1. エアフィルタ エンジン
2. エンジンシュラウドのサポート右側
3. 165cm の枝線後方ワイヤハーネス
4. 機体右側
5. 機体前方

2. ワイヤハーネスの 165cm の枝線を、シートボックスのアングル部材を横断して下へ、エンジンシュラウドの左側サポートに沿って導く図 137。

   注 この 165cm の枝線の最終的な固定は ナビゲーション用電装ハーネスをバッテリーへ導く (ページ 68)で行います。

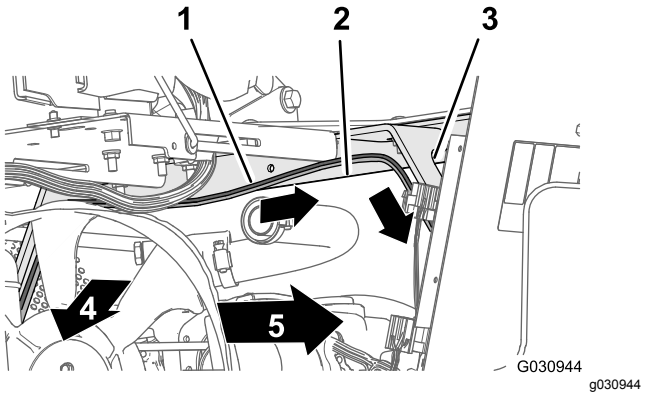


図 137

1. 165cm の枝線後方ワイヤハーネス
2. シートボックスのアングル部材
3. エンジンシュラウドのサポート左側
4. 機体前方
5. 機体の左側

---

3. ワイヤハーネスの 165cm の枝線を、エンジンシュラウドの左側サポートに沿って下へ進め、左側フレームチューブの下まで導く図 138。

   注 この 165cm の枝線の最終的な固定は ナビゲーション用電装ハーネスをバッテリーへ導く (ページ 68)で行います。

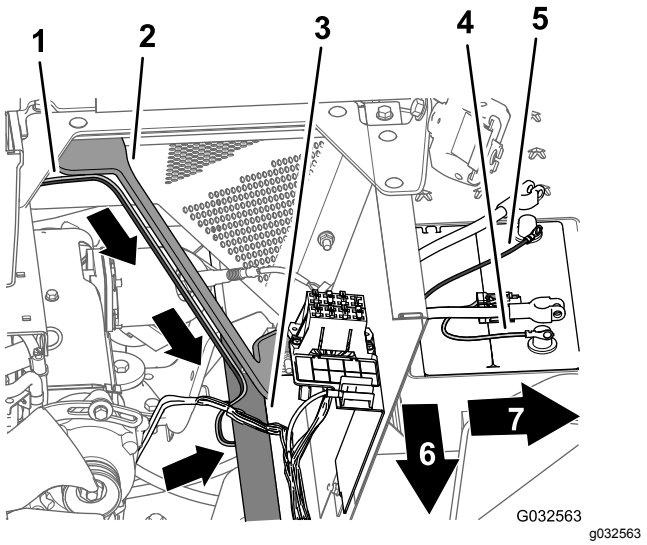


図 138

1. 165cm の枝線後方ワイヤハーネス
2. エンジンシュラウドのサポート左側
3. 左側フレームチューブ
4. プラス端子赤ワイヤ165cm の枝線後方ワイヤハーネス
5. マイナス端子黒ワイヤ165cm の枝線後方ワイヤハーネス
6. 機体前方
7. 機体の左側

---

4. ワイヤハーネスの 165cm の枝線についている 50 A ヒューズ、プラス端子、マイナス端子を、バッテリー上部まで導く図 138。

注 リング端子の最終的な接続は 後方ハーネスとナビゲーション用電装ハーネスをバッテリーケーブルに接続する (ページ 71)で行います。

26

ダッシュボードの水圧計用の水圧検知チューブを接続する

必要なパーツはありません。

ダッシュボードの水圧計用の水圧検知チューブを接続する

オプションのホースリールキットを搭載していない車両

1. ダッシュボードの水圧計用の水圧検知チューブ樹脂チューブの口を、チューブカップラのロッキングカラーに合わせる図 139。

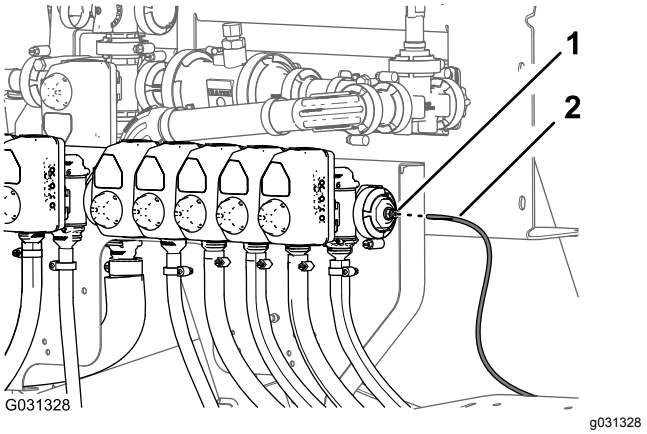


図 139

1. ロッキングカラーチューブカップラ
2. 水圧検知チューブダッシュボードの水圧計用

---

2. 検知チューブをロッキングカラーに挿入して一番奥まで押し込む図 139。

水圧検知チューブを取り付ける

オプションのスプレーガンキットまたはオプションの収納式ホースリールキット

1. ダッシュボードの水圧計用の水圧検知チューブ樹脂チューブの口を、チューブカップラのロッキングカラーに合わせる図 140と図 141。

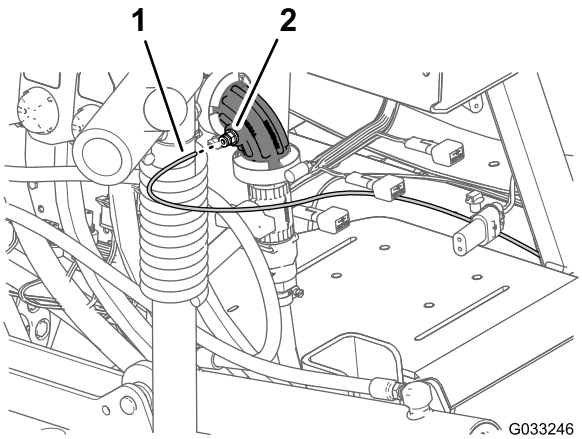


図 140
オプションのスプレーガンキット

1. 水圧検知チューブダッシュボードの水圧計用
2. チューブカップラ90° エルボノズルバルブ 10

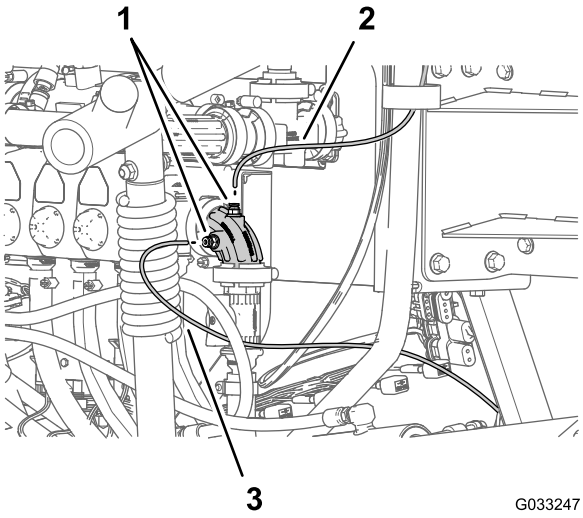


図 141
収納式ホースリールキットオプション

1. 水圧検知チューブ収納式リールの水圧計用
2. チューブカップラ90° エルボノズルバルブ 10
3. 水圧検知チューブダッシュボードの水圧計用

2. 検知チューブをロッキングカラーに挿入して一番奥まで押し込む図 140と図 141。

27

ナビゲーション受信機を取り付ける

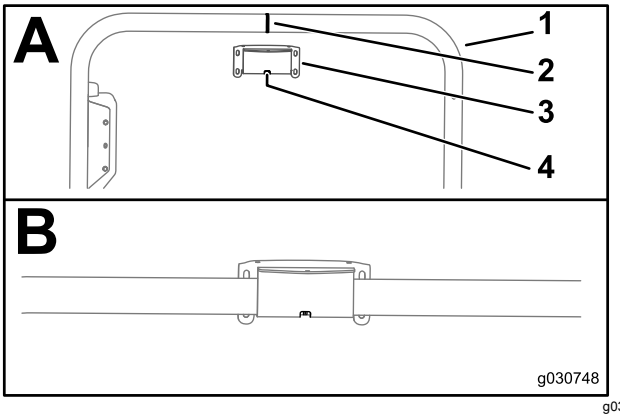
この作業に必要なパーツ

1	ナビゲーション受信機ジオリンク高精度散布システムキットモデル 41623
1	受信機用マウント
2	ボルト
1	RTK アンテナ用ブラケットIMUオプションの CDMA RTK 修正モデムキットまたは GSM RTK 修正モデムキット
4	フランジロックナット3/8 インチ
3	六角ヘッドボルト5 x 16mm
3	ワッシャ5mm
1	携帯電話アンテナオプションの CDMA RTK 修正モデムキットまたは GSM RTK 修正モデムキット
1	同軸ケーブルオプションの CDMA RTK 修正モデムキットまたは GSM RTK 修正モデムキット
1	シリアル番号ラベルX25 および X30 GeoLink® 高精度散布システム仕上げキット付属品)

ナビゲーション受信機を車体に組み付ける

1. 受信機用マウントの中央部にあるスロットを、ROPSのセンターライン溶接跡に合わせる図 142。

   注 穴が2つあいている大きいフランジを ROPS の後方に向け、穴が1つの小さいフランジを前方に向けてください。



g030748

図 142

1. ROPSチューブ
2. 溶接跡ROPS
3. 受信機用マウント
4. スロット

2. 以下の要領で、受信機用マウントをROPSに取り付ける
   - WAASwide area augmentation system付きGNSS を搭載している機体では、U ボルト2本とフランジロックナット4個3/8 inchを使用する図 143 。

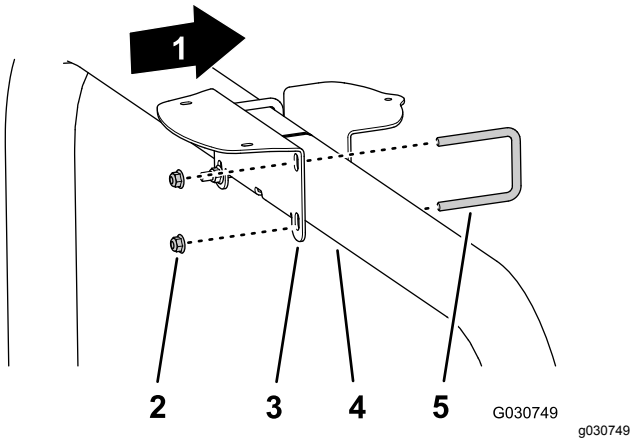


図 143

1. 機体前方
2. フランジロックナット3/8 インチ
3. 受信機用マウント
4. ROPSチューブ
5. ボルト

   - GNSS と CDMA または GSM RTK 修正モデムキットを搭載している機体では、U ボルト2本とフランジロックナット4個3/8 inchを使用して、受信機用マウントと共に RTK 用のアンテナブラケットを取り付ける図 144。

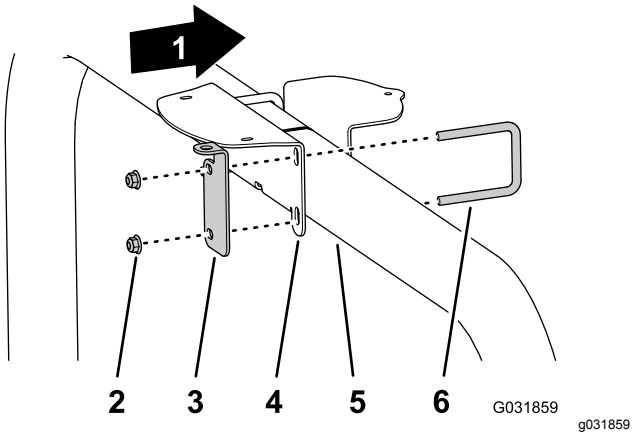


図 144

1. 機体前方
2. フランジロックナット3/8 インチ
3. RTK 用のアンテナブラケット
4. 受信機用マウント
5. ROPSチューブ
6. ボルト

---

3. ナットを3745N·m3.74.6kg.m=2733ft-lbにトルク締めする。
4. 受信機底部の3本のねじ部を、マウントの3つの穴に合わせる図 145。

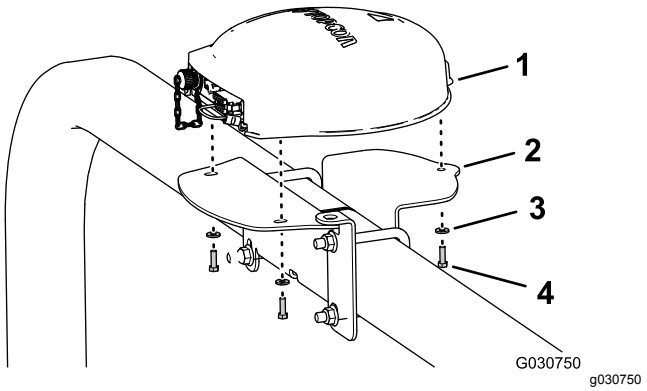


図 145

図は RTK アンテナ用ブラケットも表示。GNSS のみの場合もほぼ同様である。

1. ナビゲーション受信機
2. 受信機用マウント
3. ワッシャ5mm
4. 六角ヘッドボルト5 x 16mm

---

5. 受信機をマウント荷台に固定する図 145六角ヘッドボルト5 x 16mm3本と、ワッシャ5 x 16mm3枚を使用する。
6. ボルト3本を 576712N·cm 0.60.7kg.m = 5163in-lbにトルク締めする。
7. 受信機のマウントにシリアル番号ラベルを貼り付ける図 146。

   注 ラベルは、X25 および X30 GeoLink® 高精度散布システム仕上げキット付属品です。

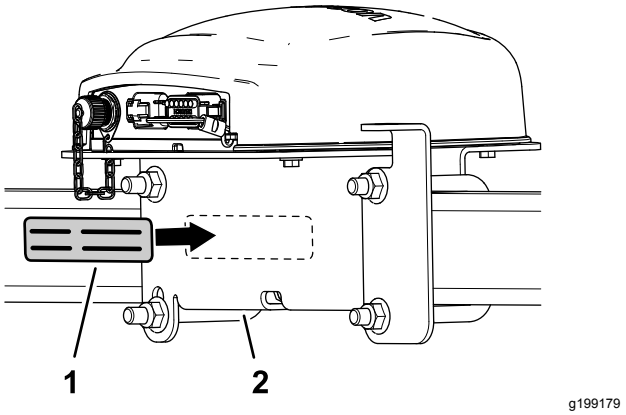


図 146

1. シリアル番号ラベル
2. 受信機用マウント

ナビゲーション受信機に RTK アンテナを取り付ける

注 CDMA RTK または GSM RTK 修正モデムを搭載している車両では、RTKを取り付けます。

1. 同軸カップラのねじ部分を下に向けて RTK アンテナ用ブラケットの開口部に通す図 147。

   注 同軸ケーブルコネクタのねじの平たい部分をブラケットの開口部の平たい部分に合わせて入れてください。

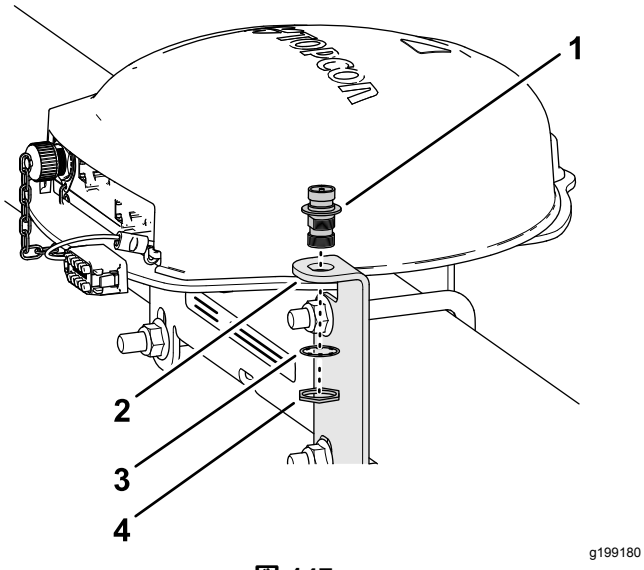


図 147

1. 同軸カップラ
2. RTK 用のアンテナブラケット
3. ロックワッシャ
4. ジャムナット

2. ロックワッシャとジャムナットで同軸カップラをアンテナブラケットに組み付け、ジャムナットを手締めする図 147。
3. 同軸カップラの上側フィッティングに RTK アンテナを組み付け、アンテナに付いているナットを手締めする図 148。

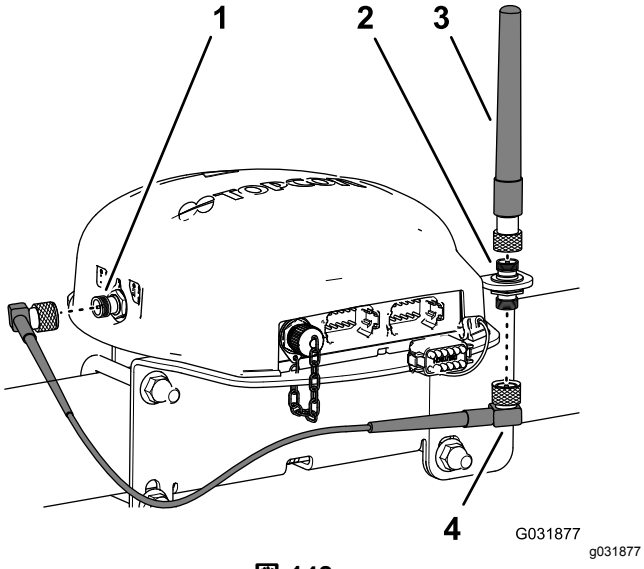


図 148

1. 同軸コネクタCDMA または GSM 携帯電話用モデム
2. 同軸カップラ
3. RTK アンテナ
4. アンテナケーブル

4. 同軸カップラの下側フィッティングにアンテナ線を仮留めする図 148。
5. ケーブルを、ナビゲーション受信機の後ろを通して、CDMA または GSM 携帯電話用モデムの同軸コネクタまで導く図 148。
6. アンテナ線を、同軸コネクタCDMA または GSM 携帯電話用モデムに接続する図 148。
7. アンテナ線のナットを手締めする。

28

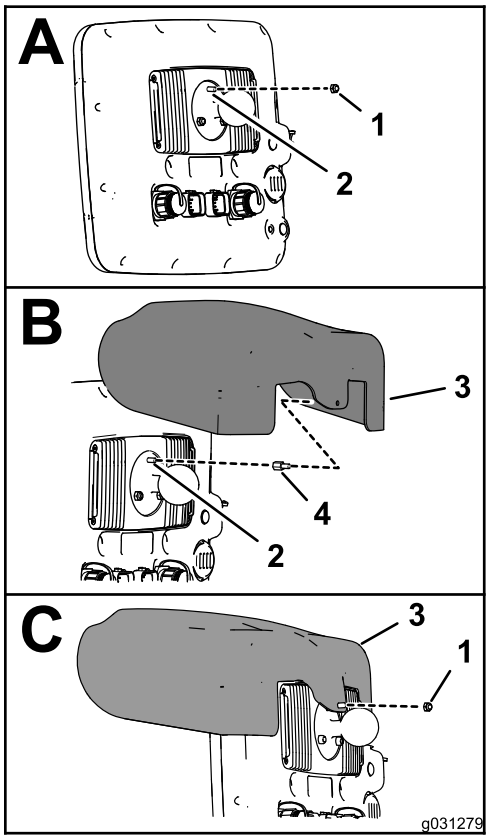
スプレーヤのモニタを取り付ける

この作業に必要なパーツ

1	散布モニタジオリンク高精度散布システムキットモデル 41623
1	ディスプレイ用フード
1	ボールマウントジオリンク高精度散布システムキットモデル 41623
1	モニタ用アームジオリンク高精度散布システムキットモデル 41623
1	補強プレート
4	フランジヘッドボルト (1/4 x 1-1/2 インチ)
4	フランジロックナット1/4 インチ

ディスプレイ用フードをスプレーヤのモニタに組み付ける

1. スプレーヤ用モニタの裏側で、2つのコネクタ26ピンを下側に向けた時に上側になる 5mm のロックナットボールピボットフィッティング用のスタッドについているを外す図 149。

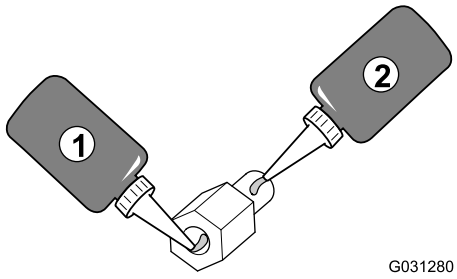


g031279

図 149

1. ロックナット5 mm
2. 5mm のスタッドスプレーヤ用モニタのボールピボットフィッティング用
3. ディスプレイ用フード
4. ねじ山付きスタンドオフ

2. ねじ山付きスタンドオフのナットのねじ溝部分にロッキングコンパウンド浸潤性ウィッキングタイプ、保持力は中強を塗る図 150。



g031280

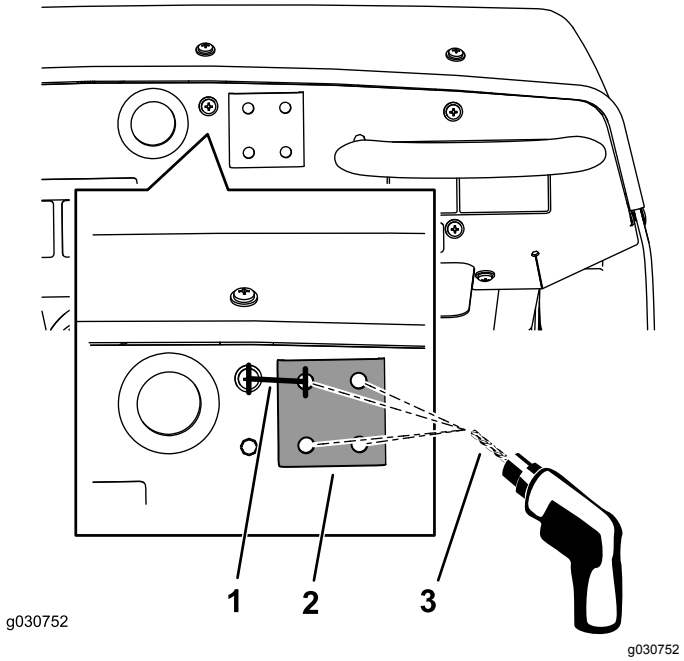
図 150

1. ナットのねじ溝にロッキングコンパウンド浸潤タイプ、保持力は中強
2. スタッドのねじ山にロッキングコンパウンド浸潤タイプ、保持力は中強

3. ボールピボットのフィッティングにスタンドオフを取り付け図 149、スタンドオフを 250N·cm0.25kg.m = 22in-lbにトルク締めする。
4. ねじ山付きスタンドオフのスタッドのねじ山部分にロッキングコンパウンド浸潤性ウィッキングタイプ、保持力は中強を塗る図 150。
5. ねじ山付きスタンドオフのスタッド部分に、フードの穴を合わせる図 149。
6. フードを固定する図 149ステップ 1で外したロックナット5mmを使用する。
7. ナットを250N·cm0.25kg.m = 22in-lbにトルク締めする。

ダッシュパネルに穴あけを行う

1. 機体のダッシュボード部の、ハトメ穴の右側にあるダッシュパネル固定ねじを探し出す図 151。



g030752

図 151

1. 33.3mm
2. スティフナプレート
3. 8mm のドリルビット

2. ねじの中心から右に 33.3mm の位置に、鉛筆で縦線を引く図 151。
3. ダッシュパネルの上端から下へ 21mm の位置に、鉛筆で横線を引く。
4. 縦線と横線の交点にポンチを打つ。
5. ポンチマークに、ドリルで直径 8mm の穴を開ける図 151。
6. スティフナプレートの平らな側を、ダッシュパネルに仮止めするフランジボルト5/16 x 3/4 インチを使用する。
7. ダッシュパネルの上側エッジにスティフナプレートを水平に合わせ、スティフナプレートを型紙にして、残り 3 つの穴を開ける図 151。
8. ダッシュパネルからスティフナプレートを外す。

ダッシュボードにスプレーヤのモニタを取り付ける

1. 図 152 のように、ダッシュボードにボールピボット用マウントを取り付けるボルト1/4 x 1-1/2 インチ4本、スティフナプレート、フランジナット1/4 インチを使用する。

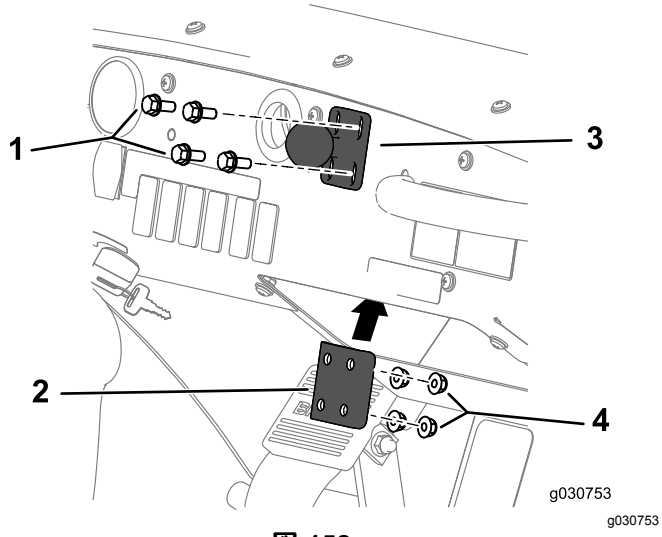


図 152

1. ボルト1/4 x 1-1/2 インチ
2. ボールピボット用マウント
3. スティフナプレート
4. フランジロックナット1/4 インチ

2. ボルトとナットを1017 1243N·cm2.0 2.6kg.m = 90 110in-lbにトルク締めする。
3. モニタアームのノブをゆるめて、モニタ裏側のフィッティング用のボールピボットとダッシュボード側のボールピボットの両方をモニタアームのソケットに入れる図 153。

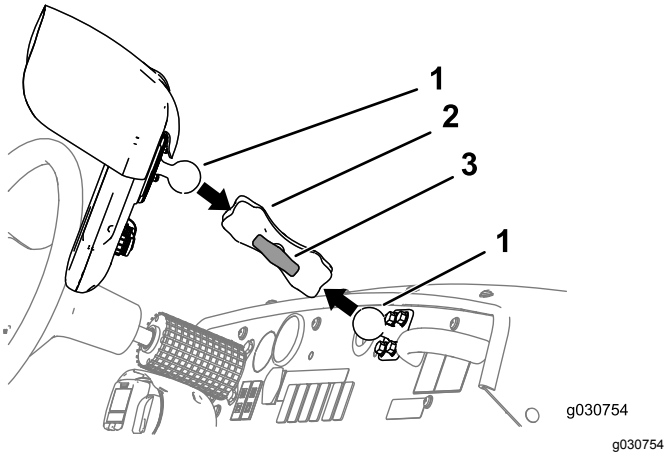


図 153

1. ボールピボット
2. モニタアーム
3. ノブ

4. 運転席左側座席に座り、モニタが見やすいようにモニタの位置と向きを調整する図 153。
5. モニタアームのノブを手で締めつける図 153。

29

ナビゲーション関係のワイヤハーネスを取り付ける

この作業に必要なパーツ

1	データ用ハーネスナビゲーションシステムジオリンク高精度散布システムキットモデル 41623
1	電装用ハーネスナビゲーションシステムジオリンク高精度散布システムキットモデル 41623
5	ケーブルタイ

ナビデータ用ハーネスと電装用ハーネスを相互に接続する

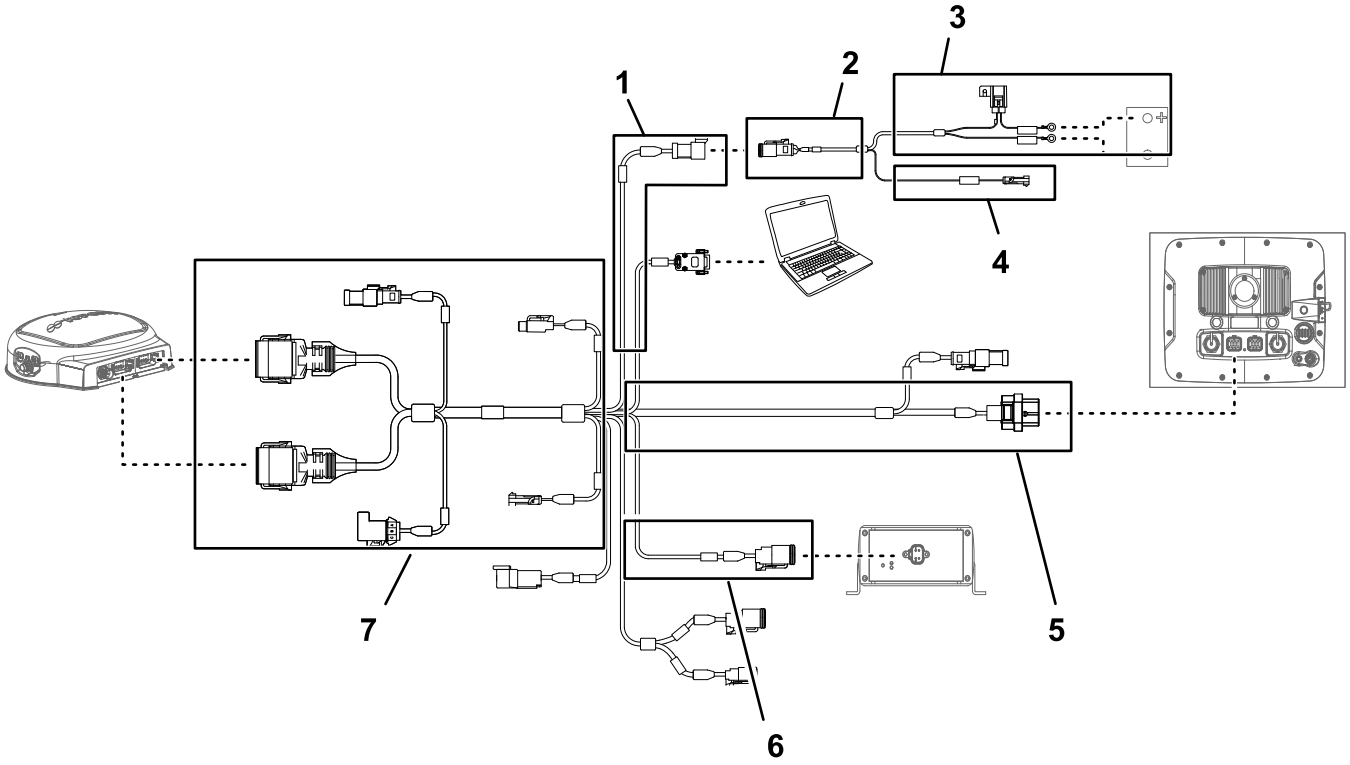


図 154

1. データ用ハーネスの 100cm の枝線電源
2. 100cm のバッテリーハーネス枝線
3. 220cm のバッテリーハーネス枝線
4. 100cm のバッテリーハーネス枝線スイッチ付き電源
5. データ用ハーネスの 390cm の枝線ナビゲーション受信機
6. データ用ハーネスの 13cm の枝線キットのハーネスのインタフェース用
7. データ用ハーネスの 220cm の枝線スプレーヤモニタ

重要 **データ用ハーネスには使用しないコネクタも含まれています。使用しないコネクタにはキャップやプラグを確実に嵌めておいてください。**

ナビ用電装ハーネスの3ソケットコネクタ電源インタフェースを、データ用ハーネスの3ピンコネクタ電源インタフェースに接続する図 154と図 155。

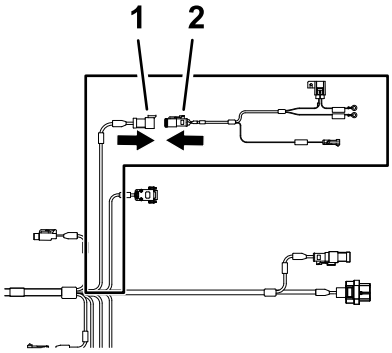


図 155

1. 3ピンコネクタデータ用ハーネスSYSTEM POWER SEPARATION
2. 3ソケットコネクタバッテリー用ハーネス電源インタフェース

データ用ケーブルをナビゲーション受信機に接続する

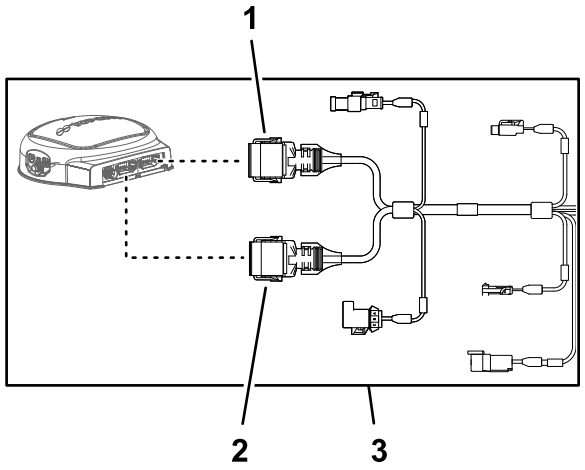


図 156

1. 12ソケットコネクタ 灰色 データ用ハーネス ナビゲーション受信機
2. 12ソケットコネクタ 黒色 データ用ハーネスナビゲーション受信機
3. データ用ハーネスの 390cm の枝線ナビゲーション受信機

1. データ用ハーネスの 390cm の枝線を、エンジンルームの右側から内部エンジン用のエアフィルタの隣へ入れ、エンジン後部シュラウドの右下エリアの下側に沿って後方へ進める図 157。

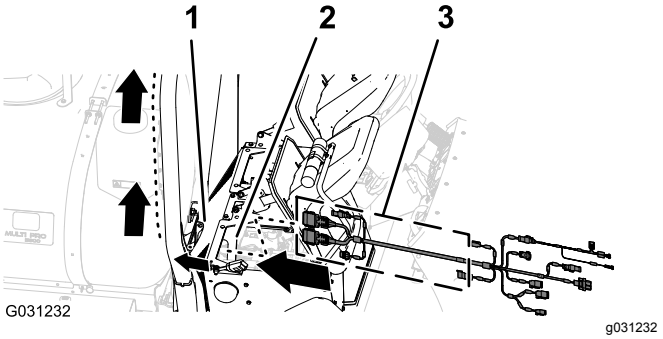


図 157

1. エンジン後方シュラウド
2. エンジンルーム
3. 390cm の枝線 データ用ハーネス

2. データ用ハーネスの 390cm の枝線を、ROPS 右側に沿って配設し、12 ソケットコネクタ 灰色 と 12 ソケットコネクタ 黒色 をナビゲーション受信機まで導く図 158。

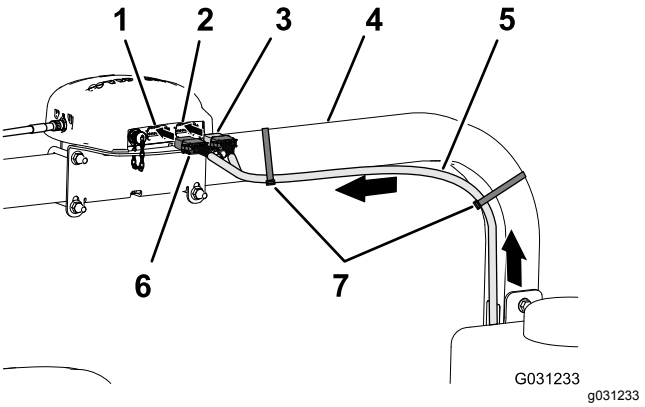


図 158

1. 12ピンコネクタ 左側灰色ナビゲーション受信機
2. 12ピンコネクタ 右側黒色ナビゲーション受信機
3. 12ソケットコネクタ 黒色 データ用ハーネス
4. 右側 ROPS チューブ
5. 390cm の枝線 データ用ハーネス
6. 12ソケットコネクタ 灰/黒 データ用ハーネス
7. ケーブルタイ

3. 灰色と黒色の 12 ソケットコネクタの長い方の側にある2本のキーを、ナビゲーション受信機の左側 灰色 12 ピンコネクタの底部の水平面にある2本のスロットに合わせて接続する図 159。

   注 ワイヤハーネスのコネクタに付いている整列キーは、特殊な形状をしており、ナビゲーション受信機のピンコネクタ以外には形状が一致しませんから、注意してください。

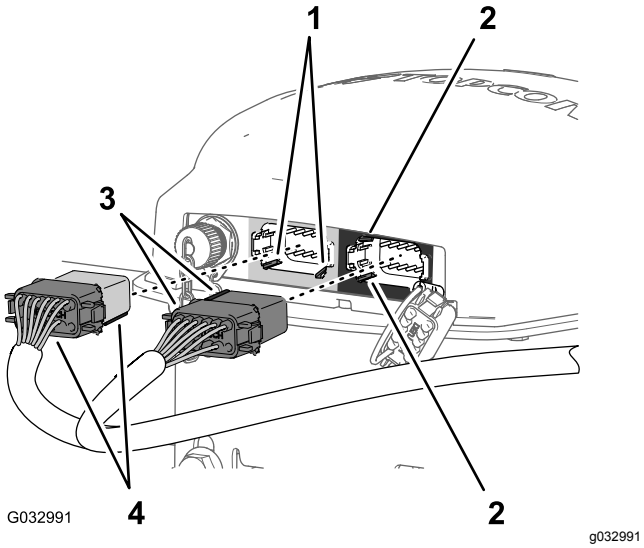


図 159

1. キースロット底部水平壁左灰色 12 ピンコネクター ナビゲーション受信機
2. キースロット左側垂直壁右黒色 12 ピンコネクター ナビゲーション受信機
3. 整列キー短い側黒12 ソケットコネクター データ用ハーネス
4. 整列キー長い側灰/黒の12 ソケットコネクター データ用ハーネス

4. データ用ハーネスの灰色と黒色の12 ソケットコネクタを、ナビゲーション受信機の左側灰色12 ピンコネクタに接続する。カチッと音がしてロックするまで押し込むこと図 159。
5. データ用ハーネスの黒色の 12 ソケットコネクタの短い方の側にある2本の整列キーを、ナビゲーション受信機の右側黒色 12 ピンコネクタにある2本のスロットに合わせて接続する図 159。

   注 ワイヤハーネスのコネクタに付いている整列キーは、特殊な形状をしており、ナビゲーション受信機のピンコネクタ以外には形状が一致しませんから、注意してください。
6. データ用ハーネスの灰色と黒色の12 ソケットコネクタを、ナビゲーション受信機の左側灰色12ピンコネクタに接続する。カチッと音がしてロックするまで確実に押し込むこと図 159。
7. 図 158 のように、ケーブルタイ2本を使って、データ用ハーネスの 390cm 枝線を右側 ROPS チューブに固定する。

   注 12 ソケットとケーブルタイとの間のケーブルに少したるみを持たせてください。

ナビゲーション電装用およびデータ用のハーネスを車両本体の後方ワイヤハーネスに接続する

1. 電装ハーネスの 100cm の枝線図 160についている1ピンコネクタを、車両本体の前方ハーネスと後方ハーネスが相互接続しているところへ導く図 120 前ハーネスと後ろハーネスを相互に接続する (ページ 50)を参照

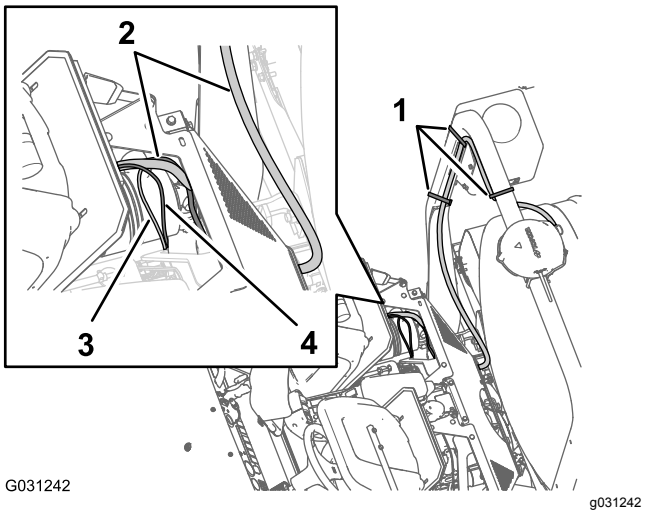


図 160

1. ケーブルタイ
2. 390cm の枝線データ用ハーネス
3. 100cm の電装ハーネス枝線
4. 100cm の枝線データ用ハーネス

2. データ用ハーネスの 100cm の枝線図 160についている4ピンコネクタCAN 2 / スプレーヤコントローラ用を、車両本体の前方ハーネスと後方ハーネスが相互接続しているところへ導く図 120 前ハーネスと後ろハーネスを相互に接続する (ページ 50)を参照。
3. 4ピンコネクタCAN 2 / スプレーヤコントローラ用を、後方ハーネスの4ピンコネクタCAN 2 / スプレーヤコントローラ回路用4ソケットコネクタに接続する図 161。

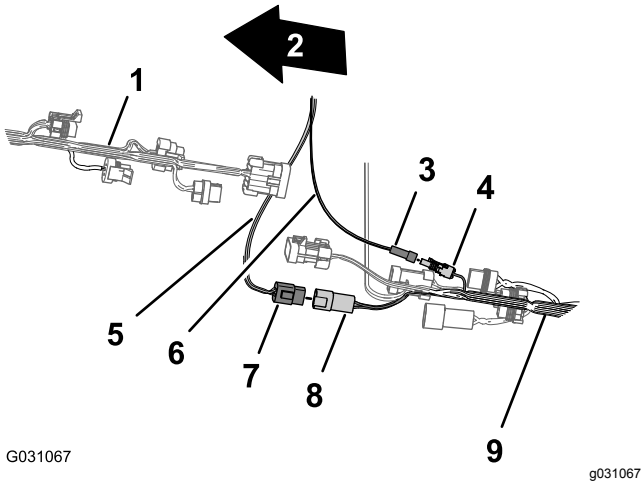


図 161

1. 機体前方
2. 車両の前方ワイヤハーネス
3. 1ピンコネクタ電装用ハーネスの枝線スイッチ付き電源
4. 1ソケットコネクタ後方ワイヤハーネススイッチ付き電源
5. データ用ハーネスCAN 2 / スプレーヤコントローラ
6. 電装ハーネススイッチ付き電源
7. 4ピンコネクタデータ用ハーネスCAN 2 / スプレーヤコントローラ
8. 4ソケットコネクタ後方ハーネスCAN 2 / スプレーヤコントローラ
9. 車両の後方ワイヤハーネス

4. 電装用うハーネスの1ピンコネクタを、後方ハーネスの1ソケットコネクタに接続する図 161。

ナビゲーション用電装ハーネスをバッテリーへ導く

1. ナビゲーションシステム用の電装ハーネスの220cm の枝線を、シートボックスのアングル部材を横断して下へ、エンジンシュラウドの左側サポートに沿って導く図 162。

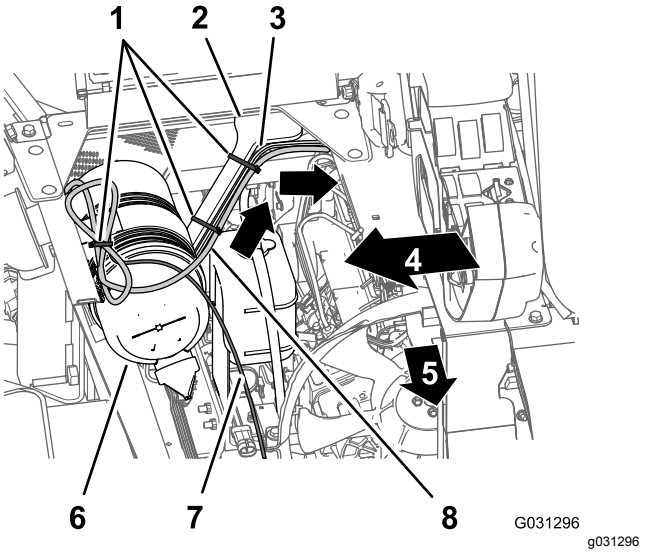


図 162

1. ケーブルタイ
2. エンジンシュラウドのサポート
3. 165cm の枝線後方ワイヤハーネス
4. 機体右側
5. 機体前方
6. エアフィルタ エンジン
7. 220cm の枝線データ用ハーネス
8. 220cm の枝線ナビゲーション用電装ハーネス

2. ワイヤハーネスをエンジンシュラウドのサポートにケーブルタイで固定する図 162。
3. ナビゲーションシステム用の電装ハーネスの220cm の枝線を、エンジンシュラウドの左側サポートに沿って下へ進め、左側フレームチューブの下に導く図 163。

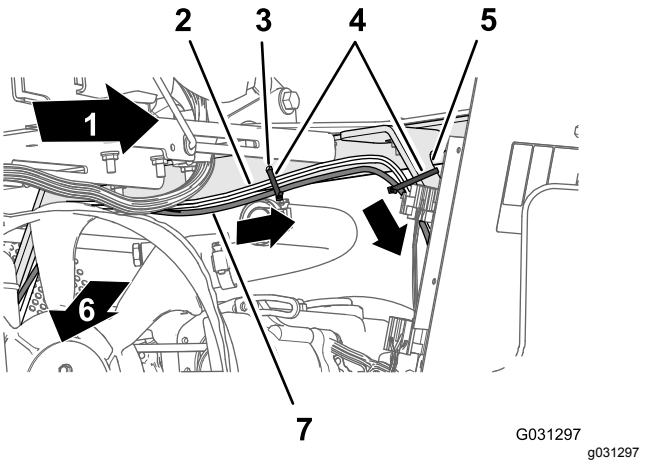


図 163

1. 機体の左側
2. 165cm の枝線後方ワイヤハーネス
3. シートボックス用アングル部材の穴
4. ケーブルタイ
5. エンジンシュラウドのサポート
6. 機体前方
7. 220cm の枝線ナビゲーション用電装ハーネス

4. ケーブルタイ3本を使用して、ハーネスをシートボックス用アングル部材の穴とエンジンシュラウドのサポートに固定する図 163と図 164。

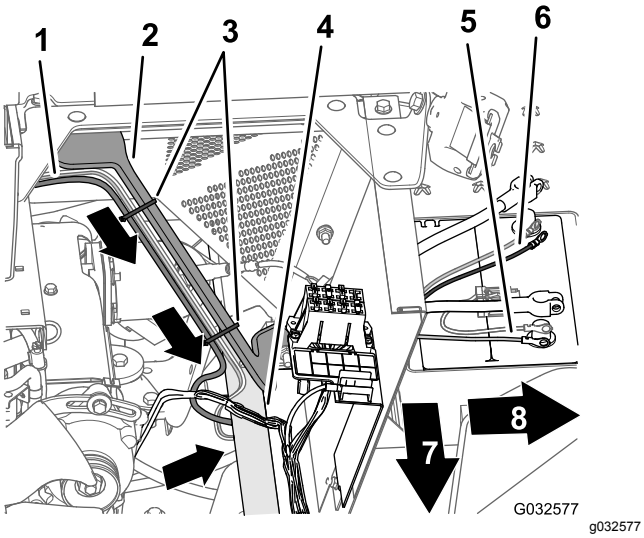


図 164

1. 165cm の枝線後方ワイヤハーネス
2. エンジンシュラウドのサポート
3. ケーブルタイ
4. 左側フレームチューブ
5. ナビゲート用リング端子黒ワイヤ165cm の枝線後方ワイヤハーネス
6. プラス極用リング端子赤ワイヤ)165cm の枝線後方ワイヤハーネス
7. 機体前方
8. 機体の左側

5. ナビゲーションシステム用の電装ハーネスの 220cm の枝線についている 10 A ヒューズ、プラス端子、マイナス端子を、バッテリー上部まで導く図 164。

   注 リング端子の最終的な接続は ナビゲーション用電装ハーネスをバッテリーへ導く (ページ 68) で行います。

データ用ケーブルをスプレーヤのモニタに接続する

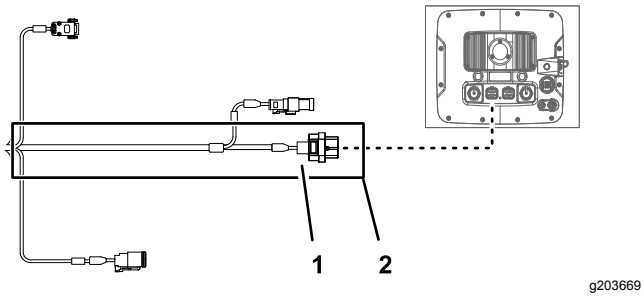


図 165

1. 26ソケットコネクタデータ用ハーネススプレーヤモニタ
2. データ用ハーネスの 220cm の枝線スプレーヤモニタ

1. エンジンルームの右側で、データ用ハーネスの 220cm の枝線を、エンジン用エアフィルタの前方へ導き、ラジエターの右下コーナーまで導く図 166。

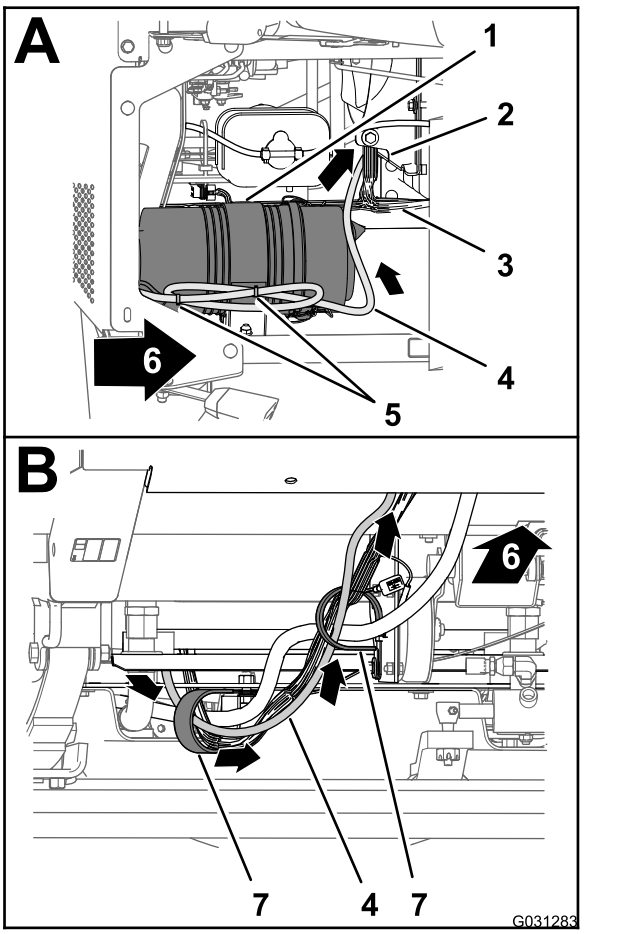
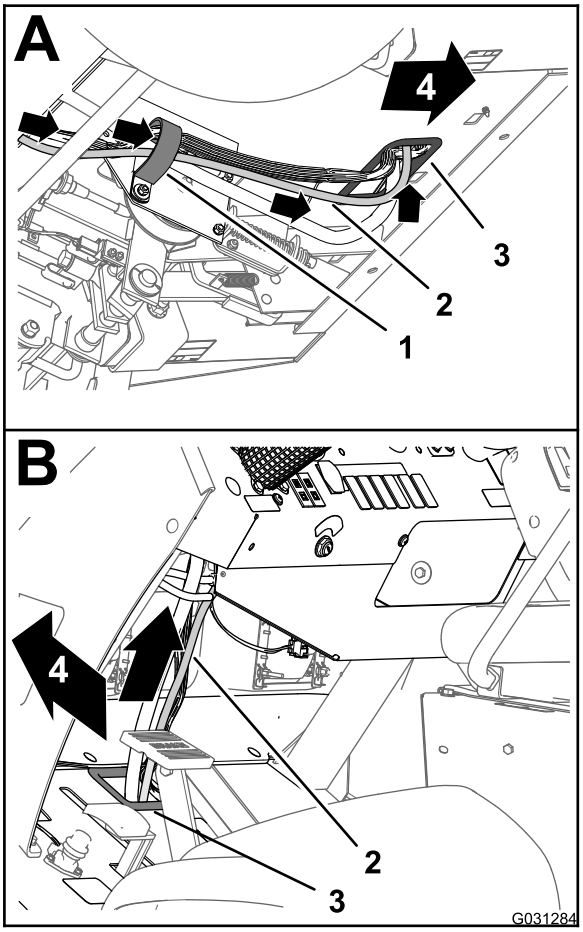


図 166

1. エアフィルタ エンジン
2. ラジエター
3. 車両の前方ワイヤハーネス
4. 220cm の枝線データ用ハーネス
5. ケーブルタイ
6. 機体前方
7. R クランプ

2. データ用ハーネスの 220cm の枝線を前方へ延ばして、機体下部にある2つのRクランプに通す図 166。
3. データ用ハーネスの 220cm の枝線を前方上方向へ延ばして、フロアパネルの穴についているハトメに通す図 167。

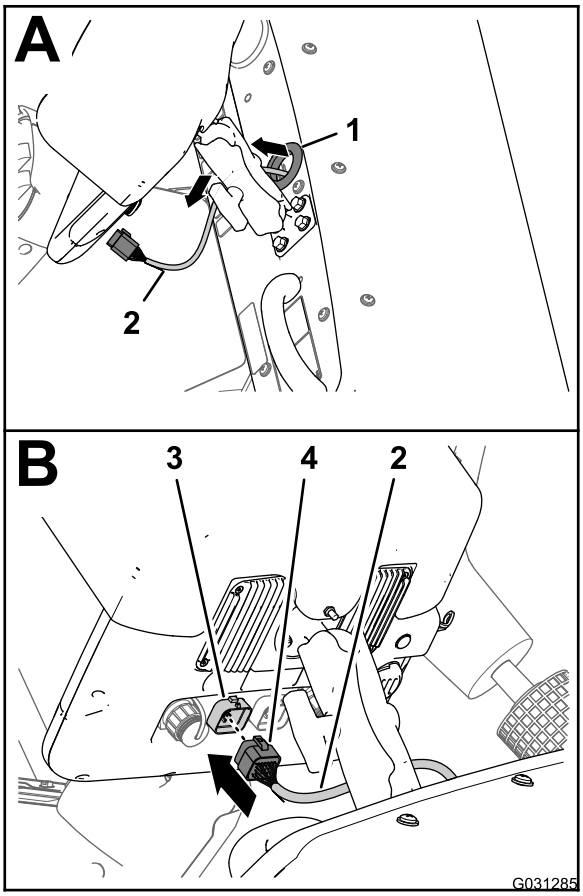


g031284

図 167

1. R クランプ
2. 220 cm の枝線データ用ハーネス
3. ハトメフロアパン
4. 機体前方

4. データ用ハーネスの 220cm の枝線を上方へ、機体の前方ワイヤハーネスに沿って延ばす図 167。
5. データ用ハーネスの 220cm の枝線をダッシュパネルの穴のハトメに通す図 168。



g031285

図 168

1. ハトメダッシュパネル
2. 220cm の枝線データ用ハーネス
3. 26ピンコネクタスプレーヤのディスプレイ
4. 26ソケットコネクタデータ用ハーネススプレーヤモニタ

6. データ用ハーネスの 26 ソケットコネクタを、スプレーヤのディスプレイの 26 ピンコネクタに接続する。コネクタ同士をしっかり押し込んで確実にロックさせること図 168。

後方ハーネスとナビゲーション用電装ハーネスをバッテリーケーブルに接続する

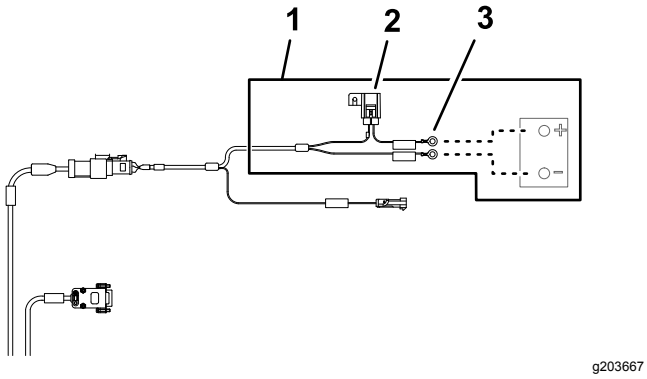


図 169

1. 220cm のバッテリーハーネス枝線
2. 10A ヒューズバッテリー
3. リング端子バッテリー

1. 後方ハーネスのプラス端子赤ワイヤ、マイナス端子黒ワイヤ、50A ヒューズブロックを、バッテリーボックスと車両のシャーシとの間から上へ出す図 170。

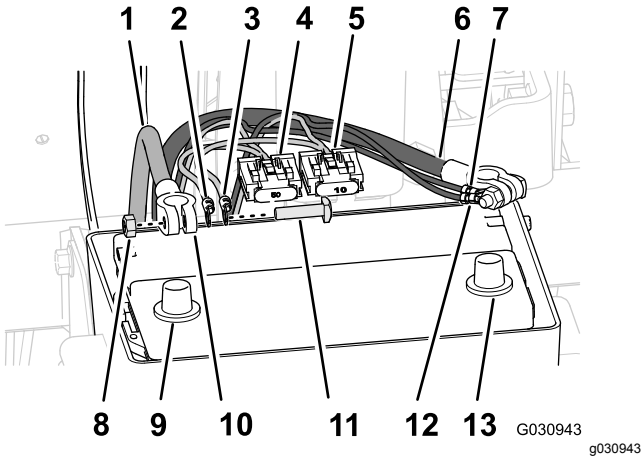


図 170

1. プラス+ケーブル
2. プラス極用リング端子赤ワイヤ)165cm の枝線後方ワイヤハーネス
3. プラス極用リング端子赤ワイヤ220cm の枝線ナビゲーション用電装ハーネス
4. 50A ヒューズブロック後方ワイヤハーネス
5. 10A ヒューズブロックナビゲーション用電装ハーネス
6. マイナス-ケーブル
7. 六角ナット
8. バッテリー端子プラス
9. 端子バッテリーケーブル)
10. Tボルト
11. ナビゲート用リング端子黒ワイヤ165cm の枝線後方ワイヤハーネス
12. ナビゲート用リング端子黒ワイヤ220cm の枝線ナビゲーション用電装ハーネス
13. バッテリー端子マイナス

2. ナビゲーション用電装ハーネスのプラス端子赤ワイヤ、マイナス端子黒ワイヤ、10A ヒューズブロックを、バッテリーボックスと車両のシャーシとの間から上へ出す。
3. バッテリーの両端子に固定されているTボルトと六角ナットを外す図 170。
4. Tボルトを、後方ワイヤハーネスのプラス端子赤ワイヤ、ナビゲーション用電装ハーネスのプラス端子、バッテリーのプラスケーブルの端子に通す図 170。
5. 端子とTボルトを、六角ナットで仮止めする図 170。

   注 ケーブルとバッテリーとの接続は、まだ行わないでください。
6. Tボルトを、後方ワイヤハーネスのマイナス端子黒ワイヤ、ナビゲーション用電装ハーネスのマイナス端子、バッテリーのマイナスケーブルの端子に通す図 170。
7. 端子とTボルトを、六角ナットで仮止めする図 170。

   注 ケーブルとバッテリーとの接続は、まだ行わないでください。

30

オプションの収納式ホースリールキットのワイヤハーネスを接続する

必要なパーツはありません。

手順

1. 機体後部にで、液剤タンクの後部にある電動ホースリールキットのワイヤハーネスを探し出す図 171。

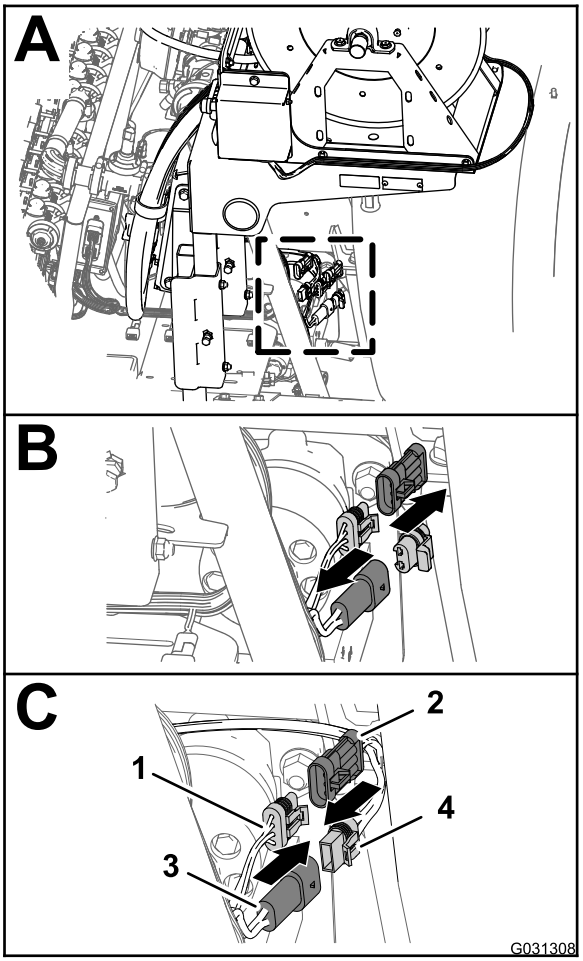


図 171

1. 3ソケットコネクタ後メインハーネス
2. 3ピンコネクタ電動ホースリールのハーネス
3. 2ソケットピン後メインハーネス
4. 2ソケットコネクタ電動ホースリールのハーネス

2. ホースリールの電源用の後メインハーネスの 2 ピンコネクタについているプラグを外す図 171。
3. 電動ホースリール用ハーネスの2ソケットコネクタを、後メインハーネスの2ピンコネクタに接続する図 171。
4. スプレー用ハーネスインターコネクト用の後メインハーネスの 3 ソケットピンコネクタについているキャップを外す図 171。
5. 電動ホースリール用ハーネスの3ピンコネクタを、後メインハーネスの3ピンソケットに接続する図 171。

31

オプションのフォームマーカーキットの接続を行う

この作業に必要なパーツ

4	ケーブルタイ

コンプレッサ用ワイヤハーネスを接続する

1. ワイヤハーネスの 236cm の枝線の端部についている4ソケットコネクタ仕上げキットを、コンプレッサから来ているハーネスの4ピンコネクタに接続する図 172。

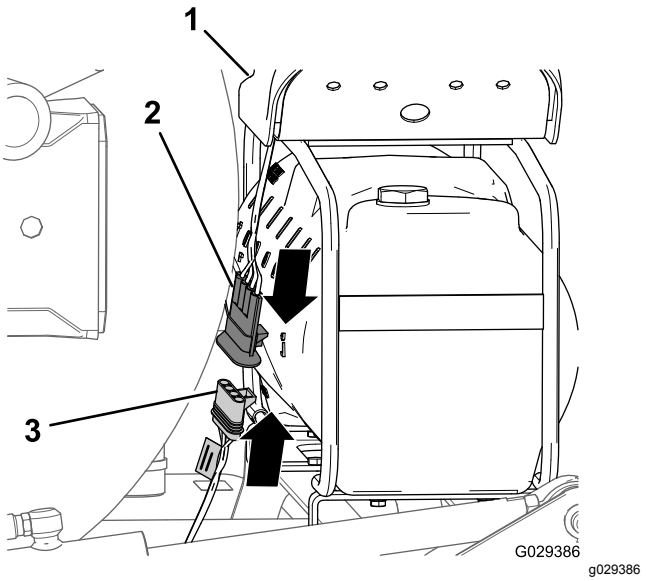


図 172

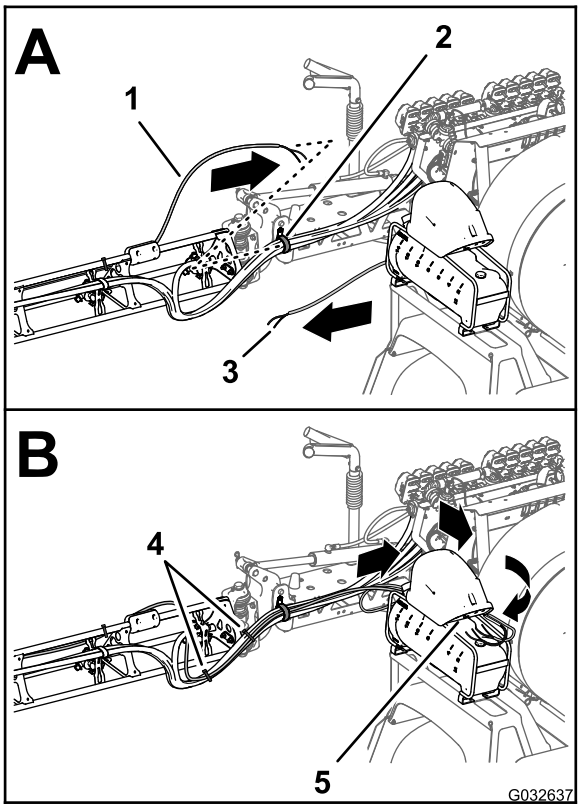
1. コンプレッサ
2. 4ピンコネクタコンプレッサのワイヤハーネス
3. 4ソケットコネクタ仕上げキットのワイヤハーネス

2. 4口コネクタに4ピンコネクタを接続する図 172。

   注 コネクタどうしが相互ロックするまで完全に押し込んでください。

フォームマーカーのノズルのチューブの接続を行う

1. 左右のブーム用の泡ノズル用チューブを、車両中心に向かって配設し、各ブームの支点近くにある R クランプに通す図 173。

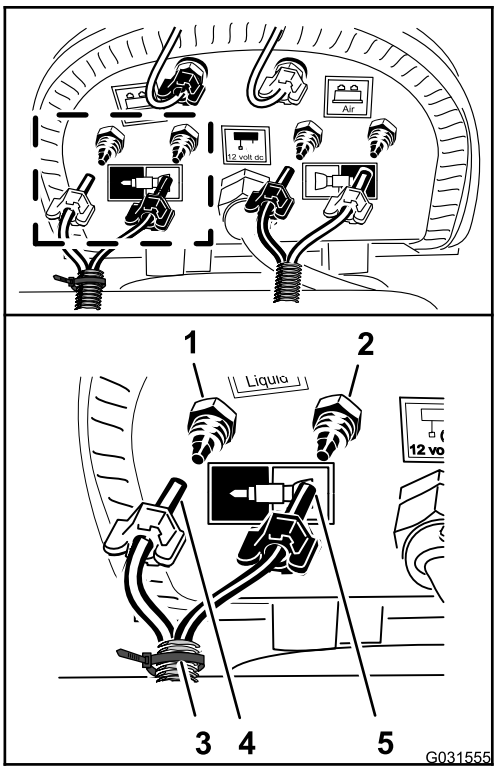


g032637

図 173

1. チューブフォームマーカーのノズル用右ブーム
2. R クランプ
3. チューブフォームマーカーのノズル用左ブーム
4. ケーブルタイ
5. 接続パネルフォームマーカーのコンプレッサ

2. コンプレッサから見て内側を通るようにして、タンクに向かってチューブを前方に延ばす図 173。
3. ステップ 9 機体から液体チューブと空気チューブを取り外す (ページ 8)でケーブルタイを使ってマーキングしたチューブのうち、右側ブーム用の青色チューブを右側ブーム用給水部のコンプレッションフィッティングに取り付ける図 174。

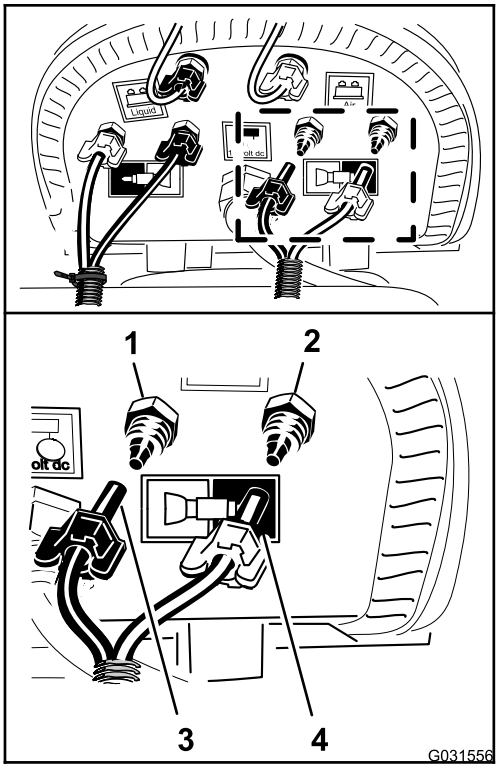


g031555

図 174

1. コンプレッションフィッティング—水 右ブーム—青チューブ
2. コンプレッションフィッティング—空気 右ブーム—透明チューブ
3. ケーブルタイ
4. コンプレッションナット—空気 右ブーム—青チューブ
5. コンプレッションナット—水 右ブーム—透明チューブ

4. チューブの圧縮ナットをフィッティングに嵌め、ナットを手締めする図 174。
5. 右側ブーム用の透明チューブを右側ブーム用エア供給部のコンプレッションフィッティングに取り付ける図 174。
6. チューブの圧縮ナットをフィッティングに嵌め、ナットを手締めする図 174。
7. マークの付いていないケーブルタイの付いていないチューブ束で、左側ブーム用の青色チューブを左側ブーム用給水部のコンプレッションフィッティングに取り付ける図 175。



g031556

図 175

1. コンプレッションフィッティング—水左ブーム—青チューブ
2. コンプレッションフィッティング—空気左ブーム—透明チューブ
3. コンプレッションナット—左ブーム—青チューブ
4. コンプレッションナット—左ブーム—透明チューブ

8. チューブの圧縮ナットをフィッティングに嵌め、ナットを手締めする図 175。
9. 左側ブーム用の透明チューブを左側ブーム用エア供給部のコンプレッションフィッティングに取り付ける図 175。
10. チューブの圧縮ナットをフィッティングに嵌め、ナットを手締めする図 175。
11. ケーブルタイ2本を使って、フォームマーカーのチューブを液剤ホースに固定する図 173。

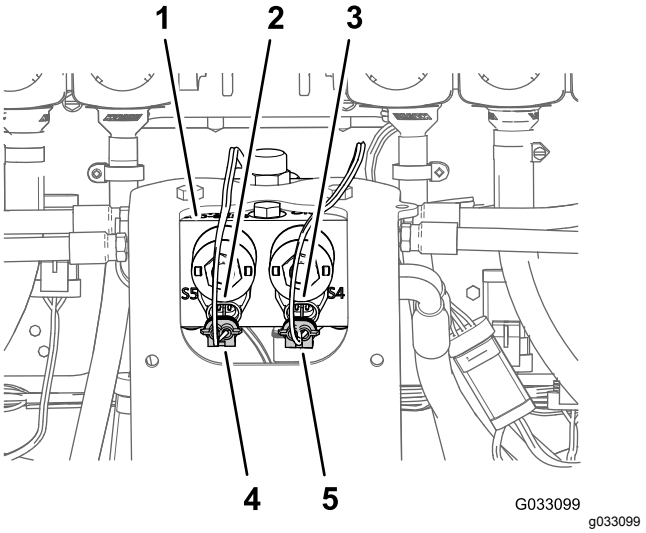
32

オプションのウルトラソニックブームキットを接続する

必要なパーツはありません。

ワイヤハーネスを昇降シリンダのマニホルドに接続する

1. 昇降シリンダマニホルドの右側シリンダ動作ソレノイドの2ピンコネクタに、ソニックブームのワイヤハーネスの2ピンコネクタを接続する図 176。



g033099

図 176

1. 昇降シリンダのマニホルド
2. 2ピンコネクタ昇降シリンダのマニホルド左シリンダ動作
3. 2ピンコネクタ昇降シリンダのマニホルド右シリンダ動作
4. 2ソケットコネクタソニックブームのワイヤハーネス左シリンダ動作
5. 2ソケットコネクタソニックブームのワイヤハーネス右シリンダ動作

2. 昇降シリンダマニホルドの左側シリンダ動作ソレノイドの2ピンコネクタに、ソニックブームのワイヤハーネスの2ピンコネクタを接続する図 176。
3. 昇降シリンダのマニホルドのソレノイドの2ピンコネクタから、ソニックブーム仕上げキットのワイヤハーネスの2ソケットコネクタを外す図 177。
   - 左ブーム上昇
   - 右ブーム上昇
   - 左ブーム下降
   - 右ブーム下降

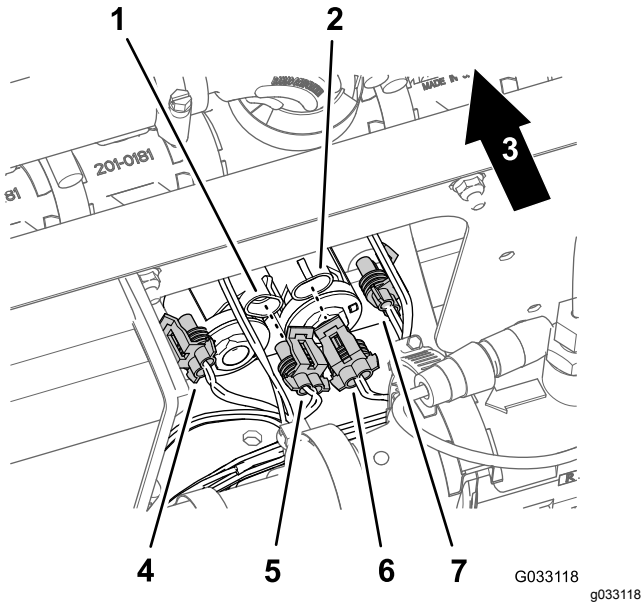


図 177

1. 2ピンコネクタ昇降シリンダのマニホルド左ブーム上昇
2. 2ピンコネクタ昇降シリンダのマニホルド右ブーム上昇
3. 機体後方
4. 2ソケットコネクタソニックブーム仕上げキットのワイヤハーネス左ブーム下降
5. 2ソケットコネクタソニックブーム仕上げキットのワイヤハーネス左ブーム上昇
6. 2ソケットコネクタソニックブーム仕上げキットのワイヤハーネス右ブーム上昇
7. 2ソケットコネクタソニックブーム仕上げキットのワイヤハーネス右ブーム下降

ウルトラソニックセンサーのケーブルをワイヤハーネスに接続する

1. 右側ウルトラソニックセンサー用のケーブルの3ピンコネクタに、ソニックブームのワイヤハーネスの3ソケットコネクタを接続する図 178。

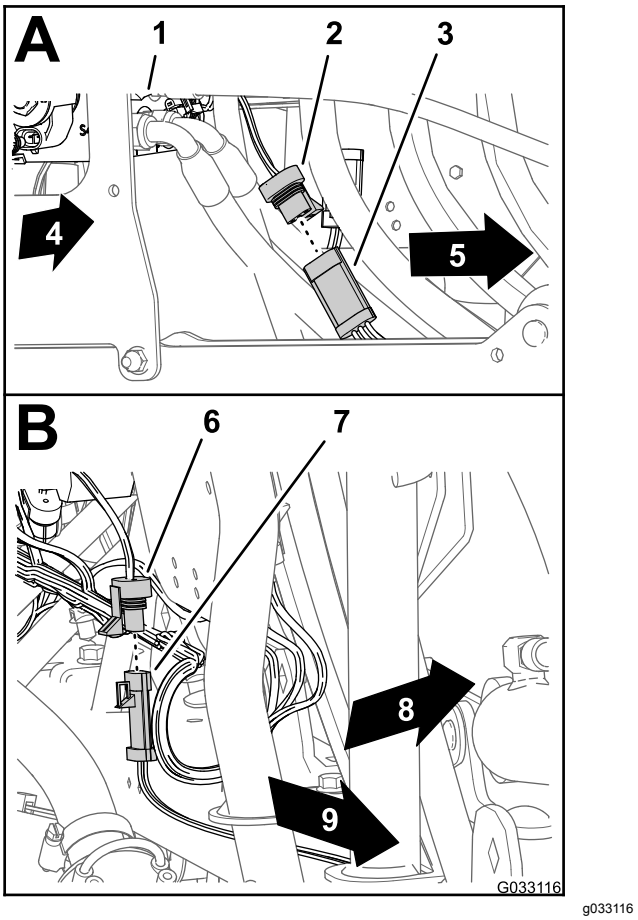


図 178

1. 昇降シリンダのマニホルド
2. 3ソケットコネクタソニックブームのワイヤハーネス右センサー
3. 3ピンコネクタ右側ウルトラソニックセンサー: ケーブル
4. 機体右側
5. 3ソケットコネクタソニックブームのワイヤハーネス左センサー
6. 3ピンコネクタ左側ウルトラソニックセンサー: ケーブル
7. 機体左側
8. 機体後方
9. 機体左側

2. 左側ウルトラソニックセンサー用のケーブルの3ピンコネクタから、ソニックブームのワイヤハーネスの3ソケットコネクタを取り付ける図 178。

33

オプションのブームカバーキットの取り付けを行う

この作業に必要なパーツ

1	カバーエクステンションアセンブリ12ノズル用Toro P/N 120-0621
22	ポップリベットToro P/N 114439
4	サポートブラケットセンターブーム用カバーToro P/N 13-3703-03
4	クリップナットToro P/N 94-2413
16	フランジヘッドボルト3/8 x 1-1/4 インチToro P/N 110-5050
16	フランジロックナット3/8 インチToro P/N 104-8301
2	カバーストラップToro P/N 120-0629
4	フランジヘッドボルト5/16 x 1-1/4 インチToro P/N 323-36

センターブームカバー11ノズルにカバーエクステンションを取り付ける

1. 補強プレート1列とゴム製カバーを11ノズル用センターブームのカバーに固定している11本のポップリベット図 179ステップ 26 カバー付きブームキットオプションのセンターセクションカバー11ノズルを外す (ページ 12)で外しておいたカバーについているリベット を、直径 5mm のドリルビットを使って取り外す。

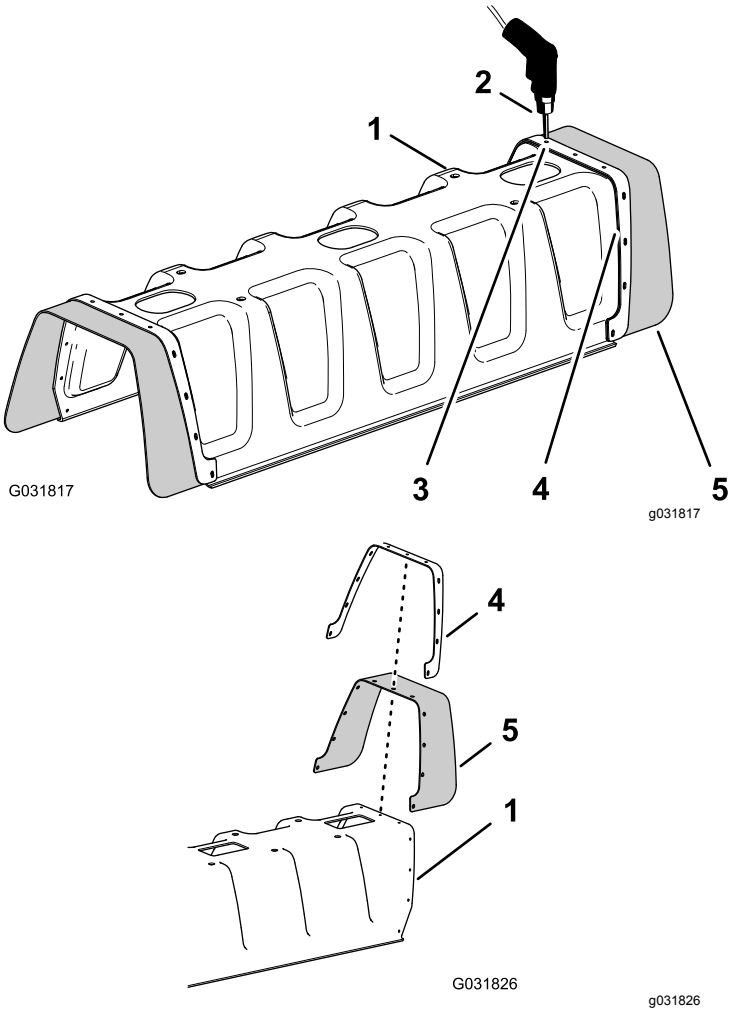


図 179

1. 11 ノズルブーム用カバー
2. ドリルと 直径 5mm ビット
3. リベット3/16 x 1/2 インチ
4. 補強板1列穴
5. ゴムカバー

2. 11 ノズルブーム用カバーから、補強版、ワッシャ3/16 インチ11枚、ゴム製カバーを取り外す図 179。

   注 外した補強版、ワッシャ、ゴム製カバーは、ステップ 5 と 6で使用します。

3. カバーエクステンションに取り付けられている補強プレート2列穴の穴に、11 ノズルブーム用カバーの穴を合わせる図 180。

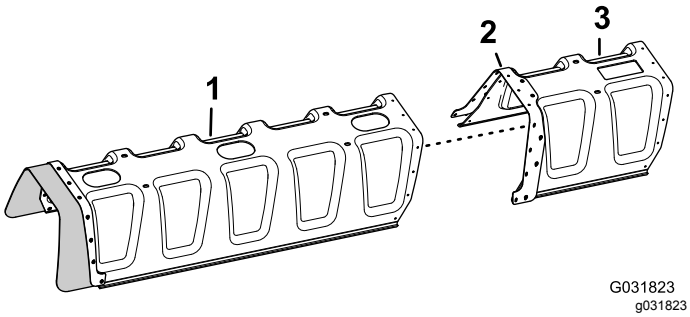


図 180

1. 11 ノズルブーム用カバー
2. 補強板2列穴
3. カバーエクステンション

4. ポップリベット11本Toro P/N 114439を使って、カバーエクステンションを11 ノズルブーム用カバーに固定する図 181。

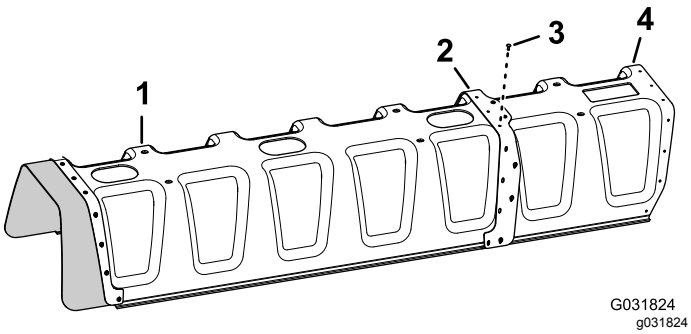


図 181

1. 11 ノズルブーム用カバー
2. 補強板2列穴
3. ポップリベットToro P/N 114439
4. カバーエクステンション

5. ステップ2で取り外したゴム製カバーと補強版1列穴の穴を、カバーエクステンションの穴に合わせる図 182。

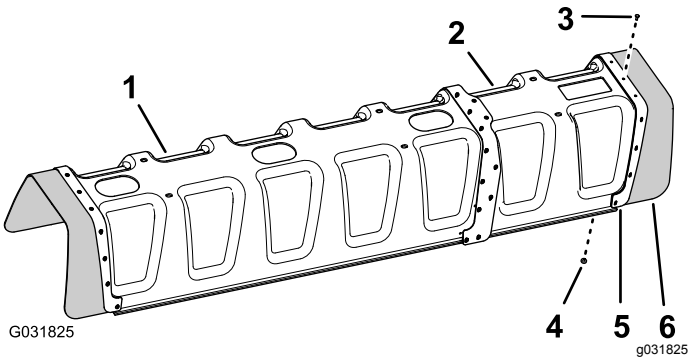


図 182

1. 11 ノズルブーム用カバー
2. カバーエクステンション
3. ポップリベットToro P/N 114439
4. ワッシャ3/16 インチ
5. 補強板1列穴
6. ゴムカバー

6. 補強版とゴムカバーを、カバーエクステンションに固定するポップリベットToro P/N 11443911本と、ステップ5で外したワッシャ3/16 インチ11枚を使用する。

注 ワッシャ3/16 インチは、カバーエクステンションの内面に当たるように取り付けてください。

センターブーム用カバーのサポートブラケットを取り付ける

1. 図 183 のように、センターカバーToro P/N 131–3703–03用のサポートブラケット2個に、クリップナットToro P/N 94-24134個を取り付ける。

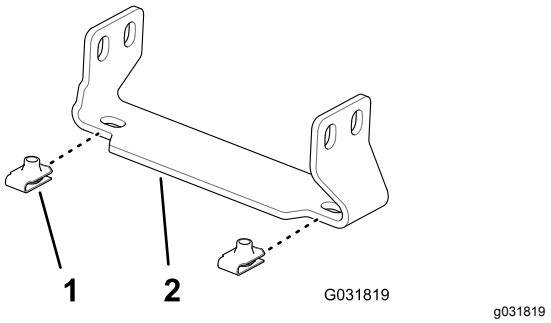


図 183

1. クリップナットToro P/N 94-2413
2. サポートブラケットセンターブーム用カバーToro P/N 13-3703-03

2. センターブームエクステンションにある 2 組の穴トラスフレームの垂直面に 25mm 間隔で開いている穴を探し出す図 184。

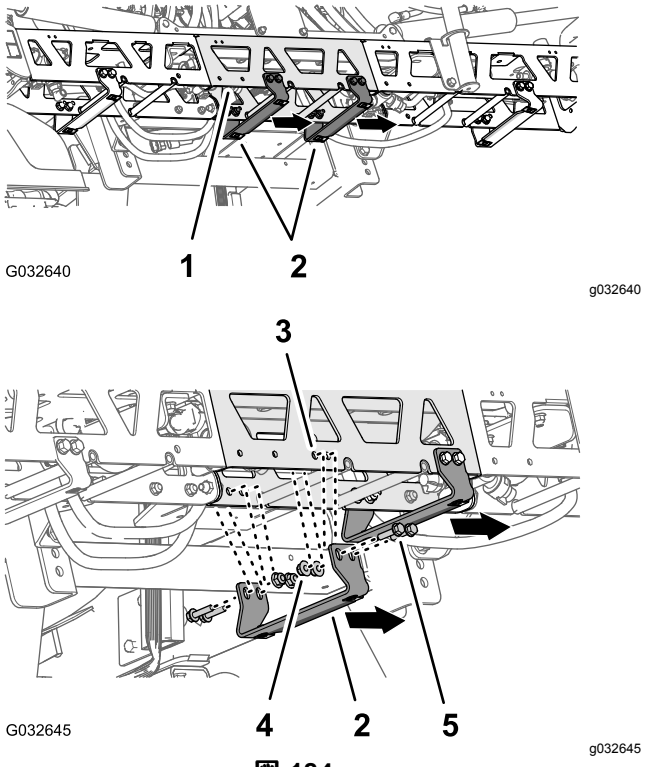


図 184

1. エクステンション センターブーム)
2. サポートブラケットToro P/N 131–3703–03 (広いフランジが右側)
3. トラスフレームの穴センターブームのエクステンション)
4. フランジロックナット3/8 インチToro P/N 104-8301
5. フランジヘッドボルト3/8 x 1-1/4 インチToro P/N 110-5050

3. サポートブラケットToro P/N 131–3703–03の穴を、センターブームエクステンションの穴ステップ 2 で探し出した穴に合わせるブラケットの広いフランジが左側になるように合わせること図 184を参照。
4. サポートブラケットをトラスフレームに固定する図 184フランジヘッドボルト3/8 x 1-1/4 インチ, Toro P/N 110-50504本、フランジロックナット3/8 インチ, Toro P/N 104-83014個を使用する。
5. 残りの2組の穴についても、ステップ 2 4 を行い、さらに、もう一方のサポートブラケット、フランジヘッドボルト、フランジロックナットについても同様に作業を行う。
6. ボルトとナットを37 45N·m 9.3 11.5kg.m = 27 33ft-lb にトルク締めする。

センターブーム用カバーを取り付ける

1. センターブームカバーの穴を、サポートブラケットにある取り付け用の穴に合わせる図 185。

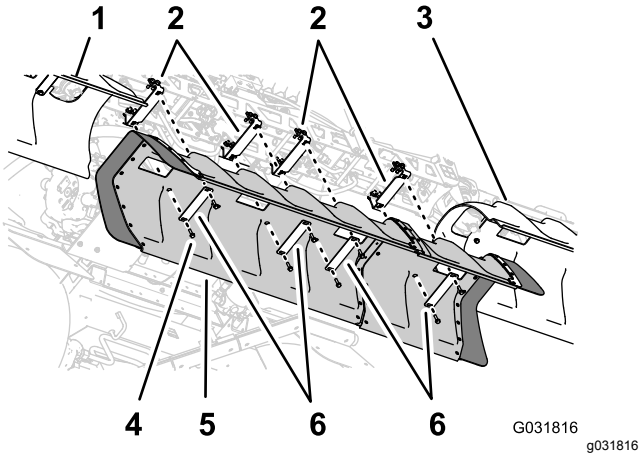


図 185

1. 左側ブームカバー
2. サポートブラケット
3. 右側ブームカバー
4. フランジヘッドボルト 5/16 x 1-1/4 インチ
5. 中央ブームカバー
6. カバーストラップ

2. ステップ16 カバー付きブームキットオプションのセンターセクションカバー11ノズルを外す (ページ 12)で取り外した2本のカバーストラップの穴を、ゴム製カバーと補強版1列穴の穴を、カバーエクステンションの穴に合わせる図 185。
3. カバーストラップとカバーを、サポートブラケットに取り付けるステップ 16 カバー付きブームキットオプションのセンターセクションカバー11ノズルを外す (ページ 12)で取り外したフランジヘッドボルト5/16 x 1-1/4 インチ4本を使用する。
4. 2本のカバーストラップToro P/N 120–0629の穴を、カバーにある残り4つの穴とサポートブラケットにある残り4つの穴に合わせる図 185。
5. カバーストラップとカバーを、サポートブラケットに取り付ける図 185フランジヘッドボルト5/16 x 1-1/4 インチ, Toro P/N 323-364本を使用する。
6. ボルト本を 1978 2542N·cm3.1 3.8kg.m = 175 225in-lbにトルク締めする。

34

オプションのタンクすすぎキットの接続を行う

必要なパーツはありません。

手順

1. すすぎポンプのハーネスの6ピンコネクタを、後メインハーネスの6ソケットコネクタに接続する図 186。

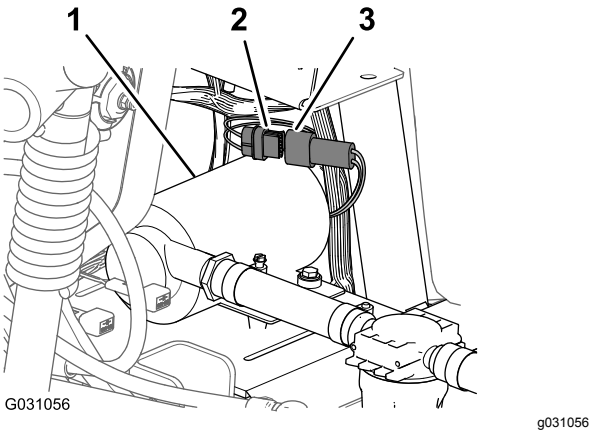


図 186

1. すすぎポンプ
2. 6ソケットコネクタ後メインハーネス
3. 6ピンコネクタすすぎポンプのハーネス

2. すすぎポンプのカバーを、すすぎポンプ用サドルプレートに合わせる図 187。

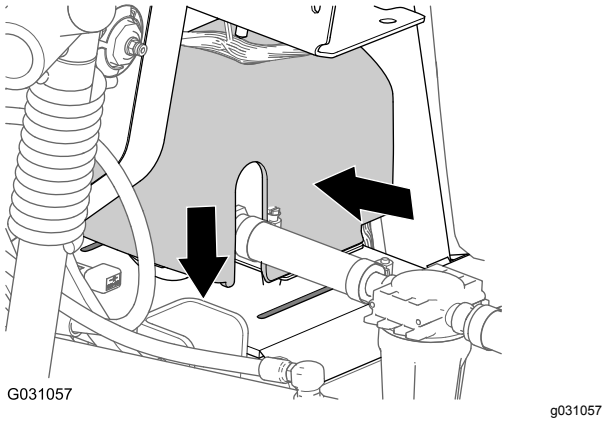


図 187

3. すすぎポンプのカバーを両側から同時に押して、カバーについているタブをサドルプレートに合わせる図 187。
4. スロットにタブを差し込み、カバーを両側から押していた力をゆるめる図 187。

35

ジオリンクスプレーシステム仕上げキットの最終作業を行う

必要なパーツはありません。

手順

1. 座席を押さえていたロッドを外して座席をもとに戻す。
2. バッテリーのプラス赤ケーブルをバッテリーの 端子に、マイナス黒ケーブルをバッテリーの 端子に取り付け、ボルトと蝶ナットで固定する図 2 バッテリーの接続を外す (ページ 5)を参照。
3. 両方の端子に絶縁ゴムカバーを取り付ける図 2 バッテリーの接続を外す (ページ 5)を参照。
4. バッテリーカバーを取り付け、ストラップで固定する図 1 バッテリーの接続を外す (ページ 5)を参照。

メモ

メモ

メモ

欧州におけるプライバシー保護に関するお知らせ

トロが収集する情報について
トロ・ワランティー・カンパニートロは、あなたのプライバシーを尊重します。この製品について保証要求が出された場合や、製品のリコールが行われた場合にあなたに連絡することができるように、トロと直接、またはトロの代理店を通じて、あなたの個人情報の一部をトロに提供していただくようお願いいたします。

トロの製品保証システムは、米国内に設置されたサーバーに情報を保存するため、個人情報の保護についてあなたの国とまったく同じ内容の法律が適用されるとは限りません。

あなたがご自分の個人情報を提供なさることにより、あなたは、その情報がこの「お知らせ」に記載された内容に従って処理されることに同意したことになります。

トロによる情報の利用
トロでは、製品保証のための処理ならびに製品にリコールが発生した場合など、あなたに連絡をすることが必要になった場合のために、あなたの個人情報を利用します。また、トロが上記の業務を遂行するために必要となる活動のために、弊社の提携会社、代理店などのビジネスパートナーに情報を開示する場合があります。弊社があなたの個人情報を他社に販売することはありません。ただし、法の定めによって政府や規制当局からこれらの情報の開示を求められた場合には、かかる法規制に従い、また弊社ならびに他のユーザー様を保護する目的のために情報開示を行う権利を留保します。

あなたの個人情報の保管について
トロでは、情報収集の当初の目的を遂行するのに必要な期間にわたって、また法に照らして必要な期間法律によって保存期間が決められている場合などにわたって情報の保管を行います。

弊社はあなたの個人情報の流出を防ぎます
トロは、あなたの個人情報の保護のために妥当な措置を講ずることをお約束します。また、情報が常に最新の状態に維持されるよう必要な手段を講じます。

あなたの個人情報を訂正したい場合などのアクセス方法
ご自身の個人情報を確認・訂正されたい場合には、legal@toro.com へ電子メールをお送りください。

オーストラリアにおける消費者保護法について

オーストラリアのお客様には、梱包内部に資料を同梱しているほか、弊社代理店にても法律に関する資料をご用意しております。

Toro 製品保証

年間品質保証

保証条件および保証製品

Toro 社およびその関連会社であるToro ワランティー社は、両社の合意に基づき、Toro 社の製品「製品」と呼びますの材質上または製造上の欠陥に対して、2年間または1500運転時間のうちいずれか早く到達した時点までの品質保証を共同で実施いたします。この保証は、エアレータ以外のすべての機器に適用されますエアレータ製品については別途保証があります。この品質保証の対象となった場合には、弊社は無料で「製品」の修理を行います。この無償修理には、診断、作業工賃、部品代、運賃が含まれます。保証は「製品」が納品された時点から有効となります。
*アワーメータを装備している機器に対して適用します。

保証請求の手続き

保証修理が必要だと思われた場合には、「製品」を納入した弊社代理店ディストリビュータ又はディーラーに対して、お客様から連絡をして頂くことが必要です。連絡先がわからなかったり、保証内容や条件について疑問がある場合には、本社に直接お問い合わせください。

Toro Commercial Products Service Department
Toro Warranty Company
8111 Lyndale Avenue South
Bloomington, MN 55420-1196

952–888–8801 または 800–952–2740
E-mail: commercial.warrnty@toro.com

オーナーの責任

「製品」のオーナーは、*オペレーターズマニュアル*に記載された整備や調整を実行する責任があります。これらの保守を怠った場合には、保証が受けられないことがあります。

保証の対象とならない場合

保証期間内であっても、すべての故障や不具合が保証の対象となるわけではありません。以下に挙げるものは、この保証の対象とはなりません

- Toroの純正交換部品以外の部品を使用したことまたはToroの純正部品以外のアクサセリや製品を搭載して使用したことが原因で発生した故障や不具合。これらの製品については、別途製品保証が適用される場合があります。
- 推奨された整備や調整を行わなかったことが原因で生じた故障や不具合。*オペレーターズマニュアル* に記載されている弊社の推奨保守手順に従った適切な整備が行われていない場合。
- 運転上の過失、無謀運転など「製品」を著しく過酷な条件で使用したことが原因で生じた故障や不具合。
- 通常の使用に伴って磨耗消耗する部品類。但しその部品に欠陥があった場合には保証の対象となります。通常の使用に伴って磨耗消耗する部品類とは、ブレーキパッドおよびライニング、クラッチライニング、ブレード、リール、ローラおよびベアリングシールドタイプ、グリス注入タイプ共、ベッドナイフ、タイン、点火プラグ、キャスタホイール、ベアリング、タイヤ、フィルタ、ベルトなどを言い、この他、液剤散布用の部品としてダイヤフラム、ノズル、チェックバルブなどが含まれます。
- 外的な要因によって生じた損害。外的な要因とは、天候、格納条件、汚染、弊社が認めていない燃料、冷却液や潤滑剤、添加剤、肥料、水、薬剤の使用などが含まれます。
- エンジンのための適正な燃料ガソリン、軽油、バイオディーゼルなどを使用しなかったり、品質基準から外れた燃料を使用したために発生した不具合。
- 通常の使用に伴う運転音や振動、汚れや傷、劣化。
- 通常の使用に伴う「汚れや傷」とは、運転席のシート、機体の塗装、ステッカー類、窓などに発生する汚れや傷を含みます。

部品

定期整備に必要な部品類「部品」は、その部品の交換時期が到来するまで保証されます。この保証によって取り付けられた部品は、この製品保証により保証期間終了まで保証され、取り外された部品は弊社の所有となります。部品やアセンブリを交換するか修理するかの判断は弊社が行います。弊社が保証修理のために再製造した部品を使用する場合があります。

ディープサイクルバッテリーおよびリチウムイオンバッテリーの保証

ディープサイクルバッテリーやリチウムイオンバッテリーは、その寿命中に放出することのできるエネルギーの総量kWhが決まっています。一方、バッテリーそのものの寿命は、使用方法、充電方法、保守方法により大きく変わります。バッテリーを使用するにつれて、完全充電してから次に完全充電が必要になるまでの使用可能時間は徐々に短くなってゆきます。このような通常の損耗を原因とするバッテリーの交換は、オーナーの責任範囲です。本製品の保証期間中に、上記のような通常損耗によってオーナーの負担によるバッテリー交換の必要性がでてくることは十分に考えられます。
注リチウムイオンバッテリーについてリチウムイオンバッテリーには、その部品の性質上、使用開始後 3-5 年についてのみ保証が適用される部品があり、その保証は期間割保証補償額逓減方式となります。さらに詳しい情報については、*オペレーターズマニュアル* をご覧ください。

保守整備に掛かる費用はオーナーが負担するものとします

エンジンのチューンナップ、潤滑、洗浄、磨き上げ、フィルタや冷却液の交換、推奨定期整備の実施などは「製品」の維持に必要な作業であり、これらに関わる費用はオーナーが負担します。

その他

上記によって弊社代理店が行う無償修理が本保証のすべてとなります。

両社は、本製品の使用に伴って発生しうる間接的偶発的結果的損害、例えば代替機材に要した費用、故障中の修理関連費用や装置不使用に伴う損失などについて何らの責も負うものではありません。両社の保証責任は上記の交換または修理に限らせていただきます。その他については、排気ガス関係の保証を除き、何らの明示的な保証もお約束するものではありません。商品性や用途適性についての黙示的内容についての保証も、本保証の有効期間中のみに限って適用されます。

米国内では、間接的偶発的損害に対する免責を認めていない州があります。また黙示的な保証内容に対する有効期限の設定を認めていない州があります。従って、上記の内容が当てはまらない場合があります。この保証により、お客様は一定の法的権利を付与されますが、国または地域によっては、お客様に上記以外の法的権利が存在する場合もあります。

エンジン関係の保証について

米国においては環境保護局EPAやカリフォルニア州法CARBで定められたエンジンの排ガス規制および排ガス規制保証があり、これらは本保証とは別個に適用されます。くわしくはエンジンメーカーのマニュアルをご参照ください。上に規定した期限は、排ガス浄化システムの保証には適用されません。くわしくは、製品に同梱またはエンジンメーカーからの書類に同梱されている、エンジンの排ガス浄化システムの保証についての説明をご覧下さい。

米国とカナダ以外のお客様へ

米国またはカナダから輸出された製品の保証についてのお問い合わせは、お買いあげのToro社販売代理店ディストリビュータまたはディーラへおたずねください。代理店の保証内容にご満足いただけない場合は輸入元にご相談ください。